

Solid-State Memory Camcorder

追加機能について _____ JP

About Additional Functions _____ GB

À propos des fonctions supplémentaires _____ FR

Informationen zu zusätzlichen Funktionen _____ DE

Informazioni sulle funzioni aggiuntive _____ IT

Acerca de las funciones adicionales _____ ES

关于附加功能 _____ CS

О дополнительных функциях _____ RU

Sobre as Funções Adicionais _____ BP

Tentang Fungsi Tambahan _____ ID

PMW-300K1

PMW-300K2



同梱のCD-ROMに収録されている取扱説明書（PDF形式）と併せて、下記説明をお読みください。

V1.6の追加機能

ファイル保存メニューの追加

本機では、セットアップメニューの設定内容を本機のSxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDF、exFATモード時）に保存することができます。このデータを使って適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

ご注意

OTHERSメニューのClock SetとHours Meterの値は保存されません。

セットアップファイル

メニューの全設定データ（ピクチャープロファイルを含む）を保存します。

SxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDF、exFATモード時）に64個まで保存することができます。

セットアップファイルは「SETUP.SUF」、「SETUP002.SUF」～「SETUP064.SUF」というファイル名で保存されます。

User ファイル

カスタマイズしたUSERメニューの設定項目と設定データを保存します。

SxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDF、exFATモード時）に64個まで保存することができます。

このファイルの本機のメモリーに読み込むことにより、USERメニューをカスタマイズした状態にセットアップすることができます。

Userファイルは「001.USER」～「064.USER」というファイル名で保存されます。

ピクチャープロファイル

撮影シーンに合わせて設定したピクチャープロファイルの設定値を保存します。

本機の内蔵メモリーに5個、SxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDF、exFATモード時）に64個まで保存することができます。

ピクチャープロファイルは「PPDATA.SUF」、「PPDATA002.SUF」～「PPDATA064.SUF」というファイル名で保存されます。

ファイルを保存する

1 ファイルを保存するメディアを準備する。

SxSメモリーカードを使用する

SxSメモリーカードをカードスロットに入れます。

入れたスロットに対応するSxSメモリーカードアイコンが画面に表示されることを確認してください。

もう1枚のSxSメモリーカードが選択されている場合は、SLOT SELECTボタンで切り換えてください。

USBメモリーを使用する

USBメモリーを使うときは（UDF、exFAT モード時）、外部機器接続端子にフォーマット済みのUSBメモリーを接続します。

2 セットアップファイルの場合は、OTHERSメニューのCamera Dataを選択する。

Userファイルの場合は、OTHERSメニューのUser Dataを選択します。

ピクチャープロファイルの場合は、PICTURE PROFILEメニューのPP Dataを選択します。

保存するデータに名前を付けるときは

手順3に進む前に、名前を設定します。

◆詳しくは「ファイルに名前を付けるには」をご覧ください。

3 セットアップファイルの場合は、Camera Data > Store(SxS)、またはStore(USB)を選択する。

Userファイルの場合は、User Data > Store(SxS)、またはStore(USB)を選択します。

ピクチャープロファイルの場合は、PP Data > Store(SxS)、またはStore(USB)を選択します。

ファイルのリストボックスが表示されます。

ファイルが保存されていないファイル番号には、「No File」と表示されます。

すでにデータが保存されているファイル番号には、日付、時刻やファイル名が表示されます。

4 保存したいファイル番号を選択し、ジョグダイヤルまたはSET/SELボタンを押す。

実行待ちメッセージが表示されます。

ご注意

手順3で指定した保存先にすでにセットアップファイルが保存されている場合は、上書きを許可するかどうかの確認メッセージが表示されます。

5 保存を実行するときは、Executeを選択し、ジョグダイヤルまたはSET/SELボタンを押す。

保存を中止するときは、Cancelを選択し、ジョグダイヤルまたはSET/SELボタンを押す。

保存を実行すると画面に実行中メッセージが表示され、終了すると完了メッセージに変わります。

ご注意

保存可能なメディアが挿入されていない場合や、メディアの容量が足りない場合はエラーメッセージが表示されます。

ファイルに名前を付けるには

設定データをファイルとして保存する前に名前を付けておくと、ファイルの識別に役立ちます。以下の文字を使用できます。

数字、アルファベット、特殊文字（!、#、\$、%、&、'、(、)、*、+、,、-、.、/、:、;、<、=、>、?、@、[、\、]、~）

ご注意

ピクチャープロファイル名に使用できる文字は数字、アルファベット、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、およびスペースです。

- 1 **OTHERSメニューのCamera Data>File IDを選択する。**
Userファイルの場合はOTHERSメニューのUser Data > File IDを選択します。
ピクチャープロファイルの場合はPICTURE PROFILEメニューのProfile Nameを選択します。
- 2 **ジョグダイヤルを回す、または上/下ボタンを押して文字を選択し、ジョグダイヤルまたはSET/SELボタンを押す。**
- 3 **手順2を繰り返す。**
- 4 **文字の入力が終了したら、ジョグダイヤルまたはSET/SELボタンを押してカーソルをSETに合わせ、再度ジョグダイヤルまたはSET/SELボタンを押す。**
設定した名前が表示されます。セットアップファイルを保存する操作を行うと、この名前でデータが保存されます。

ファイルを呼び出す

ご注意

SxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDF、exFATモード時）からファイルを呼び出すと、本機内部に保存されているデータは上書きされます。

- 1 **ファイルを保存したメディアを準備する。**
SxSメモリーカードを使用する
ファイルを保存したSxSメモリーカードをカードスロットに入れます。
入れたスロットに対応するSxSメモリーカードアイコンが画面に表示されることを確認してください。
もう1枚のSxSメモリーカードが選択されている場合は、SLOT SELECTボタンで切り換えしてください。
USBメモリーを使用する
ファイルを保存したUSBメモリーを外部機器接続端子に接続します。
- 2 **セットアップファイルの場合は、OTHERSメニューのCamera Dataを選択する。**
Userファイルの場合は、OTHERSメニューのUser Dataを選択します。
ピクチャープロファイルの場合は、PICTURE PROFILEメニューのPP Dataを選択します。
- 3 **セットアップファイルの場合は、Camera Data > Recall(SxS)、またはRecall(USB)を選択する。**
Userファイルの場合は、User Data > Recall(SxS)、またはRecall(USB)を選択します。
ピクチャープロファイルの場合は、PP Data > Recall(SxS)、またはRecall(USB)を選択します。
ファイルのリストボックスが表示されます。
ファイルが保存されていないファイル番号には、「No File」と表示されます。すでにデータが保存されているファイル番号には、日付、時刻やファイル名が表示されます。
- 4 **呼び出しするファイル番号を選択し、ジョグダイヤルまたはSET/SELボタンを押す。**
実行待ちメッセージが表示されます。

ご注意

選択したファイルに再起動を必要とする設定変更が含まれていた場合は、再起動を許可するかどうかの確認メッセージが表示されます。

- 5** 呼び出しを実行するときは、**Execute**を選択し、ジョグダイヤルまたは**SET/SEL**ボタンを押す。
- 呼び出しを中止するときは、**Cancel**を選択し、ジョグダイヤルまたは**SET/SEL**ボタンを押す。
- 呼び出しを実行すると画面に実行中メッセージが表示され、終了すると完了メッセージに変わり、セットアップファイルに従って本機の設定が変更されます。

ご注意

読み出し可能なメディアがない場合や、メディアに該当のファイルがない場合はエラーメッセージが表示されます。

標準設定値に戻す

OTHERSメニューでAll Resetを実行すると、メニューやボタン操作で変更した本機の状態を、すべて標準設定値（工場出荷時の設定）に戻すことができます。

セットアップメニューのファイル保存メニュー項目の追加および変更

メニューの変更点

OTHERSメニューのCamera DataとPICTURE PROFILEメニューが以下のように変更になりました。

OTHERSメニューにUser Dataを追加しました。また、Camera Data/User Data/PP Dataの保存／呼び出しをするメニュー項目をUSERメニューに登録することができます。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Camera Data 全メニュー設定 値のSxSメモ リーカードまた はUSBメモリー への保存と呼び 出し	Display Mode	保存や呼び出し時に表示されるリストボックスに表示 する項目を選択する。
	Date&Time / Model Name	
	Store(SxS)	Executeを選択するとSxSメモリーカードへ保存を実行 し、セットアップファイルを下記のディレクトリーに 保存する（保存ファイルは64個まで可能）。
	Execute / Cancel	UDFの場合：/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/ PMW_300/ exFATの場合：/XDROOT/General/Sony/PRO/ CAMERA/XDCAM/PMW_300/ FATの場合：/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/ PMW_300/
	Recall(SxS)	Executeを選択するとSxSメモリーカードから呼び出し を実行する。
	Execute / Cancel	
	Store(USB)	Executeを選択するとUSBメモリーへ保存を実行し、 セットアップファイルを下記のディレクトリーに保存 する（保存ファイルは64個まで可能）。
	Execute / Cancel	/MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	Recall(USB)	Executeを選択するとUSBメモリーから呼び出しを実 行する。
	Execute / Cancel	
	File ID	ファイルに最大16文字の名前を付ける。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
User Data USERメニュー 設定値のSxSメモリーカードまたはUSBメモリーへの保存と呼び出し	Store(SxS) Execute / Cancel	Executeを選択するとSxSメモリーカードへ保存を実行し、Userファイルを下記のディレクトリーに保存する（保存ファイルは64個まで可能）。 UDFの場合：/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ exFATの場合：/XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ FATの場合：/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PMW_300/
	Recall(SxS) Execute / Cancel	Executeを選択するとSxSメモリーカードからUserファイルの呼び出しを実行する。
	Store(USB) Execute / Cancel	Executeを選択するとUSBメモリーへ保存を実行し、Userファイルを下記のディレクトリーに保存する（保存ファイルは64個まで可能）。 /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	Recall(USB) Execute / Cancel	Executeを選択するとUSBメモリーからUserファイルの呼び出しを実行する。
	File ID	Userファイルに最大16文字の名前を付ける。
	Load Customize Data On / Off	Userファイルを読み出すときに、メニューの構成および設定値を読み込むか（On）、メニューの設定値のみ読み込むか（Off）を選択する。

PICTURE PROFILE SET		
項目	細目と設定値	内容
PP Data ピクチャープロファイルの保存と読み出し	Display Mode Date&Time / Model Name	保存や呼び出し時に表示されるリストボックスに表示する項目を選択する。
	Store(SxS) Execute / Cancel	Executeを選択するとピクチャープロファイルをSxSメモリーカードに保存する（保存ファイルは64個まで可能）。
	Recall(SxS) Execute / Cancel	Executeを選択するとピクチャープロファイルをSxSメモリーカードから読み出す。
	Store(USB) Execute / Cancel	Executeを選択するとピクチャープロファイルをUSBメモリーに保存する（保存ファイルは64個まで可能）。
	Recall(USB) Execute / Cancel	Executeを選択するとピクチャープロファイルをUSBメモリーから読み出す。

メニューロック時のアサインabl設定の無効化

下表のセットアップメニューのメニュー項目をUSERメニューに登録せずにメニューをロックした場合、同機能をアサインablボタンに設定することはできません。

セットアップメニューのメニュー項目			アサインablボタンに割り当てることができるメニュー項目
CAMERA SET	Handle Zoom		Handle Zoom
	Clip Cont. Rec	Setting	Clip Continuous Rec
	P.Cache Rec	Setting	Picture Cache
	TLCS	Mode	Spotlight
			Backlight
LCD/VF SET	Zebra	Setting	Zebra
	Peaking	Setting	Peaking
	Marker	Setting	Marker
	EVF	Mode	VF Mode
	Display On/Off	Brightness Display	BRT Disp
		Histogram Display	Histogram
		Lens Info	Lens Info

同機能をアサインablボタンにアサインしていた場合は、メニューをロックした時点でアサインablの設定が強制的にOffになります。

ご注意

PICTURE PROFILEメニューのSELをUSERメニューに登録せずにメニューをロックした場合、ダイレクトメニュー操作での選択はできません。

ホワイトバランス色温度切り換え機能

本機に登録した6種類のピクチャープロファイル（PP1～PP6）を呼び出した場合、あらかじめピクチャープロファイルのWhite > Preset Whiteで設定した4個のプリセット色温度を、アサインablボタンにアサインしたWB Presetを押すたびに切り換えることができます。

プリセット色温度を設定する

- 1 PICTURE PROFILEボタンを押す。**
PICTURE PROFILEメニューが表示されます。
- 2 SELを選択し、使用するPP1～PP6のいずれかを選択する。**
- 3 SETを選択し、White>Preset White Selで、1～4のいずれかを選択する。**
- 4 White > Preset Whiteで、色温度を設定する。**
Preset Whiteには、Preset White Selで選択した1～4のいずれかの番号の色温度が表示されます。

Preset White Selで選択した1～4の色温度初期値は以下となります。

- Preset White Selが1のとき：3200K
- Preset White Selが2のとき：4300K
- Preset White Selが3のとき：5600K
- Preset White Selが4のとき：6300K

色温度を100Kステップで設定します。

5 任意の色温度を設定したら、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。

6 1～4に繰り返し任意の色温度を設定する場合は、手順3～5を繰り返し操作する。

アサインブルスイッチで操作する

1 アサインブルボタン<1>～<5>のいずれかにWB Presetを割り当てる。

2 WHITE BALスイッチまたはダイレクトメニュー操作でプリセットモードを選択する。

ご注意

Network RemoteがOnの場合、メモリー A固定になるため、プリセットモードにできません。プリセットモードにするには、Network RemoteをOffにしてください。

3 WB Presetを割り当てたアサインブルボタンを押す。

「プリセット色温度を設定する」で、あらかじめ設定した4個のプリセット色温度が、アサインブルボタンを押すごとに切り換わります。例) 1→2→3→4→1→2→…

ご注意

以下の条件のときは、操作できません（ボタンを押しても切り換わりません）。

- ホワイトバランスモードがATWモード、メモリー Aモード、メモリー Bモード、メモリー Cモードのとき
- ピクチャープロファイルのSELがOffのとき
- 再生中、レックレビュー中、サムネイル表示中、カラーバー表示中
- ABB、AWB、Multi Matrix > Color Detection、Color Correction > Area Indication、Skin Tone Detail > Area Detection、APR、Auto FB、AWS、ABSのいずれかを実行中

V1.5の追加機能

USERメニュー

CAMERA SET、AUDIO SET、VIDEO SET、VF SET、TC/UB SET、LENS File、OTHERSおよびPICTURE PROFILEに入っているメニューの中から、任意の項目をUSERメニューに登録することができます。登録はUSER MENU CUSTOMIZEメニューで行います。

工場出荷時のUSERメニューには以下の項目が含まれています。

- Interval Rec
- Frame Rec
- Clip Cont. Rec
- P. Cache Rec
- S&Q Motion
- Video
- Assign Button
- Clip

- Format Media
- Menu Settings

USER MENU CUSTOMIZEメニュー

USERメニューで項目の追加や削除、順番の入れ換えなどを行い、USERメニューをより使いやすく編集することができます。

各メニューの任意の項目を選択して、USERメニューに追加することができます。USERメニューには項目を20個まで登録でき、工場出荷時には10項目が登録されています。

USER MENU CUSTOMIZEメニューは以下の項目で構成されています。

項目	細目	選択肢	内容
登録されている項目またはBlank（項目がない場合）	Ins Item ↑		選択した項目の上に項目を追加する。
	Ins SubItem ↑		選択した細目の上に細目を追加する。
	Ins Item ↓		選択した項目の下に項目を追加する。
	Ins SubItem ↓		選択した細目の下に細目を追加する。
	Edit Item	Del Item Ins SubItem Del SubItem	すでに登録されている項目／細目を編集する。 Del Item ：項目を削除する。 Ins SubItem ：細目を追加する。 Del SubItem ：細目を削除する。
Customize Reset		Execute/Cancel	USERメニューを工場出荷状態に戻す。 (Executeで実行)

ご注意

同じ項目／細目を2回登録することはできません。また、追加した項目／細目の名称を変更することはできません。

USER メニューを工場出荷時の状態に戻すには

メニューのUSER MENU CUSTOMIZE > Customize ResetでExecuteを選択し、ジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押します。

任意の項目と帰属する全細目を追加する

- 1 USER MENU CUSTOMIZEメニューを表示する。**
現在登録されている項目が表示されます。
- 2 項目を追加したい位置にある項目を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。**
- 3 Ins Item ↑ または Ins Item ↓ を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。**
Ins Item ↑：選択した項目の上に項目を追加する。
Ins Item ↓：選択した項目の下に項目を追加する。
 追加可能な項目のリストが表示されます。
- 4 追加したい項目を選択して「Execute」を選択し、ジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。**
 選択した項目とその項目に含まれる全細目が、手順2、3で指定した位置に追加されます。

任意の項目と選択した細目を追加する

- 1 **USER MENU CUSTOMIZE**メニューを表示する。
現在登録されている項目が表示されます。
- 2 項目を追加したい位置にある項目を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。
- 3 **Ins SubItem** ↑ または **Ins SubItem** ↓ を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。
Ins SubItem ↑ : 選択した項目の上に項目を追加する。
Ins SubItem ↓ : 選択した項目の下に項目を追加する。
追加可能な項目のリストが表示されます。
- 4 追加したい項目を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。
追加可能な細目のリストが表示されます。
- 5 追加したい細目を選択して「**Execute**」を選択し、ジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。
選択した項目と細目が手順2、3で指定した位置に追加されます。

既存の項目に細目を追加する

ご注意

追加する細目は、必ず元のメニューでその細目が帰属していた項目の下に追加してください。別の項目の下に細目を追加することはできません。

- 1 **USER MENU CUSTOMIZE**メニューを表示する。
現在登録されている項目が表示されます。
- 2 細目を追加したい項目を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。
- 3 **Edit Item**を**Ins SubItem**に設定する。
選択した項目に現在登録されている細目のリストが表示されます。
- 4 細目を追加したい位置にある細目を選択し、**Ins SubItem** ↑ または **Ins SubItem** ↓ を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。
Ins SubItem ↑ : 選択した細目の上に細目を追加する。
Ins SubItem ↓ : 選択した項目の下に細目を追加する。
追加可能な細目のリストが表示されます。
- 5 追加したい細目を選択し、**Execute**を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。
選択した細目が手順4で指定した位置に追加されます。

項目を削除する

- 1 **USER MENU CUSTOMIZE**メニューを表示する。
現在登録されている項目が表示されます。
- 2 削除したい項目を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。

3 Edit ItemをDel Itemに設定する。

選択した項目が削除されます。

細目を削除する

ご注意

工場出荷時に登録されているMenu SettingsのUser Menu Onlyを削除することはできません。

1 USER MENU CUSTOMIZEメニューを表示する。

現在登録されている項目が表示されます。

2 削除したい細目が含まれている項目を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。

3 Edit ItemをDel SubItemに設定する。

削除可能な細目のリストが表示されます。

4 削除したい細目を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。

選択した細目が削除されます。

メニューのロックと解除

セットアップメニューの表示をロックして、USERメニューだけを表示させることができます。

メニューをロックする

1 ジョグダイヤルを押しながらMENUボタンを押す。

2 OTHERSメニュー>Menu Settings>User Menu with Lockを表示する。

ご注意

- ジョグダイヤルを押しながらMENUボタンを押すと、Menu Settings>User Menu OnlyがUser Menu with Lockに切り換わります。
- MENUボタンだけを押ししてメニュー表示した場合は、Menu Settings>User Menu with Lockは表示しません。

3 Onを選択してSEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。

VF画面表示が、暗証番号入力画面に切り換わります。

4 任意の番号を入力する。

入力できる数値は4桁の0000～9999になります。初期値は0000となっています。

数値を入力し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。

すべての桁を入力したら、SETにカーソルが移動します。

5 SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。

入力が確定します。

設定が完了したメッセージが表示され、USERメニューだけのメニュー表示に切り換わります。

メニューのロックを解除する

- 1 ジョグダイヤルを押しながらMENUボタンを押す。
- 2 USERメニュー>Menu Settings>User Menu with Lockを表示する。

ご注意

- ジョグダイヤルを押しながらMENUボタンを押すと、Menu Settings>User Menu OnlyがUser Menu with Lockに切り換わります。
- MENUボタンだけを押してメニュー表示した場合は、Menu Settings>User Menu with Lockは表示しません。

- 3 Offを選択してSEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。

VF画面表示が、暗証番号入力画面に切り換わります。

- 4 メニューをロックしたときの暗証番号を入力する。

入力できる数値は4桁の0000～9999になります。

数値を入力し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。

すべての桁を入力したら、SETにカーソルが移動します。

- 5 SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。

入力が確定します。

メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が一致した場合、ロックが解除できたことのメッセージが表示され、全メニュー表示に切り換わります。

ご注意

- メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が不一致の場合は、ロックを解除できません。
- 暗証番号は、忘れたときのため、手元に記録を残すことをお勧めします。忘れたときはサービス窓口にお問い合わせください。

メニューの変更点

USERメニューの追加にともない、OTHERSメニューにMenu Settingsを追加しました。Menu Settingsの項目は以下のとおりです。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Menu Settings メニューに関する設定	Direct Menu All / Part / Off	OTHERSメニュー内のDirect Menuをここへ移動しました。
	Menu Scroll Normal / Loop	OTHERSメニュー内のMenu Scrollをここへ移動しました。
	User Menu Only On / Off	メニューを表示したときに、USERメニューだけを表示するか（On）、メニューリストを表示するか（Off）を選択する。
	User Menu with Lock On / Off	メニュー表示にロックをかけて、USERメニューだけの表示にするかどうかを選択する。 On: 任意の暗証番号を入力し、メニュー表示にロックをかける。（USERメニューだけの表示になります。） Off: Onしたときに入力した任意の暗証番号を入力し、ロックを解除する。（解除すると、通常のメニューリスト表示に切り換わります。）
ご注意 通常のメニュー表示操作では表示されません。メニュー表示の操作方法は、「メニューのロックと解除」（11ページ）をご覧ください。		

SDXCカード対応について

SDXCカードに対応しました。（exFATのみ）

別売りのメディアアダプター MEAD-SD02を使用することによって、SDXCカードをSxSメモリーカードスロットに入れて、記録・再生が行えます。

◆メディアアダプター MEAD-SD02の使いかたについて詳しくは、アダプターに付属の取扱説明書をご覧ください。

使用可能なSDXCカード

SDXCカード（SDスピードクラス：Class10）

ご注意

- 本機でSDXCカードを使用する場合は、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてからご使用ください。
- SDXCカードを使って高速再生を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- exFATモード時以外では使用できません。
- ご使用になるSDXCカードによっては、XAVC-Iでの記録や、スロー&クイックモーション撮影が正常に記録できない場合があります。SxSメモリーカードの使用をお勧めします。
- SDXCカードと他のメモリーカードを同時に使用しないでください。違う種類のメディアを使用した場合、記録中にメディアがフルになっても自動切り換えができません。
- PMWシリーズおよびPWXシリーズのカムコーダーで記録したSDXCカードは、機種によって本機で記録・再生できない場合があります。詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

- すべてのメモリーカードの動作を確認したわけではありません。動作確認済みのメモリーカードに関しては各販売店にお問い合わせください。

Wi-Fi Remoteのステータス表示について

ボタン/リモートステータス画面に、OTHERSメニューのWi-Fi>Wi-Fi Remoteの設定表示を追加しました。

Wi-Fiメニューについて

ワイヤレスアダプター CBK-WA100接続時に、OTHERSメニューのWi-Fi>Wi-FiとWi-Fi>Wi-Fi Remoteが設定できるようになりました。

V1.4の追加機能

exFATモード時のMPEG2記録

UDFモードのみで可能だったMPEG2フォーマットでの記録が、exFATモードでもできるようになりました。

exFATモード時に選択できるMPEG2フォーマットは下記のとおりです。

- HD422
- HD420 (HQ)
- DVCAM

メニューの変更点

OTHERSメニューのSystemに以下の変更があります。

- XAVC/MPEG2メニュー項目追加
- Formatの設定値を追加

詳細については、下表をご確認ください。(太字は初期設定)

メニュー項目	設定値	内容
XAVC/MPEG2	XAVC MPEG2	exFAT/HDモード時に、XAVC/MPEG2フォーマットを切り換える。

メニュー項目	設定値	内容
Format	HD422 50/1080/59.94i HQ 1920x1080/59.94i HQ 1440x1080/59.94i HD422 50/1080/29.97P HQ 1920x1080/29.97P HQ 1440x1080/29.97P HD422 50/1080/23.98P HQ 1920x1080/23.98P HQ 1440x1080/23.98P HD422 50/720/59.94P HQ 1280x720/59.94P HD422 50/720/29.97P HD422 50/720/23.98P HQ 1280x720/23.98P	NTSC Area / exFAT/ HD/ MPEG2の場合に選択可能な設定値
	HD422 50/1080/50i HQ 1920x1080/50i HQ 1440x1080/50i HD422 50/1080/25P HQ 1920x1080/25P HQ 1440x1080/25P HD422 50/720/50P HQ 1280x720/50P HD422 50/720/25P	PAL Area / exFAT/ HD/ MPEG2の場合に選択可能な設定値
	DVCAM59.94i SQ DVCAM59.94i EC DVCAM29.97P SQ DVCAM29.97P EC	NTSC Area /exFAT/ SDの場合に選択可能な設定値
	DVCAM50i SQ DVCAM50i EC DVCAM25P SQ DVCAM25P EC	PAL Area /exFAT/SDの場合に選択可能な設定値

スロー & クイックモーション機能について

exFAT/HDモード時にもスロー & クイックモーション機能が使用できます。選択できる撮影フレームレートは、UDFモード時と同じです。

SDI/HDMI/i.LINK I/O Selectで選択する各端子の入出力信号について

exFAT/HDモード時、exFAT/SDモード時に、SDI/HDMI/i.LINK I/O Selectで選択できる各端子の入出力信号は、それぞれ、UDF/HDモード時、UDF/SDモード時と同じです。

その他

メモリーカードの残量表示についてのご注意

ビューファインダー画面に表示されるメモリーカードの残量表示は目安となります。メモリーカードへの記録は、映像データ以外に管理領域などが含まれており、メモリーカードの残量表示に対し、記録に使用できる容量が少なくなります。

Read the following instructions together with the Operating Instructions (PDF format) stored on the accompanying CD-ROM.

Additional functions of V1.6

Adding the menus for file storing

You can store the setup menu settings on an SxS memory card or a USB flash drive (for UDF or exFAT Mode).

By using the stored file, the proper setup condition can be immediately obtained.

Note

Values for “Clock Set” and “Hours Meter” of the OTHERS menu are not stored.

Setup file

All the menu settings (including picture profiles) are stored.

Up to 64 files can be stored on an SxS memory card or a USB flash drive (for UDF or exFAT Mode).

The setup files are stored using the file name “SETUP.SUF,” “SETUP002.SUF” - “SETUP064.SUF.”

User file

The customized setting items of the USER menu and setting data are stored.

Up to 64 files can be stored on an SxS memory card or a USB flash drive (for UDF or exFAT Mode).

By retrieving the file, you can set the USER menu to the customized setup condition.

The user files are stored using the file name “001.USER” - “064.USER.”

Picture profile

The setting values of the picture profile that are set for the imaged scene are stored.

Up to 5 files can be stored on an internal memory of the camcorder. Up to 64 files can be stored on an SxS memory card or a USB flash drive (for UDF or exFAT Mode).

The picture profiles are stored using the file name “PPDATA.SUF,” “PPDATA002.SUF” - “PPDATA064.SUF.”

Storing the file

1 Prepare the media for storing the files.

To use an SxS memory card

Insert an SxS memory card to a card slot.

Check that the corresponding memory card icon is displayed on the screen. If a memory card in another slot is selected, press the SLOT SELECT button to switch.

To use a USB flash drive

When using a USB flash drive (for UDF or exFAT Mode), connect the formatted USB flash drive to the external device connector.

2 For the setup files, select “Camera Data” of the OTHERS menu.

Select “User Data” of the OTHERS menu for the User file.

Select “PP Data” of the PICTURE PROFILE menu for the picture profile.

To name the stored file

Name the stored file before proceeding to step 3.

For details, see “Naming the stored file.”

3 For the setup files, select “Store(SxS)” or “Store(USB)” in “Camera Data.”

Select “Store(SxS)” or “Store(USB)” in “User Data” for the User file.

Select “Store(SxS)” or “Store(USB)” in “PP Data” for the picture profile.

The list box of the files appears.

“No File” is displayed on the file number for which no files are stored.

Date, time, and file name are displayed on the file number for which a file is stored.

4 Select the file number to be stored the file, then press the SEL/SET button or the jog dial.

A waiting message is displayed.

Note

If a setup file already exists on the memory card you stored in step 3, a message to confirm whether to overwrite the file is displayed.

5 To execute storing, select “Execute,” then press the SEL/SET button or the jog dial. To cancel storing, select “Cancel,” then press the SEL/SET button or the jog dial.

When executing storing, an in-progress message is displayed while writing. When writing is completed, a completion message is displayed.

Note

If the writable media is not inserted or there is not sufficient space on the media, an error message is displayed.

Naming the stored file

It is useful for identifying a file to name the stored file before storing the setting data as the file.

The following characters can be used for naming.

Numbers, alphabets, special characters (! # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ~)

Note

Characters that can be used for naming the picture profile are numbers, alphabets, - (hyphen), _ (underscore), and space.

1 Select “File ID” in “Camera Data” of the OTHERS menu.

Select “File ID” in “User Data” of the OTHERS menu for the User file.

Select “Profile Name” of the PICTURE PROFILE menu for the picture profile.

2 Select the character by using the jog dial or the up/down buttons, then press the SEL/SET button or the jog dial.

3 Repeat step 2.

4 After finishing character input, move the cursor to SEL by using the SEL/SET button or the jog dial, then press the SEL/SET button or the jog dial.

The input name is displayed. When performing the storing operation for the setup file, the data is stored with the input name.

Retrieving the file

Note

If the stored file on an SxS memory or USB flash drive (for UDF or exFAT Mode) is retrieved, the setup data that is stored on the internal memory of the camcorder is overwritten.

1 Prepare the media for storing the files.

To use an SxS memory card

Insert an SxS memory card in which the file is stored to a card slot.

Check that the corresponding memory card icon is displayed on the screen. If a memory card in another slot is selected, press the SLOT SELECT button to switch.

To use a USB flash drive

Connect the USB flash drive in which the file is stored to the external device connector.

2 For the setup files, select “Camera Data” of the OTHERS menu.

Select “User Data” of the OTHERS menu for the User file.

Select “PP Data” of the PICTURE PROFILE menu for the picture profile.

3 For the setup files, select “Recall(SxS)” or “Recall(USB)” in “Camera Data.”

Select “Recall(SxS)” or “Recall(USB)” in “User Data” for the User file.

Select “Recall(SxS)” or “Recall(USB)” in “PP Data” for the picture profile.

The list box of the files appears.

“No File” is displayed on the file number for which no files are stored.

Date, time, and file name are displayed on the file number for which a file is stored.

4 Select the file number to be recalled, then press the SEL/SET button or the jog dial.

A waiting message is displayed.

Note

If the selected file includes a setting change that needs to restart the camcorder, the message for permission to restart is displayed.

5 To execute recalling, select “Execute,” then press the SEL/SET button or the jog dial. To cancel recalling, select “Cancel,” then press the SEL/SET button or the jog dial.

When executing recalling, an in-progress message is displayed while recalling. When recalling is completed, a completion message is displayed and the setting of the camcorder is changed to the recalled setting.

Note

If the readable media is not inserted or there is not a corresponding file on the media, an error message is displayed.

Resetting to the standard values

The current camcorder settings you made through various menu and button operations can be collectively returned to the standard statuses (factory settings) by executing “All Reset” of the OTHERS menu.

Adding and changing the file storing menu items in the setup menu

Changes in Menu

The “Camera Data” in the OTHERS menu and PICTURE PROFILE menu have been changed as follows. “User Data” has been added to the OTHERS menu. You can also register menu items to store/recall “Camera Data”/“User Data”/“PP Data,” to the USER menu.

OTHERS		
Menu items	Subitems and setting values	Contents
Camera Data Storing/recalling the menu settings to an SxS memory card or USB flash drive	Display Mode Date&Time / Model Name	Select the displayed item on the list box when storing or recalling.
	Store(SxS) Execute / Cancel	When you select “Execute” to store the setting values to an SxS memory card, the setup file is stored to one of the following directories (up to 64 files can be stored). For UDF: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ For exFAT: /XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ For FAT: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PMW_300/
	Recall(SxS) Execute / Cancel	Select “Execute” to retrieve the setting values from an SxS memory card.
	Store(USB) Execute / Cancel	When you select “Execute” to store the setting values to a USB flash drive, the setup file is stored to the following directory (up to 64 files can be stored). /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	Recall(USB) Execute / Cancel	Select “Execute” to retrieve the setting values from a USB flash drive.
	File ID	Names a file using up to 16 characters.
User Data Storing/recalling the USER menu settings to an SxS memory card or USB flash drive	Store(SxS) Execute / Cancel	When you select “Execute” to store the setting values to an SxS memory card, the User file is stored to one of the following directories (up to 64 files can be stored). For UDF: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ For exFAT: /XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ For FAT: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PMW_300/
	Recall(SxS) Execute / Cancel	Select “Execute” to retrieve the User file from an SxS memory card.
	Store(USB) Execute / Cancel	When you select “Execute” to store the setting values to a USB flash drive, the User file is stored to the following directory (up to 64 files can be stored). /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	Recall(USB) Execute / Cancel	Select “Execute” to retrieve the User file from a USB flash drive.
	File ID	Names a file using up to 16 characters.
	Load Customize Data On / Off	Select whether loading the menu configuration and setting values (On) or loading the setting values only (Off) when retrieving the User file.

PICTURE PROFILE SET		
Items	Subitems and setting values	Contents
PP Data Writing/loading a picture profile	Display Mode	Select the displayed item on the list box that appears when storing or loading.
	Date&Time / Model Name	
	Store(SxS) Execute / Cancel	Select "Execute" to store a picture profile on an SxS memory card (up to 64 files can be stored).
	Recall(SxS) Execute / Cancel	Select "Execute" to load a picture profile from an SxS memory card.
	Store(USB) Execute / Cancel	Select "Execute" to store a picture profile on a USB flash drive (up to 64 files can be stored).
	Recall(USB) Execute / Cancel	Select "Execute" to load a picture profile from a USB flash drive.

Disabled the assignable setting while the menu is locked

If the menu is locked while the menu items of the setup menu listed below are not registered to the USER menu, the function of the menu item cannot be assigned to the assignable buttons.

Menu items of the setup menu			Menu items that can be assigned to the assignable buttons
CAMERA SET	Handle Zoom		Handle Zoom
	Clip Cont. Rec	Setting	Clip Continuous Rec
	P.Cache Rec	Setting	Picture Cache
	TLCS	Mode	Spotlight
			Backlight
LCD/VF SET	Zebra	Setting	Zebra
	Peaking	Setting	Peaking
	Marker	Setting	Marker
	EVF	Mode	VF Mode
	Display On/Off	Brightness Display	BRT Disp
		Histogram Display	Histogram
		Lens Info	Lens Info

If the functions listed above are assigned to the assignable buttons, the assignable settings are set to off automatically when the menu is locked.

Note

If the menu is locked while "SEL" of the PICTURE PROFILE menu is not registered to the USER menu, the selection with the direct menu operation is disabled.

Switching function for the color temperature of the white balance

When recalling one of the picture profiles (PP1 to PP6, 6 types) that are registered, you can switch the preset color temperature from 4 types of presets that are set on “Preset White” in “White” by pressing the assignable button to which “WB Preset” is assigned.

To set the preset color temperature

1 Press the PICTURE PROFILE button.

The PICTURE PROFILE menu appears.

2 Select “SEL,” and select the picture profile (PP1 to PP6).

3 Select “SET,” and select the preset number 1, 2, 3, or 4 on “Preset White Sel” in “White.”

4 Set the color temperature on “Preset White” in “White.”

The color temperature of 1, 2, 3, or 4 that is selected on “Preset White Sel” appears on “Preset White.” The default setting of the color temperature for 1, 2, 3, or 4 that is selected on “Preset White Sel” is as follows.

- 1 is selected for “Preset White Sel”: 3200K
 - 2 is selected for “Preset White Sel”: 4300K
 - 3 is selected for “Preset White Sel”: 5600K
 - 4 is selected for “Preset White Sel”: 6300K
- The color temperature can be set in step of 100K.

5 Press the SEL/SET button or the jog dial after setting the color temperature.

6 Repeat Steps 3 to 5 to set the color temperature for other preset number.

To operate by using the assignable button

1 Assign “WB Preset” to one of the assignable buttons 1 to 5.

2 Select the preset mode by using the WHITE BAL switch or operating on the Direct menu.

Note

When “Network Remote” is set to “On,” the adjustment mode for white balance is set to the Memory A mode and you cannot set to the preset mode. To set to the preset mode, set “Network Remote” to “Off.”

3 Press the assignable button to which “WB Preset” is assigned.

The 4 preset color temperature settings that are set on “To set the preset color temperature” are switched each time you press the assignable button.

Note

The preset color temperature cannot be switched in the following situations.

- When the adjustment mode for white balance is set to the ATW mode, Memory A mode, Memory B mode, or Memory C mode
- When “SEL” of “PICTURE PROFILE” is set to “Off”
- During playback, Rec Review, displaying the thumbnail screen, displaying the color bars
- While performing ABB, AWB, Multi Matrix > Color Detection, Color Correction > Area Indication, Skin Tone Detail > Area Detection, APR, Auto FB, AWS, or ABS

USER Menu

You can register arbitrary menu items from the CAMERA SET, AUDIO SET, VIDEO SET, VF SET, TC/UB SET, LENS File, OTHERS, and PICTURE PROFILE menus in the USER menu. Register items using the USER MENU CUSTOMIZE menu.

The USER menu consists of the following items when it is in the factory default state.

- Interval Rec
- Frame Rec
- Clip Cont. Rec
- P. Cache Rec
- S&Q Motion
- Video
- Assign Button
- Clip
- Format Media
- Menu Settings

USER MENU CUSTOMIZE Menu

You can edit the USER menu by adding items, deleting items, and rearranging items, making the USER menu more convenient to use.

You can select any item in each menu and add it to the USER menu. Up to 20 items can be registered in the USER menu. There are 10 items registered in the USER menu by factory default.

The configuration of the USER MENU CUSTOMIZE menu is as follows:

Item	Sub-item	Setting	Description
Registered item or blank (no item)	Ins Item ↑		Inserts an item above the selected item.
	Ins SubItem ↑		Inserts a sub-item above the selected sub-item.
	Ins Item ↓		Inserts an item below the selected item.
	Ins SubItem ↓		Inserts a sub-item below the selected sub-item.
	Edit Item	Del Item Ins SubItem Del SubItem	Edits a registered item or sub-item. Del Item: Deletes the item Ins SubItem: Inserts the sub-item Del SubItem: Deletes the sub-item
Customize Reset		Execute/Cancel	Restores the USER menu to the factory default state (select Execute).

Note

The same item or sub-item cannot be registered twice. Also, the name of the added item or sub-item cannot be changed.

To restore the USER menu to the factory default state

Select “Execute” in “Customize Reset” of the USER MENU CUSTOMIZE menu and press the jog dial or SEL/SET button.

Adding an item and all belonging sub-items

- 1 Display the USER MENU CUSTOMIZE menu.**
The currently registered menu items are displayed.
- 2 Select the item in the position where you want to insert an item, then press the jog dial or SEL/SET button.**
- 3 Select “Ins Item ↑” or “Ins Item ↓,” then press the jog dial or SEL/SET button.**
Ins Item ↑ : Inserts an item above the selected item.
Ins Item ↓ : Inserts an item below the selected item.
A list of the items that can be added is displayed.
- 4 Select the item you want to add, then select “Execute” and press the jog dial or SEL/SET button.**
The selected item and all belonging sub-items are inserted in the position specified in steps 2 and 3.

Adding an item and selected sub-item

- 1 Display the USER MENU CUSTOMIZE menu.**
The currently registered menu items are displayed.
- 2 Select the item in the position where you want to insert an item, then press the jog dial or SEL/SET button.**
- 3 Select “Ins SubItem ↑” or “Ins SubItem ↓,” then press the jog dial or SEL/SET button.**
Ins SubItem ↑ : Inserts a sub-item above the selected item.
Ins SubItem ↓ : Inserts a sub-item below the selected item.
A list of the items that can be added is displayed.
- 4 Select the item you want to add, then press the jog dial or SEL/SET button.**
A list of the sub-items that can be added is displayed.
- 5 Select the sub-item you want to add, then select “Execute” and press the jog dial or SEL/SET button.**
The selected item and sub-item are inserted in the position specified in steps 2 and 3.

Adding a sub-item to an existing item

Note

A sub-item should always be added below an item that is its parent in the source menu. A sub-item cannot be inserted below a non-parent item.

- 1 Display the USER MENU CUSTOMIZE menu.**
The currently registered menu items are displayed.
- 2 Select the item to which you want to add a sub-item, then press the jog dial or SEL/SET button.**
- 3 Set “Edit Item” to “Ins SubItem.”**
A list of the currently registered sub-items for the selected item is displayed.

- 4 Select the sub-item in the position where you want to insert a sub-item, select “Ins SubItem ↑” or “Ins SubItem ↓,” and press the jog dial or SEL/SET button.**

Ins SubItem ↑ : Inserts a sub-item above the selected sub-item.

Ins SubItem ↓ : Inserts a sub-item below the selected sub-item.

A list of the sub-items that can be added is displayed.

- 5 Select the sub-item you want to add, then select “Execute” and press the jog dial or SEL/SET button.**

The selected sub-item is inserted in the position specified in step 4.

Deleting an item

- 1 Display the USER MENU CUSTOMIZE menu.**

The currently registered menu items are displayed.

- 2 Select the item you want to delete, then press the jog dial or SEL/SET button.**

- 3 Set “Edit Item” to “Del Item.”**

The selected item is deleted.

Deleting a sub-item

Note

“User Menu Only” in “Menu Settings” is registered by factory default and cannot be deleted.

- 1 Display the USER MENU CUSTOMIZE menu.**

The currently registered menu items are displayed.

- 2 Select the item containing the sub-item you want to delete, then press the jog dial or SEL/SET button.**

- 3 Set “Edit Item” to “Del SubItem.”**

A list of the sub-items that can be deleted is displayed.

- 4 Select the sub-item you want to delete, then press the jog dial or SEL/SET button.**

The selected sub-item is deleted.

Locking and Unlocking the menus

You can lock the display of the setup menu to display only the USER menu.

Locking the Menu

- 1 Press the MENU button while holding down the jog dial.**
- 2 Select “User Menu with Lock” in “Menu Settings” of the OTHERS menu.**

Notes

- “User Menu Only” in “Menu Settings” changes to “User Menu with Lock” by pressing the MENU button while holding down the jog dial.
- “User Menu with Lock” is not displayed in “Menu Settings” when the menu is displayed by pressing only the MENU button.

- 3 Select “On” and press the SEL/SET button or the jog dial.**

The viewfinder screen changes to the password input screen.

- 4 Enter the password.**

Enter a four-digit number from 0000 to 9999 for the password. The default setting is 0000.

When the SEL/SET button or the jog dial is pressed after a number is input, the cursor moves to the next digit.

After all digits of the password are input, the cursor moves to SET.

- 5 Press the SEL/SET button or the jog dial.**

The input is confirmed.

The completion message appears and the menu screen with only the USER menu is displayed.

Unlocking the Menu

- 1 Press the MENU button while holding down the jog dial.**
- 2 Select “User Menu with Lock” in “Menu Settings” of the USER menu.**

Notes

- “User Menu Only” in “Menu Settings” changes to “User Menu with Lock” by pressing the MENU button while holding down the jog dial.
- “User Menu with Lock” is not displayed in “Menu Settings” when the menu is displayed by pressing only the MENU button.

- 3 Select “Off” and press the SEL/SET button or the jog dial.**

The viewfinder screen changes to the password input screen.

- 4 Enter the password registered when you locked the menu in the password input screen.**

Enter a four-digit number from 0000 to 9999 for the password.

When the SEL/SET button or the jog dial is pressed after a number is input, the cursor moves to the next digit.

After all digits of the password are input, the cursor moves to SET.

- 5 Press the SEL/SET button or the jog dial.**

The input is confirmed.

If the correct password is input, an unlocking message appears, and the menu screen with all menu is displayed.

Notes

- If the wrong password is input, you cannot release the lock.
- Keeping your password is recommended for future reference. If you forget your password, contact a Sony service representative.

Changes in Menu

Menu Settings are added to the OTHERS menu according to the USER menu addition.

Items of Menu Settings are as follow:

OTHERS		
Menu items	Subitems and setting values	Contents
Menu Settings Setting the menu function	Direct Menu All / Part / Off	Direct Menu under the OTHERS menu is moved here.
	Menu Scroll Normal / Loop	Menu Scroll under the OTHERS menu is moved here.
	User Menu Only On / Off	Select to display only the USER menu (On) or Menu list (Off).
	User Menu with Lock On / Off	Select On or Off to lock the menu display and display only the USER menu. On: Lock the menu display by entering a password (Only the USER menu is displayed). Off: Unlock the menu display by entering password (The normal menu list is displayed).
Note This item is not displayed by normal operation. For operating the menu display, see “<i>Locking and Unlocking the menus</i>” (page 25).		

SDXC Card support

SDXC cards are supported. (exFAT only)

Use of the optional MEAD-SD02 Media Adaptor permits you to insert an SDXC card into the SxS memory card slot and use it for recording and playback.

For details on use of the MEAD-SD02 Media Adaptor, refer to the operating instructions supplied with the respective adaptor.

Usable SDXC Cards

Class 10 SDXC card

Notes

- When you use an SDXC card with this camcorder, it must be formatted using the format function of this camcorder.
- High-speed playback may not be properly achieved with an SDXC card.
- SDXC cards can only be used in exFAT.
- Recording with XAVC-I format or the Slow & Quick Motion recording may not be performed correctly depending on the SDXC card used. An SxS memory card is recommended.
- When you use an SDXC card, do not use other types of memory cards simultaneously. If you use other types of media simultaneously, switching to other media cannot be executed when the media has no space while recording.
- An SDXC card recorded with the camcorder of the PMW and PXW series may not be able to be used for recording and playback with this unit depending on the type of unit used. For details, contact your Sony dealer or a Sony service representative.
- Not all memory cards have been verified to function with this camcorder. For compatible memory cards, contact your dealer.

Status display of Wi-Fi Remote

Wi-Fi>Wi-Fi Remote Setting display under the OTHERS menu is added to the Button/Remote Status Screen.

Wi-Fi menu

When connecting through wireless adapter CBK-WA100, you can set Wi-Fi>Wi-Fi and Wi-Fi>Wi-Fi Remote under the OTHERS menu.

Additional functions of V1.4

MPEG2 recording in exFAT mode

The MPEG2 recording format has become available in exFAT mode in addition to UDF mode.
The available MPEG2 formats selectable in exFAT mode are shown below:

- HD422
- HD420 (HQ)
- DVCAM

Changes in Menu

The changes in “System” in the OTHERS menu are shown below:

- Added the XAVC/MPEG2 menu item
- Added the setting values of “Format”

For details, see the following chart. (The default values are in bold.)

Setting items	Setting values	Contents
XAVC/MPEG2	XAVC MPEG2	Switch the format between XAVC/MPEG2 in exFAT/HD mode.
Format	HD422 50/1080/59.94i HQ 1920x1080/59.94i HQ 1440x1080/59.94i HD422 50/1080/29.97P HQ 1920x1080/29.97P HQ 1440x1080/29.97P HD422 50/1080/23.98P HQ 1920x1080/23.98P HQ 1440x1080/23.98P HD422 50/720/59.94P HQ 1280x720/59.94P HD422 50/720/29.97P HD422 50/720/23.98P HQ 1280x720/23.98P	Selectable setting values for NTSC Area/exFAT/HD/MPEG2

Setting items	Setting values	Contents
	HD422 50/1080/50i HQ 1920x1080/50i HQ 1440x1080/50i HD422 50/1080/25P HQ 1920x1080/25P HQ 1440x1080/25P HD422 50/720/50P HQ 1280x720/50P HD422 50/720/25P	Selectable setting values for PAL Area/exFAT/ HD/MPEG2
	DVCAM59.94i SQ DVCAM59.94i EC DVCAM29.97P SQ DVCAM29.97P EC	Selectable setting values for NTSC Area/exFAT/SD
	DVCAM50i SQ DVCAM50i EC DVCAM25P SQ DVCAM25P EC	Selectable setting values for PAL Area/exFAT/SD

About the Slow & Quick Motion Function

The Slow & Quick Motion function is available even in exFAT/HD mode. The selectable recording frame rate is the same as that in UDF mode.

About the Input/Output Signals for the Connectors Selected with SDI/HDMI/i.LINK I/O Select

The input/output signals for the connectors selectable with SDI/HDMI/i.LINK I/O Select in exFAT/HD and exFAT/SD modes are the same as those in UDF/HD and UDF/SD modes respectively.

Others

Notes on the remaining space display of a memory card

The remaining space display of a memory card on the viewfinder screen is a rough indication. The actual remaining time may be less than the one displayed since the memory card has data other than video such as the management area.

Lisez les instructions suivantes ainsi que le mode d'emploi (format PDF) inclus sur le CD-ROM fourni.

Fonctions supplémentaires de la V1.6

Ajout des menus pour le stockage de fichier

Vous pouvez stocker les paramètres du menu de configuration sur une carte mémoire SxS ou une clé USB (pour le mode UDF ou exFAT).

À l'aide du fichier stocké, la condition de configuration appropriée peut être obtenue immédiatement.

Remarque

Les valeurs pour « Clock Set » et « Hours Meter » du menu OTHERS ne sont pas mémorisées.

Fichier de configuration

Tous les paramètres de menu (y compris les profils d'image) sont stockés.

Il est possible de stocker jusqu'à 64 fichiers sur une carte mémoire SxS ou une clé USB (pour le mode UDF ou exFAT).

Les fichiers de configuration sont stockés sous le nom de fichier « SETUP.SUF », « SETUP002.SUF » - « SETUP064.SUF ».

Fichier utilisateur

Les paramètres personnalisés du menu USER et les données de réglage sont stockés.

Il est possible de stocker jusqu'à 64 fichiers sur une carte mémoire SxS ou une clé USB (pour le mode UDF ou exFAT).

En récupérant le fichier, vous pouvez régler le menu USER sur la condition de configuration personnalisée.

Les fichiers utilisateur sont stockés sous le nom de fichier « 001.USER » - « 064USER ».

Profil d'image

Les valeurs de réglage du profil d'image définies pour la scène contenant des images sont stockées.

Il est possible de stocker jusqu'à 5 fichiers sur une mémoire interne du caméscope. Il est possible de stocker jusqu'à 64 fichiers sur une carte mémoire SxS ou une clé USB (pour le mode UDF ou exFAT).

Les profils d'image sont stockés sous le nom de fichier « PPDATA.SUF », « PPDATA002.SUF » - « PPDATA064.SUF ».

Stockage du fichier

1 Préparez le support pour stocker les fichiers.

Pour utiliser une carte mémoire SxS

Insérez une carte mémoire SxS dans une fente pour carte.

Vérifiez que l'icône de carte mémoire correspondante s'affiche à l'écran. Si une carte mémoire d'une autre fente est sélectionnée, appuyez sur le bouton SLOT SELECT pour commuter.

Pour utiliser une clé USB

Pour utiliser une clé USB (pour le mode UDF ou exFAT), branchez la clé USB formatée au connecteur de périphérique externe.

2 Pour les fichiers de configuration, sélectionnez « Camera Data » dans le menu OTHERS.

Sélectionnez « User Data » dans le menu OTHERS pour le fichier utilisateur.

Sélectionnez « PP Data » dans le menu PICTURE PROFILE pour le profil d'image.

Pour nommer le fichier stocké

Nommez le fichier stocké avant de passer à l'étape 3.

Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Dénomination du fichier stocké ».

3 Pour les fichiers de configuration, sélectionnez « Store(SxS) » ou « Store(USB) » sous « Camera Data ».

Sélectionnez « Store(SxS) » ou « Store(USB) » sous « User Data » pour le fichier utilisateur.

Sélectionnez « Store(SxS) » ou « Store(USB) » sous « PP Data » pour le profil d'image.

La zone de liste des fichiers apparaît.

« No File » s'affiche sur le numéro de fichier pour lequel aucun fichier n'est stocké.

La date, l'heure et le nom de fichier s'affichent sur le numéro de fichier pour lequel un fichier est stocké.

4 Sélectionnez le numéro de fichier à stocker dans le fichier, puis appuyez sur le bouton SEL/SET ou sur la commande rotative.

Un message d'attente s'affiche.

Remarque

Si un fichier de configuration existe déjà sur la carte mémoire que vous avez stockée à l'étape 3, un message demandant de vérifier s'il faut écraser le fichier s'affiche.

5 Pour exécuter le stockage, sélectionnez « Execute », puis appuyez sur le bouton SEL/SET ou sur la commande rotative.

Pour annuler le stockage, sélectionnez « Cancel », puis appuyez sur le bouton SEL/SET ou sur la commande rotative.

Pendant l'exécution du stockage, un message indiquant la progression s'affiche lors de l'écriture. Une fois l'écriture terminée, un message indiquant l'achèvement s'affiche.

Remarque

Si le support inscriptible n'est pas inséré ou s'il n'y a pas suffisamment d'espace sur le support, un message d'erreur s'affiche.

Dénomination du fichier stocké

Pour identifier un fichier, il est utile de nommer le fichier stocké avant de stocker les données de réglage en tant que fichier.

Les caractères suivants peuvent être utilisés pour la dénomination.

Chiffres, caractères alphabétiques, caractères spéciaux (! # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ~)

Remarque

Les caractères pouvant être utilisés pour nommer le profil d'image sont les chiffres, les caractères alphabétiques, - (le tiret), _ (le trait de soulignement) et l'espace.

1 Sélectionnez « File ID » sous « Camera Data » dans le menu OTHERS.

Sélectionnez « File ID » sous « User Data » dans le menu OTHERS pour le fichier utilisateur.

Sélectionnez « Profile Name » dans le menu PICTURE PROFILE pour le profil d'image.

2 Sélectionnez le caractère à l'aide de la commande rotative ou des boutons haut/bas, puis appuyez sur le bouton SEL/SET ou sur la commande rotative.

3 Recommencez l'étape 2.

4 Une fois la saisie des caractères terminée, placez le curseur sur SEL à l'aide du bouton SEL/SET ou de la commande rotative, puis appuyez sur le bouton SEL/SET ou sur la commande rotative.

Le nom saisi s'affiche. Pendant l'exécution de l'opération de stockage du fichier de configuration, les données sont stockées sous le nom saisi.

Récupération du fichier

Remarque

Si le fichier stocké sur une carte mémoire SxS ou une clé USB (pour le mode UDF ou exFAT) est récupéré, les données de configuration stockées sur la mémoire interne du caméscope sont écrasées.

1 Préparez le support pour stocker les fichiers.

Pour utiliser une carte mémoire SxS

Insérez dans une fente pour carte une carte mémoire SxS sur laquelle le fichier est stocké. Vérifiez que l'icône de carte mémoire correspondante s'affiche à l'écran. Si une carte mémoire d'une autre fente est sélectionnée, appuyez sur le bouton SLOT SELECT pour commuter.

Pour utiliser une clé USB

Branchez au connecteur de périphérique externe la clé USB sur laquelle le fichier est stocké.

2 Pour les fichiers de configuration, sélectionnez « Camera Data » dans le menu OTHERS.

Sélectionnez « User Data » dans le menu OTHERS pour le fichier utilisateur.

Sélectionnez « PP Data » dans le menu PICTURE PROFILE pour le profil d'image.

3 Pour les fichiers de configuration, sélectionnez « Recall(SxS) » ou « Recall(USB) » sous « Camera Data ».

Sélectionnez « Recall(SxS) » ou « Recall(USB) » sous « User Data » pour le fichier utilisateur.

Sélectionnez « Recall(SxS) » ou « Recall(USB) » sous « PP Data » pour le profil d'image.

La zone de liste des fichiers apparaît.

« No File » s'affiche sur le numéro de fichier pour lequel aucun fichier n'est stocké.

La date, l'heure et le nom de fichier s'affichent sur le numéro de fichier pour lequel un fichier est stocké.

4 Sélectionnez le numéro de fichier à rappeler, puis appuyez sur le bouton SEL/SET ou sur la commande rotative.

Un message d'attente s'affiche.

Remarque

Si le fichier sélectionné comporte un changement de réglage qui nécessite de redémarrer le caméscope, le message demandant l'autorisation de redémarrer s'affiche.

5 Pour exécuter le rappel, sélectionnez « Execute », puis appuyez sur le bouton SEL/SET ou sur la commande rotative.

Pour annuler le rappel, sélectionnez « Cancel », puis appuyez sur le bouton SEL/SET ou sur la commande rotative.

Pendant l'exécution du rappel, un message indiquant la progression s'affiche. Une fois le rappel terminé, un message indiquant l'achèvement s'affiche et le caméscope bascule sur le paramètre « rappelé ».

Remarque

Si le support lisible n'est pas inséré ou s'il n'y a pas de fichier correspondant sur le support, un message d'erreur s'affiche.

Réinitialisation des valeurs standard

Vous pouvez annuler les réglages du caméscope actuels que vous avez effectués à travers différentes opérations de menu et de bouton pour rétablir collectivement l'état standard (réglages d'usine) en exécutant « All Reset » du menu OTHERS.

Ajout et modification des éléments de menu de stockage de fichier dans le menu de configuration

Modifications apportées au menu

Les données « Camera Data » dans le menu OTHERS et le menu PICTURE PROFILE ont été modifiées comme suit.
Les données « User Data » ont été ajoutées au menu OTHERS. Vous pouvez également enregistrer des éléments de menu pour stocker/rappeler les données « Camera Data »/« User Data »/« PP Data » vers le menu USER.

OTHERS		
Options de menu	Sous-options et valeurs de réglage	Contenu
Camera Data Enregistrement/ rappel des réglages des menus sur une carte mémoire SxS ou un lecteur flash USB	Display Mode Date&Time / Model Name	Sélectionnez l'élément affiché sur la zone de liste lors du stockage ou du rappel.
	Store(SxS) Execute / Cancel	Lorsque vous sélectionnez « Execute » pour mémoriser les valeurs de réglage sur une carte mémoire SxS, le fichier de configuration est mémorisé dans un des répertoires suivants (il est possible de stocker jusqu'à 64 fichiers). Pour UDF : /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/ PMW_300/ Pour exFAT : /XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/ XDCAM/PMW_300/ Pour FAT : /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/ PMW_300/
	Recall(SxS) Execute / Cancel	Sélectionnez « Execute » pour récupérer les valeurs de réglage à partir d'une carte mémoire SxS.
	Store(USB) Execute / Cancel	Lorsque vous sélectionnez « Execute » pour mémoriser les valeurs de réglage sur un lecteur flash USB, le fichier de configuration est mémorisé dans le répertoire suivant (il est possible de stocker jusqu'à 64 fichiers). /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	Recall(USB) Execute / Cancel	Sélectionnez « Execute » pour récupérer les valeurs de réglage à partir d'un lecteur flash USB.
	File ID	Nomme un fichier en utilisant jusqu'à 16 caractères.

OTHERS		
Options de menu	Sous-options et valeurs de réglage	Contenu
User Data Stockage/rappel des réglages du menu USER vers une carte mémoire SxS ou une clé USB	Store(SxS) Execute / Cancel	Lorsque vous sélectionnez « Execute » pour stocker les valeurs de réglage vers une carte mémoire SxS, le fichier utilisateur est stocké dans l'un des répertoires suivants (il est possible de stocker jusqu'à 64 fichiers). Pour UDF : /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ Pour exFAT : /XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ Pour FAT : /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PMW_300/
	Recall(SxS) Execute / Cancel	Sélectionnez « Execute » pour récupérer le fichier utilisateur à partir d'une carte mémoire SxS.
	Store(USB) Execute / Cancel	Lorsque vous sélectionnez « Execute » pour stocker les valeurs de réglage vers une clé USB, le fichier utilisateur est stocké dans le répertoire suivant (il est possible de stocker jusqu'à 64 fichiers). /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	Recall(USB) Execute / Cancel	Sélectionnez « Execute » pour récupérer le fichier utilisateur à partir d'une clé USB.
	File ID	Nomme un fichier en utilisant jusqu'à 16 caractères.
	Load Customize Data On / Off	Choisissez si vous souhaitez charger la configuration de menu et les valeurs de réglage (On) ou charger uniquement les valeurs de réglage (Off) lors de la récupération du fichier utilisateur.

PICTURE PROFILE SET		
Options	Sous-options et valeurs de réglage	Contenu
PP Data Écriture/ Chargement d'un profil d'image	Display Mode Date&Time / Model Name	Sélectionnez l'élément affiché sur la zone de liste apparaissant lors du stockage ou du chargement.
	Store(SxS) Execute / Cancel	Sélectionnez « Execute » pour stocker un profil d'image sur une carte mémoire SxS (il est possible de stocker jusqu'à 64 fichiers).
	Recall(SxS) Execute / Cancel	Sélectionnez « Execute » pour charger un profil d'image à partir d'une carte mémoire SxS.
	Store(USB) Execute / Cancel	Sélectionnez « Execute » pour stocker un profil d'image sur une clé USB (il est possible de stocker jusqu'à 64 fichiers).
	Recall(USB) Execute / Cancel	Sélectionnez « Execute » pour charger un profil d'image à partir d'une clé USB.

Désactivation du réglage d'assignation lorsque le menu est verrouillé

Si le menu est verrouillé alors que les éléments de menu du menu de configuration répertoriés ci-dessous ne sont pas enregistrés dans le menu USER, la fonction de l'élément de menu ne peut pas être assignée aux boutons assignables.

Éléments du menu de configuration			Éléments de menu pouvant être assignés aux boutons assignables
CAMERA SET	Handle Zoom		Handle Zoom
	Clip Cont.Rec	Setting	Clip Continuous Rec
	P.Cache Rec	Setting	Picture Cache
	TLCS	Mode	Spotlight
			Backlight
LCD/VF SET	Zebra	Setting	Zebra
	Peaking	Setting	Peaking
	Marker	Setting	Marker
	EVF	Mode	VF Mode
	Display On/Off	Brightness Display	BRT Disp
		Histogram Display	Histogram
		Lens Info	Lens Info

Si les fonctions répertoriées ci-dessus sont assignées aux boutons assignables, les réglages d'assignation sont désactivés automatiquement lorsque le menu est verrouillé.

Remarque

Si le menu est verrouillé alors que « SEL » du menu PICTURE PROFILE n'est pas enregistré dans le menu USER, la sélection depuis le menu Direct est désactivée.

Commutation de la fonction pour la température de couleur de la balance des blancs

Pour rappeler l'un des profils d'image (PP1 à PP6, 6 types) enregistrés, vous pouvez basculer la température de couleur prédéfinie depuis 4 types de préréglages configurés dans « Preset White » sous « White » en appuyant sur le bouton assignable auquel « WB Preset » est assigné.

Pour régler la température de couleur prédéfinie

- Appuyez sur le bouton PICTURE PROFILE.**
Le menu PICTURE PROFILE apparaît.
- Sélectionnez « SEL », puis le profil d'image (PP1 à PP6).**
- Sélectionnez « SET », puis le numéro prédéfini 1, 2, 3 ou 4 dans « Preset White Sel » sous « White ».**

4 Réglez la température de couleur sur « Preset White » sous « White ».

La température de couleur de 1, 2, 3 ou 4 sélectionnée sous « Preset White Sel » apparaît sous « Preset White ».

Le réglage par défaut de la température de couleur pour 1, 2, 3 ou 4 sélectionné sous « Preset White Sel » est le suivant.

- 1 est sélectionné pour « Preset White Sel » : 3200K
- 2 est sélectionné pour « Preset White Sel » : 4300K
- 3 est sélectionné pour « Preset White Sel » : 5600K
- 4 est sélectionné pour « Preset White Sel » : 6300K

La température de couleur peut être définie par pas de 100K.

5 Appuyez sur le bouton SEL/SET ou sur la commande rotative après avoir réglé la température de couleur.

6 Recommencez les étapes 3 à 5 pour régler la température de couleur sur un autre numéro prédéfini.

Pour les opérations à l'aide du bouton assignable

1 Assignez « WB Preset » à l'un des boutons assignables 1 à 5.

2 Sélectionnez le mode prédéfini à l'aide du commutateur WHITE BAL ou depuis le menu Direct.

Remarque

Lorsque « Network Remote » est réglé sur « On », le mode de réglage de la balance des blancs est défini sur le mode Mémoire A et la sélection du mode prédéfini est impossible. Pour sélectionner le mode prédéfini, réglez « Network Remote » sur « Off ».

3 Appuyez sur le bouton auquel « WB Preset » est assigné.

Les 4 paramètres de température de couleur prédéfinie réglés sur « Pour régler la température de couleur prédéfinie » commutent à chaque pression sur le bouton assignable.

Remarque

La température de couleur prédéfinie ne peut pas commuter dans les situations suivantes.

- Lorsque le mode de réglage de la balance des blancs est défini sur le mode ATW, Mémoire A, Mémoire B ou Mémoire C
- Lorsque « SEL » de « PICTURE PROFILE » est réglé sur « Off »
- Pendant la lecture, Rec Review, l'affichage de l'écran des miniatures, l'affichage des barres de couleur
- Pendant l'exécution d'ABB, d'AWB, Multi Matrix > Color Detection, Color Correction > Area Indication, Skin Tone Detail > Area Detection, d'APR, d'Auto FB, d'AWS ou d'ABS

Fonctions supplémentaires de la V1.5

Menu USER

Vous pouvez sélectionner arbitrairement des options de menu des menus CAMERA SET, AUDIO SET, VIDEO SET, VF SET, TC/UB SET, LENS File, OTHERS et PICTURE PROFILE en vue de les enregistrer dans le menu USER. Enregistrez les options à l'aide du menu USER MENU CUSTOMIZE. Le menu USER est constitué des options suivantes dans son état par défaut d'origine.

- Interval Rec
- Frame Rec

- Clip Cont.Rec
- P.Cache Rec
- S&Q Motion
- Video
- Assign Button
- Clip
- Format Media
- Menu Settings

Menu USER MENU CUSTOMIZE

Vous pouvez modifier le menu USER en ajoutant, supprimant et classant les options afin de faciliter son utilisation.

Vous pouvez sélectionner n’importe quelle option de chacun des menus et l’ajouter au menu USER. Il est possible d’enregistrer jusqu’à 20 options dans le menu USER. D’origine, 10 options sont enregistrées par défaut dans le menu USER.

La configuration du menu USER MENU CUSTOMIZE est la suivante :

Option	Sous-option	Réglage	Description
Option enregistrée ou vierge (aucune option)	Ins Item ↑		Insère une option au-dessus de l’option sélectionnée.
	Ins SubItem ↑		Insère une option au-dessus de la sous-option sélectionnée.
	Ins Item ↓		Insère une option sous l’option sélectionnée.
	Ins SubItem ↓		Insère une sous-option sous la sous-option sélectionnée.
	Edit Item	Del Item Ins SubItem Del SubItem	Modifie une option ou une sous-option enregistrée. Del Item: supprime l’option Ins SubItem: insère la sous-option Del SubItem: supprime la sous-option
Customize Reset		Execute/Cancel	Restaure le menu USER dans son état par défaut d’origine (sélectionnez Execute).

Remarque

La même option ou sous-option ne peut pas être enregistrée deux fois. En outre, le nom de l’option ou de la sous-option ne peut pas être modifié.

Pour restaurer le menu USER dans son état par défaut d’origine

Sélectionnez « Execute » sous « Customize Reset » du menu USER MENU CUSTOMIZE et appuyez sur la commande rotative ou sur le bouton SEL/SET button.

Ajout d’une option et de toutes ses sous-options

- Affichez le menu USER MENU CUSTOMIZE.**
Les options de menu actuellement enregistrées s’affichent.
- Sélectionnez l’option occupant la position à laquelle vous souhaitez insérer une option, puis appuyez sur la commande rotative ou sur le bouton SEL/SET.**

- 3 Sélectionnez « Ins Item ↑ » ou « Ins Item ↓ », puis appuyez sur la commande rotative ou sur le bouton SEL/SET.**

Ins Item ↑ : insère une option au-dessus de l'option sélectionnée.

Ins Item ↓ : insère une option sous l'option sélectionnée.

La liste des options susceptibles d'être ajoutées s'affiche.

- 4 Sélectionnez l'option que vous souhaitez ajouter, puis sélectionnez « Execute » et appuyez sur la commande rotative ou sur le bouton SEL/SET.**

L'option sélectionnée ainsi que toutes ses sous-options sont insérées à la position spécifiée aux étapes 2 et 3.

Ajout d'une option et d'une sous-option déterminée

- 1 Affichez le menu USER MENU CUSTOMIZE.**

Les options de menu actuellement enregistrées s'affichent.

- 2 Sélectionnez l'option occupant la position à laquelle vous souhaitez insérer une option, puis appuyez sur la commande rotative ou sur le bouton SEL/SET.**

- 3 Sélectionnez « Ins SubItem ↑ » ou « Ins SubItem ↓ », puis appuyez sur la commande rotative ou sur le bouton SEL/SET.**

Ins SubItem ↑ : insère une sous-option au-dessus de l'option sélectionnée.

Ins SubItem ↓ : insère une sous-option sous l'option sélectionnée.

La liste des options susceptibles d'être ajoutées s'affiche.

- 4 Sélectionnez l'option que vous souhaitez ajouter, puis appuyez sur la commande rotative ou sur le bouton SEL/SET.**

La liste des sous-options susceptibles d'être ajoutées s'affiche.

- 5 Sélectionnez la sous-option que vous souhaitez ajouter, puis sélectionnez « Execute » et appuyez sur la commande rotative ou sur le bouton SEL/SET.**

L'option et la sous-option sélectionnées sont insérées à la position spécifiée aux étapes 2 et 3.

Ajout d'une sous-option à une option existante

Remarque

Une sous-option doit toujours être ajoutée sous une option qui constitue son parent dans le menu source. Une sous-option ne peut pas être insérée sous une option qui n'est pas son parent.

- 1 Affichez le menu USER MENU CUSTOMIZE.**

Les options de menu actuellement enregistrées s'affichent.

- 2 Sélectionnez l'option à laquelle vous souhaitez ajouter une sous-option, puis appuyez sur la commande rotative ou sur le bouton SEL/SET.**

- 3 Réglez « Edit Item » sur « Ins SubItem ».**

La liste des sous-options actuellement enregistrées pour l'option sélectionnée s'affiche.

- Sélectionnez la sous-option occupant la position à laquelle vous souhaitez insérer une sous-option, sélectionnez « Ins SubItem ↑ » ou « Ins SubItem ↓ » et appuyez sur la commande rotative ou sur le bouton SEL/SET.**

Ins SubItem ↑ : insère une sous-option au-dessus de la sous-option sélectionnée.

Ins SubItem ↓ : insère une sous-option sous la sous-option sélectionnée.

La liste des sous-options susceptibles d'être ajoutées s'affiche.

- Sélectionnez la sous-option que vous souhaitez ajouter, puis sélectionnez « Execute » et appuyez sur la commande rotative ou sur le bouton SEL/SET.**

La sous-option sélectionnée est insérée à la position spécifiée à l'étape 4.

Suppression d'une option

- Affichez le menu USER MENU CUSTOMIZE.**

Les options de menu actuellement enregistrées s'affichent.

- Sélectionnez l'option que vous souhaitez supprimer, puis appuyez sur la commande rotative ou sur le bouton SEL/SET.**

- Réglez « Edit Item » sur « Del Item ».**

L'option sélectionnée est supprimée.

Suppression d'une sous-option

Remarque

« User Menu Only » sous « Menu Settings » est enregistrée par défaut d'origine et ne peut pas être supprimée.

- Affichez le menu USER MENU CUSTOMIZE.**

Les options de menu actuellement enregistrées s'affichent.

- Sélectionnez l'option renfermant la sous-option que vous souhaitez supprimer, puis appuyez sur la commande rotative ou sur le bouton SEL/SET.**

- Réglez « Edit Item » sur « Del SubItem ».**

La liste des sous-options susceptibles d'être supprimées s'affiche.

- Sélectionnez la sous-option que vous souhaitez supprimer, puis appuyez sur la commande rotative ou sur le bouton SEL/SET.**

La sous-option sélectionnée est supprimée.

Verrouillage et déverrouillage des menus

Vous pouvez verrouiller l'affichage du menu de configuration afin d'afficher seulement le menu USER.

Verrouillage du menu

- Appuyez sur le bouton MENU tout en maintenant la commande rotative enfoncée.**

- Sélectionnez « User Menu with Lock » sous « Menu Settings » du menu OTHERS.**

Remarques

- « User Menu Only » sous « Menu Settings » est remplacé par « User Menu with Lock » en appuyant sur le bouton MENU tout en maintenant la commande rotative enfoncée.
- « User Menu with Lock » n'est pas affiché sous « Menu Settings » quand le menu est affiché en appuyant seulement sur le bouton MENU.

3 Sélectionnez « On » et appuyez sur le bouton SEL/SET ou sur la commande rotative.

L'écran du viseur cède la place à l'écran de saisie du mot de passe.

4 Saisissez le mot de passe.

Comme mot de passe, saisissez un nombre de quatre chiffres compris entre 0000 et 9999. Le réglage par défaut est 0000.

Quand vous appuyez sur le bouton SEL/SET ou sur la commande rotative après avoir saisi un chiffre, le curseur se déplace jusqu'au chiffre suivant.

Quand tous les chiffres du mot de passe ont été saisis, le curseur se déplace jusqu'à SET.

5 Appuyez sur le bouton SEL/SET ou sur la commande rotative.

La saisie est confirmée.

Le message de fin apparaît, suivi de l'écran de menu, mais seul le menu USER est affiché.

Déverrouillage du menu

1 Appuyez sur le bouton MENU tout en maintenant la commande rotative enfoncée.

2 Sélectionnez « User Menu with Lock » sous « Menu Settings » du menu USER.

Remarques

- « User Menu Only » sous « Menu Settings » est remplacé par « User Menu with Lock » en appuyant sur le bouton MENU tout en maintenant la commande rotative enfoncée.
- « User Menu with Lock » n'est pas affiché sous « Menu Settings » quand le menu est affiché en appuyant seulement sur le bouton MENU.

3 Sélectionnez « Off » et appuyez sur le bouton SEL/SET ou sur la commande rotative.

L'écran du viseur cède la place à l'écran de saisie du mot de passe.

4 Saisissez le mot de passe qui a été enregistré quand vous avez verrouillé le menu dans l'écran de saisie du mot de passe.

Comme mot de passe, saisissez un nombre de quatre chiffres compris entre 0000 et 9999.

Quand vous appuyez sur le bouton SEL/SET ou sur la commande rotative après avoir saisi un chiffre, le curseur se déplace jusqu'au chiffre suivant.

Quand tous les chiffres du mot de passe ont été saisis, le curseur se déplace jusqu'à SET.

5 Appuyez sur le bouton SEL/SET ou sur la commande rotative.

La saisie est confirmée.

Si vous saisissez le mot de passe correct, un message de déverrouillage apparaît et l'écran de menu reprenant le menu complet s'affiche.

Remarques

- Si un mot de passe incorrect est saisi, le déverrouillage est impossible.
- Il est recommandé de noter votre mot de passe en vue de son utilisation ultérieure. Si vous oubliez votre mot de passe, contactez un représentant du service après-vente Sony.

Changements dans le menu

Menu Settings a été ajouté au menu OTHERS suite à l'ajout du menu USER.
Les options de Menu Settings sont les suivantes :

OTHERS		
Options de menu	Sous-options et valeurs de réglage	Contenu
Menu Settings Réglage de la fonction de menu	Direct Menu All / Part / Off	Direct Menu situé dans le menu OTHERS a été déplacé ici.
	Menu Scroll Normal / Loop	Menu Scroll situé dans le menu OTHERS a été déplacé ici.
	User Menu Only On / Off	Sélectionnez pour afficher uniquement le menu USER (On) ou la liste des menus (Off).
	User Menu with Lock On / Off	Sélectionnez On ou Off pour verrouiller l'affichage des menus et afficher uniquement le menu USER. On : verrouillez l'affichage des menus en saisissant un mot de passe (seul le menu USER est affiché). Off : déverrouillez l'affichage des menus en saisissant un mot de passe (la liste des menus normaux est affichée).
Remarque Cette option n'est pas affichée en cours d'utilisation normale. Pour utiliser l'affichage du menu, reportez-vous à la section « Verrouillage et déverrouillage des menus » (page 38).		

Prise en charge des cartes SDXC

Les cartes SDXC sont prises en charge. (exFAT uniquement)
Avec l'adaptateur de support MEAD-SD02 en option, vous pouvez insérer une carte SDXC dans la fente pour carte mémoire SxS afin de l'utiliser pour l'enregistrement et la lecture.
Pour plus de détails sur l'utilisation de l'adaptateur de support MEAD-SD02, reportez-vous au mode d'emploi fourni avec celui-ci.

Cartes SDXC reconnues

Carte SDXC de classe 10

- Remarques
- Quand vous utilisez une carte SDXC avec ce caméscope, elle doit être formatée à l'aide de la fonction de formatage de ce caméscope.
 - Une carte SDXC ne permet pas nécessairement la lecture accélérée.
 - Les cartes SDXC peuvent seulement être utilisées en exFAT.
 - Il est possible que l'enregistrement au format XAVC-I ou l'enregistrement en ralenti et accéléré ne se déroule pas correctement, selon la carte mémoire SDXC utilisée. Il est recommandé d'utiliser une carte mémoire SxS.
 - N'utilisez pas une carte SDXC simultanément d'autres types de cartes mémoire. Si vous utilisez simultanément d'autres types de cartes mémoire, il n'est pas possible de basculer vers un autre support quand il n'y a plus d'espace libre sur le support en cours d'utilisation.
 - Selon le type d'appareil utilisé, il est possible qu'une carte SDXC enregistrée avec un caméscope des gammes PMW et PXW ne puisse pas être utilisée pour l'enregistrement et la lecture sur votre appareil. Pour plus de détails, contactez votre revendeur Sony ou un représentant du service à la clientèle Sony.
 - Il n'a pas été vérifié que toutes les cartes mémoire fonctionnent avec ce caméscope. Pour connaître les cartes mémoire compatibles, contactez votre revendeur.

Affichage d'état de Wi-Fi Remote

L'affichage des réglages Wi-Fi>Wi-Fi Remote du menu OTHERS a été ajouté à l'écran d'état du bouton/ de la télécommande.

Menu Wi-Fi

En cas de connexion par l'intermédiaire de l'adaptateur sans fil CBK-WA100, vous pouvez régler Wi-Fi>Wi-Fi et Wi-Fi>Wi-Fi Remote dans le menu OTHERS.

Fonctions supplémentaires de la V1.4

Enregistrement MPEG2 en mode exFAT

Le format d'enregistrement MPEG2 est désormais disponible en mode exFAT en plus du mode UDF. Les formats MPEG2 disponibles en mode exFAT sont indiqués ci-dessous :

- HD422
- HD420 (HQ)
- DVCAM

Changements dans le menu

Les changements sous « System » dans le menu OTHERS sont indiqués ci-dessous :

- L'option de menu XAVC/MPEG2 a été ajoutée
- Les valeurs de réglage de « Format » ont été ajoutées

Pour plus de détails, consultez le tableau suivant. (Les valeurs par défaut sont en gras.)

Options de réglage	Valeurs de réglage	Contenu
XAVC/MPEG2	XAVC MPEG2	Commutez le format entre XAVC/MPEG2 en mode exFAT/HD.
Format	HD422 50/1080/59.94i HQ 1920x1080/59.94i HQ 1440x1080/59.94i HD422 50/1080/29.97P HQ 1920x1080/29.97P HQ 1440x1080/29.97P HD422 50/1080/23.98P HQ 1920x1080/23.98P HQ 1440x1080/23.98P HD422 50/720/59.94P HQ 1280x720/59.94P HD422 50/720/29.97P HD422 50/720/23.98P HQ 1280x720/23.98P	Valeurs de réglage disponibles pour NTSC Area/exFAT/HD/MPEG2

Options de réglage	Valeurs de réglage	Contenu
	HD422 50/1080/50i HQ 1920x1080/50i HQ 1440x1080/50i HD422 50/1080/25P HQ 1920x1080/25P HQ 1440x1080/25P HD422 50/720/50P HQ 1280x720/50P HD422 50/720/25P	Valeurs de réglage disponibles pour PAL Area/exFAT/HD/MPEG2
	DVCAM59.94i SQ DVCAM59.94i EC DVCAM29.97P SQ DVCAM29.97P EC	Valeurs de réglage disponibles pour NTSC Area/exFAT/SD
	DVCAM50i SQ DVCAM50i EC DVCAM25P SQ DVCAM25P EC	Valeurs de réglage disponibles pour PAL Area/exFAT/SD

À propos de la fonction Enregistrement ralenti et accéléré

La fonction Enregistrement ralenti et accéléré est disponible même en mode exFAT/HD. La fréquence d'images d'enregistrement disponible est la même que celle du mode UDF.

À propos des signaux d'entrée/de sortie pour les connecteurs sélectionnés avec SDI/HDMI/i.LINK I/O Select

Les signaux d'entrée/de sortie pour les connecteurs disponibles avec SDI/HDMI/i.LINK I/O Select dans les modes exFAT/HD et exFAT/SD sont respectivement les mêmes que ceux des modes UDF/HD et UDF/SD.

Autres

Remarques sur l'affichage de l'espace restant sur une carte mémoire

L'espace restant sur une carte mémoire, tel qu'il est affiché dans l'écran du viseur, ne constitue qu'une estimation approximative.

Le temps restant réellement peut être inférieur à celui affiché, puisque la carte mémoire ne contient pas seulement des données vidéo, mais aussi une zone de gestion, par exemple.

Lesen Sie die folgenden Anweisungen zusammen mit der auf der mitgelieferten CD-ROM gespeicherten Bedienungsanleitung (im PDF-Format).

Zusätzliche Funktionen von V1.6

Hinzufügen von Menüs zum Speichern von Dateien

Sie können die Einstellungen der Einstellungsmenüs auf einer SxS-Speicherkarte oder einem USB-Flash-Laufwerk (im UDF- oder exFAT-Modus) speichern.

Mithilfe einer gespeicherten Datei können die korrekten Einstellungen unverzüglich wiederhergestellt werden.

Hinweis

Die Werte für „Clock Set“ und „Hours Meter“ im Menü OTHERS werden nicht gespeichert.

Setup-Datei

Alle Menüeinstellungen (einschließlich Bildprofilen) werden gespeichert.

Bis zu 64 Dateien können auf einer SxS-Speicherkarte oder einem USB-Flash-Laufwerk (im UDF- oder exFAT-Modus) gespeichert werden.

Die Setup-Dateien werden mit dem Dateinamen „SETUP.SUF“, „SETUP002.SUF“ - „SETUP064.SUF“ gespeichert.

Benutzerdatei

Die benutzerdefinierten Einstelloptionen des Menüs USER und die Einstelldaten werden gespeichert.

Bis zu 64 Dateien können auf einer SxS-Speicherkarte oder einem USB-Flash-Laufwerk (im UDF- oder exFAT-Modus) gespeichert werden.

Durch Abrufen einer Datei können Sie das Menü USER je nach den benutzerdefinierten Setup-Einstellungen einstellen.

Die Benutzerdateien werden mit dem Dateinamen „001.USER“ - „064USER“ gespeichert.

Bildprofil

Die Einstellwerte des Bildprofils, die für die Bildszene eingestellt sind, werden gespeichert.

Bis zu 5 Dateien können auf einem internen Speicher des Camcorders gespeichert werden. Bis zu 64 Dateien können auf einer SxS-Speicherkarte oder einem USB-Flash-Laufwerk (im UDF- oder exFAT-Modus) gespeichert werden.

Die Bildprofile werden mit dem Dateinamen „PPDATA.SUF“, „PPDATA002.SUF“ - „PPDATA064.SUF“ gespeichert.

Speichern einer Datei

1 Bereiten Sie den Datenträger für die Dateien vor.

Bei Verwendung einer SxS-Speicherkarte

Setzen Sie eine SxS-Speicherkarte in einen Karteneinschub ein.

Prüfen Sie, ob das Symbol für die entsprechende Speicherkarte im Bildschirm angezeigt wird. Wenn eine Speicherkarte in einem anderen Einschub ausgewählt ist, schalten Sie um, indem Sie die Taste SLOT SELECT drücken.

Bei Verwendung eines USB-Flash-Laufwerks

Wenn Sie ein USB-Flash-Laufwerk (im UDF- oder exFAT-Modus) verwenden, schließen Sie das formatierte USB-Flash-Laufwerk an den Anschluss für externe Geräte an.

2 Wählen Sie bei den Setup-Dateien „Camera Data“ im Menü OTHERS.

Wählen Sie bei einer Benutzerdatei „User Data“ im Menü OTHERS.

Wählen Sie bei einem Bildprofil „PP Data“ im Menü PICTURE PROFILE.

So benennen Sie die gespeicherte Datei

Geben Sie einen Namen für die gespeicherte Datei ein, bevor Sie mit Schritt 3 fortfahren.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Benennen der gespeicherten Datei“.

3 Wählen Sie bei den Setup-Dateien „Store(SxS)“ oder „Store(USB)“ unter „Camera Data“.

Wählen Sie bei einer Benutzerdatei „Store(SxS)“ oder „Store(USB)“ unter „User Data“.

Wählen Sie bei einem Bildprofil „Store(SxS)“ oder „Store(USB)“ unter „PP Data“.

Ein Listenfeld mit Dateien erscheint.

„No File“ wird bei Dateinummern angezeigt, unter denen keine Datei gespeichert ist.

Datum, Uhrzeit und Dateiname werden bei Dateinummern angezeigt, unter denen eine Datei gespeichert ist.

4 Wählen Sie die Dateinummer, unter der die Datei gespeichert werden soll, und drücken Sie dann die Taste SEL/SET oder den Jog-Dial.

Eine Warten-Meldung wird angezeigt.

Hinweis

Wenn auf der Speicherkarte von Schritt 3 bereits eine Setup-Datei gespeichert ist, wird vor dem Überschreiben der Datei eine Abfrage angezeigt.

5 Um das Speichern auszuführen, wählen Sie „Execute“ und drücken dann die Taste SEL/SET oder den Jog-Dial.

Um das Speichern abzubrechen, wählen Sie „Cancel“ und drücken dann die Taste SEL/SET oder den Jog-Dial.

Wenn Sie das Speichern ausführen, wird während des Schreibvorgangs eine Verlaufsmeldung angezeigt. Nach Abschluss des Schreibvorgangs wird eine Bestätigungsmeldung angezeigt.

Hinweis

Wenn kein beschreibbarer Datenträger eingesetzt oder auf dem Datenträger nicht genug Platz vorhanden ist, wird eine Fehlermeldung angezeigt.

Benennen der gespeicherten Datei

Zum Identifizieren einer Datei ist es nützlich, die gespeicherte Datei zu benennen, bevor die Einstelldaten als Datei gespeichert werden.

Zum Eingeben eines Namens können die folgenden Zeichen verwendet werden.

Ziffern, Buchstaben, Sonderzeichen (! # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ~)

Hinweis

Zum Benennen eines Bildprofils können Ziffern, Buchstaben, - (Bindestrich), _ (Unterstrich) und Leerzeichen verwendet werden.

1 Wählen Sie „File ID“ unter „Camera Data“ im Menü OTHERS.

Wählen Sie bei einer Benutzerdatei „File ID“ unter „User Data“ im Menü OTHERS.

Wählen Sie bei einem Bildprofil „Profile Name“ im Menü PICTURE PROFILE.

- 2 Wählen Sie mit dem Jog-Dial oder den Tasten Auf/Ab das Zeichen aus und drücken Sie dann die Taste SEL/SET oder den Jog-Dial.**
- 3 Gehen Sie wie in Schritt 2 erläutert vor.**
- 4 Wenn Sie alle Zeichen eingegeben haben, stellen Sie den Cursor mit der Taste SEL/SET oder dem Jog-Dial auf SEL und drücken Sie dann die Taste SEL/SET oder den Jog-Dial.**
Der eingegebene Name wird angezeigt. Wenn Sie das Speichern für die Setup-Datei ausführen, werden die Daten mit dem eingegebenen Namen gespeichert.

Abrufen einer Datei

Hinweis

Wenn eine gespeicherte Datei von einer SxS-Speicherkarte oder einem USB-Flash-Laufwerk (im UDF- oder exFAT-Modus) abgerufen wird, werden die Setup-Daten im internen Speicher des Camcorders überschrieben.

- 1 Bereiten Sie den Datenträger für die Dateien vor.**

Bei Verwendung einer SxS-Speicherkarte

Setzen Sie die SxS-Speicherkarte mit der gespeicherten Datei in einen Karteneinschub ein. Prüfen Sie, ob das Symbol für die entsprechende Speicherkarte im Bildschirm angezeigt wird. Wenn eine Speicherkarte in einem anderen Einschub ausgewählt ist, schalten Sie um, indem Sie die Taste SLOT SELECT drücken.

Bei Verwendung eines USB-Flash-Laufwerks

Schließen Sie das USB-Flash-Laufwerk mit der gespeicherten Datei an den Anschluss für externe Geräte an.

- 2 Wählen Sie bei den Setup-Dateien „Camera Data“ im Menü OTHERS.**

Wählen Sie bei einer Benutzerdatei „User Data“ im Menü OTHERS.

Wählen Sie bei einem Bildprofil „PP Data“ im Menü PICTURE PROFILE.

- 3 Wählen Sie bei den Setup-Dateien „Recall(SxS)“ oder „Recall(USB)“ unter „Camera Data“.**

Wählen Sie bei einer Benutzerdatei „Recall(SxS)“ oder „Recall(USB)“ unter „User Data“.

Wählen Sie bei einem Bildprofil „Recall(SxS)“ oder „Recall(USB)“ unter „PP Data“.

Ein Listenfeld mit Dateien erscheint.

„No File“ wird bei Dateinummern angezeigt, unter denen keine Datei gespeichert ist.

Datum, Uhrzeit und Dateiname werden bei Dateinummern angezeigt, unter denen eine Datei gespeichert ist.

- 4 Wählen Sie die Nummer der Datei aus, die abgerufen werden soll, und drücken Sie dann die Taste SEL/SET oder den Jog-Dial.**

Eine Warten-Meldung wird angezeigt.

Hinweis

Wenn die ausgewählte Datei eine Einstellungsänderung beinhaltet, bei der der Camcorder neu gestartet werden muss, wird eine Meldung angezeigt, mit der Sie nach der Erlaubnis für den Neustart gefragt werden.

- 5 Um das Abrufen auszuführen, wählen Sie „Execute“ und drücken dann die Taste SEL/SET oder den Jog-Dial.**
Um das Abrufen abzuberechnen, wählen Sie „Cancel“ und drücken dann die Taste SEL/SET oder den Jog-Dial.

Wenn Sie das Abrufen ausführen, wird während des Abrufvorgangs eine Verlaufsmeldung angezeigt. Wenn das Abrufen abgeschlossen ist, wird eine entsprechende Meldung angezeigt und die Einstellung des Camcorders wird gemäß der abgerufenen Einstellung geändert.

Hinweis

Wenn kein lesbarer Datenträger eingesetzt oder auf dem Datenträger keine entsprechende Datei vorhanden ist, wird eine Fehlermeldung angezeigt.

Rücksetzung auf Standardwerte

Die mit den verschiedenen Menüs und Tastenfunktionen vorgenommenen Camcorder-Einstellungen können auf ihre Standardwerte (Werkseinstellungen) zurückgesetzt werden, indem Sie im Menü OTHERS die Funktion „All Reset“ ausführen.

Hinzufügen und Ändern der Menüoptionen zum Speichern von Dateien im Einstellungsmenü

Änderungen im Menü

Bei „Camera Data“ im Menü OTHERS und im Menü PICTURE PROFILE gibt es folgende Änderung. „User Data“ wurde zum Menü OTHERS hinzugefügt. Zudem können Sie im Menü USER Menüoptionen zum Speichern/Abrufen von Daten unter „Camera Data“/„User Data“/„PP Data“ registrieren.

OTHERS		
Menüoptionen	Optionen und Einstellwerte	Inhalt
Camera Data Speichern/Abrufen der Menüeinstellungen auf einer SxS- Speicherkarte oder einem USB-Flash- Laufwerk	Display Mode Date&Time / Model Name	Wählen Sie das beim Speichern oder Laden angezeigte Element auf dem Listenfeld aus.
	Store(SxS) Execute / Cancel	Bei Auswahl von „Execute“ zum Speichern der Einstellwerte auf einer SxS-Speicherkarte wird die Setup-Datei in einem der folgenden Verzeichnisse gespeichert (bis zu 64 Dateien können gespeichert werden). Für UDF: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ Für exFAT: /XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ Für FAT: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PMW_300/
	Recall(SxS) Execute / Cancel	Wählen Sie „Execute“, um die Einstellungen von einer SxS-Speicherkarte abzurufen.
	Store(USB) Execute / Cancel	Bei Auswahl von „Execute“ zum Speichern der Einstellwerte auf einem USB-Flash-Laufwerk wird die Setup-Datei im folgenden Verzeichnis gespeichert (bis zu 64 Dateien können gespeichert werden). /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	Recall(USB) Execute / Cancel	Wählen Sie „Execute“, um die Einstellungen von einem USB-Flash-Laufwerk abzurufen.
	File ID	Zum Benennen einer Datei mit bis zu 16 Zeichen.

OTHERS		
Menüoptionen	Optionen und Einstellwerte	Inhalt
User Data Speichern/Abrufen der Einstellungen des Menüs USER auf einer SxS-Speicherkarte oder einem USB-Flash-Laufwerk	Store(SxS) Execute / Cancel	Bei Auswahl von „Execute“ zum Speichern der Einstellwerte auf einer SxS-Speicherkarte wird die Benutzerdatei in einem der folgenden Verzeichnisse gespeichert (bis zu 64 Dateien können gespeichert werden). Für UDF: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ Für exFAT: /XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ Für FAT: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PMW_300/
	Recall(SxS) Execute / Cancel	Wählen Sie „Execute“, um die Benutzerdatei von einer SxS-Speicherkarte abzurufen.
	Store(USB) Execute / Cancel	Bei Auswahl von „Execute“ zum Speichern der Einstellwerte auf einem USB-Flash-Laufwerk wird die Benutzerdatei im folgenden Verzeichnis gespeichert (bis zu 64 Dateien können gespeichert werden). /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	Recall(USB) Execute / Cancel	Wählen Sie „Execute“, um die Benutzerdatei von einem USB-Flash-Laufwerk abzurufen.
	File ID	Zum Benennen einer Datei mit bis zu 16 Zeichen.
	Load Customize Data On / Off	Wählen Sie, ob beim Abrufen der Benutzerdatei die Menükonfiguration und Einstellwerte geladen werden sollen (On) oder lediglich die Einstellwerte geladen werden sollen (Off).

PICTURE PROFILE SET		
Menüpunkte	Optionen und Einstellwerte	Inhalt
PP Data Bildprofil schreiben/laden	Display Mode Date&Time / Model Name	Wählen Sie das angezeigte Element aus dem Listefeld, das beim Speichern oder Laden erscheint.
	Store(SxS) Execute / Cancel	Wählen Sie „Execute“ zum Abspeichern eines Bildprofils auf einer SxS-Speicherkarte (bis zu 64 Dateien können gespeichert werden).
	Recall(SxS) Execute / Cancel	Wählen Sie „Execute“ zum Laden eines Bildprofils von einer SxS-Speicherkarte.
	Store(USB) Execute / Cancel	Wählen Sie „Execute“ zum Abspeichern eines Bildprofils auf einem USB-Flash-Laufwerk (bis zu 64 Dateien können gespeichert werden).
	Recall(USB) Execute / Cancel	Wählen Sie „Execute“ zum Laden eines Bildprofils von einem USB-Flash-Laufwerk.

Die Einstellung einer zugewiesenen Funktion ist deaktiviert, solange das Menü gesperrt ist

Wenn das Menü gesperrt ist und die Menüoptionen der unten aufgelisteten Einstellungsmenüs nicht im Menü USER registriert sind, kann die Funktion der Menüoption nicht einer frei belegbaren Funktionstaste zugewiesen werden.

Menüoptionen der Einstellungsmenüs			Den frei belegbaren Funktionstasten zuweisbare Menüoptionen
CAMERA SET	Handle Zoom		Handle Zoom
	Clip Cont. Rec	Setting	Clip Continuous Rec
	P.Cache Rec	Setting	Picture Cache
	TLCS	Mode	Spotlight
			Backlight
LCD/VF SET	Zebra	Setting	Zebra
	Peaking	Setting	Peaking
	Marker	Setting	Marker
	EVF	Mode	VF Mode
	Display On/Off	Brightness Display	BRT Disp
		Histogram Display	Histogram
		Lens Info	Lens Info

Wenn die oben aufgelisteten Funktionen frei belegbaren Funktionstasten zugewiesen sind und das Menü gesperrt wird, werden die entsprechenden Einstellungen automatisch deaktiviert.

Hinweis

Wenn „SEL“ im Menü PICTURE PROFILE nicht im Menü USER registriert ist und das Menü gesperrt wird, wird die Auswahl über das Direktmenü deaktiviert.

Funktion zum Umschalten der Farbtemperatur für den Weißabgleich

Wenn Sie eins der registrierten Bildprofile (PP1 bis PP6, 6 Typen) abrufen, können Sie die voreingestellte Farbtemperatur anhand von 4 Voreinstellungen wechseln, die unter „Preset White“ in „White“ eingestellt sind, indem Sie die frei belegbare Funktionstaste drücken, der „WB Preset“ zugewiesen ist.

So stellen Sie die voreingestellte Farbtemperatur ein

- 1 Drücken Sie die Taste PICTURE PROFILE.**
Das Menü PICTURE PROFILE wird angezeigt.
- 2 Wählen Sie „SEL“ und wählen Sie das Bildprofil aus (PP1 bis PP6).**
- 3 Wählen Sie „SET“ und wählen Sie die Voreinstellnummer 1, 2, 3 oder 4 unter „Preset White Sel“ in „White“ aus.**

4 Stellen Sie die Farbtemperatur unter „Preset White“ in „White“ ein.

Die Farbtemperatur unter der Nummer 1, 2, 3 oder 4, die unter „Preset White Sel“ ausgewählt wird, erscheint in „Preset White“.

Der Standardwert für die Farbtemperatur unter der Nummer 1, 2, 3 oder 4, die unter „Preset White Sel“ ausgewählt wird, lautet folgendermaßen.

- 1 wird unter „Preset White Sel“ ausgewählt: 3200K
- 2 wird unter „Preset White Sel“ ausgewählt: 4300K
- 3 wird unter „Preset White Sel“ ausgewählt: 5600K
- 4 wird unter „Preset White Sel“ ausgewählt: 6300K

Die Farbtemperatur kann in Schritten von 100K eingestellt werden.

5 Drücken Sie die Taste SEL/SET oder den Jog-Dial, nachdem Sie die Farbtemperatur eingestellt haben.

6 Gehen Sie wie in Schritt 3 bis 5 erläutert vor und stellen Sie die Farbtemperatur für eine andere Voreinstellnummer ein.

So nutzen Sie die frei belegbare Funktionstaste

1 Weisen Sie „WB Preset“ einer der frei belegbaren Funktionstasten 1 bis 5 zu.

2 Wählen Sie den Preset-Modus mit dem Schalter WHITE BAL oder über das Direktmenü aus.

Hinweis

Wenn „Network Remote“ auf „On“ gesetzt wird, wird als Einstellmodus für den Weißabgleich der Speicher-A-Modus eingestellt und Sie können den Preset-Modus nicht einstellen. Um den Preset-Modus einzustellen, setzen Sie „Network Remote“ auf „Off“.

3 Drücken Sie die frei belegbare Funktionstaste, der „WB Preset“ zugewiesen ist.

Die 4 wie unter „So stellen Sie die voreingestellte Farbtemperatur ein“ erläutert voreingestellten Farbtemperaturen wechseln mit jedem Tastendruck auf die frei belegbare Taste.

Hinweis

Die voreingestellte Farbtemperatur kann in den folgenden Situationen nicht gewechselt werden.

- Wenn als Einstellmodus für den Weißabgleich der ATW-Modus, der Speicher-A-Modus, der Speicher-B-Modus oder der Speicher-C-Modus eingestellt ist
- Wenn „SEL“ unter „PICTURE PROFILE“ auf „Off“ gesetzt ist
- Während der Wiedergabe, Rec Review, Skizzenbilder-Anzeige oder Farbbalkenanzeige
- Während ABB, AWB, Multi Matrix > Color Detection, Color Correction > Area Indication, Skin Tone Detail > Area Detection, APR, Auflagemaßautomatik, AWS oder ABS ausgeführt wird

Zusätzliche Funktionen von V1.5

Menü USER

Sie können beliebige Menüoptionen aus den Menüs CAMERA SET, AUDIO SET, VIDEO SET, VF SET, TC/UB SET, LENS File, OTHERS und PICTURE PROFILE im Menü USER registrieren.

Registrieren Sie die Optionen über das Menü USER MENU CUSTOMIZE.

Das Menü USER enthält im werkseitigen Standardstatus die folgenden Optionen.

- Interval Rec
- Frame Rec

- Clip Cont.Rec
- P.Cache Rec
- S&Q Motion
- Video
- Assign Button
- Clip
- Format Media
- Menu Settings

Menü USER MENU CUSTOMIZE

Sie können das Menü USER bearbeiten und Optionen hinzufügen, löschen und neu anordnen, so dass Sie das Menü USER optimal nutzen können.

Sie können in den einzelnen Menüs beliebige Optionen auswählen und zum Menü USER hinzufügen. Bis zu 20 Optionen können im Menü USER registriert werden. Werkseitig sind im Menü USER 10 Optionen registriert.

Das Menü USER MENU CUSTOMIZE enthält folgende Optionen:

Option	Einstelloption	Einstellung	Beschreibung
Registrierte Option oder leer (keine Option)	Ins Item ↑		Fügt über der ausgewählten Option eine Option ein.
	Ins SubItem ↑		Fügt über der ausgewählten Einstelloption eine Einstelloption ein.
	Ins Item ↓		Fügt unter der ausgewählten Option eine Option ein.
	Ins SubItem ↓		Fügt unter der ausgewählten Einstelloption eine Einstelloption ein.
	Edit Item	Del Item Ins SubItem Del SubItem	Bearbeitet eine registrierte Option oder Einstelloption. Del Item: Löscht die Option Ins SubItem: Fügt die Einstelloption ein Del SubItem: Löscht die Einstelloption
Customize Reset		Execute/Cancel	Stellt den werkseitigen Standardstatus des Menüs USER wieder her (wählen Sie Execute).

Hinweis

Eine Option oder Einstelloption kann nicht zweimal registriert werden. Außerdem kann der Name der hinzugefügten Option oder Einstelloption nicht geändert werden.

So stellen Sie den werkseitigen Standardstatus des Menüs USER wieder her

Wählen Sie „Execute“ unter „Customize Reset“ im Menü USER MENU CUSTOMIZE und drücken Sie den Jog-Dial oder die Taste SEL/SET.

Hinzufügen einer Option und aller dazugehörigen Einstelloptionen

1 Rufen Sie das Menü USER MENU CUSTOMIZE auf.

Die zurzeit registrierten Menüoptionen werden angezeigt.

2 Wählen Sie die Option an der Stelle, an der Sie eine Option einfügen wollen, und drücken Sie dann den Jog-Dial oder die Taste SEL/SET.

- 3 Wählen Sie „Ins Item ↑“ oder „Ins Item ↓“ und drücken Sie dann den Jog-Dial oder die Taste SEL/SET.**

Ins Item ↑ : Fügt über der ausgewählten Option eine Option ein.

Ins Item ↓ : Fügt unter der ausgewählten Option eine Option ein.

Eine Liste der Optionen, die hinzugefügt werden können, wird angezeigt.

- 4 Wählen Sie die hinzuzufügende Option aus, wählen Sie „Execute“ und drücken Sie den Jog-Dial oder die Taste SEL/SET.**

Die ausgewählte Option und alle dazugehörigen Einstelloptionen werden an der in Schritt 2 und 3 festgelegten Stelle eingefügt.

Hinzufügen einer Option und einer ausgewählten Einstelloption

- 1 Rufen Sie das Menü USER MENU CUSTOMIZE auf.**

Die zurzeit registrierten Menüoptionen werden angezeigt.

- 2 Wählen Sie die Option an der Stelle, an der Sie eine Option einfügen wollen, und drücken Sie dann den Jog-Dial oder die Taste SEL/SET.**

- 3 Wählen Sie „Ins SubItem ↑“ oder „Ins SubItem ↓“ und drücken Sie dann den Jog-Dial oder die Taste SEL/SET.**

Ins SubItem ↑ : Fügt über der ausgewählten Option eine Einstelloption ein.

Ins SubItem ↓ : Fügt unter der ausgewählten Option eine Einstelloption ein.

Eine Liste der Optionen, die hinzugefügt werden können, wird angezeigt.

- 4 Wählen Sie die hinzuzufügende Option aus und drücken Sie den Jog-Dial oder die Taste SEL/SET.**

Eine Liste der Einstelloptionen, die hinzugefügt werden können, wird angezeigt.

- 5 Wählen Sie die hinzuzufügende Einstelloption aus, wählen Sie „Execute“ und drücken Sie den Jog-Dial oder die Taste SEL/SET.**

Die ausgewählte Option und Einstelloption werden an der in Schritt 2 und 3 festgelegten Stelle eingefügt.

Hinzufügen einer Einstelloption zu einer vorhandenen Option

Hinweis

Eine Einstelloption muss immer unter der Option eingefügt werden, die auch im Ausgangsmenü die übergeordnete Option ist. Sie lässt sich nicht unter einer Option einfügen, die nicht die übergeordnete Option ist.

- 1 Rufen Sie das Menü USER MENU CUSTOMIZE auf.**

Die zurzeit registrierten Menüoptionen werden angezeigt.

- 2 Wählen Sie die Option aus, zu der Sie eine Einstelloption hinzufügen wollen, und drücken Sie den Jog-Dial oder die Taste SEL/SET.**

- 3 Setzen Sie „Edit Item“ auf „Ins SubItem“.**

Eine Liste der zurzeit für die ausgewählte Option registrierten Einstelloptionen wird angezeigt.

- 4 Wählen Sie die Einstelloption an der Stelle, an der Sie eine Einstelloption einfügen wollen, wählen Sie „Ins SubItem ↑“ oder „Ins SubItem ↓“ und drücken Sie dann den Jog-Dial oder die Taste SEL/SET.

Ins SubItem ↑ : Fügt über der ausgewählten Einstelloption eine Einstelloption ein.

Ins SubItem ↓ : Fügt unter der ausgewählten Einstelloption eine Einstelloption ein.

Eine Liste der Einstelloptionen, die hinzugefügt werden können, wird angezeigt.

- 5 Wählen Sie die hinzuzufügende Einstelloption aus, wählen Sie „Execute“ und drücken Sie den Jog-Dial oder die Taste SEL/SET.

Die ausgewählte Einstelloption wird an der in Schritt 4 festgelegten Stelle eingefügt.

Löschen einer Option

- 1 Rufen Sie das Menü USER MENU CUSTOMIZE auf.

Die zurzeit registrierten Menüoptionen werden angezeigt.

- 2 Wählen Sie die zu löschende Option aus und drücken Sie den Jog-Dial oder die Taste SEL/SET.

- 3 Setzen Sie „Edit Item“ auf „Del Item“.

Die ausgewählte Option wird gelöscht.

Löschen einer Einstelloption

Hinweis

„User Menu Only“ unter „Menu Settings“ ist werkseitig registriert und kann nicht gelöscht werden.

- 1 Rufen Sie das Menü USER MENU CUSTOMIZE auf.

Die zurzeit registrierten Menüoptionen werden angezeigt.

- 2 Wählen Sie die übergeordnete Option der zu löschenden Einstelloption aus und drücken Sie den Jog-Dial oder die Taste SEL/SET.

- 3 Setzen Sie „Edit Item“ auf „Del SubItem“.

Eine Liste der Einstelloptionen, die gelöscht werden können, wird angezeigt.

- 4 Wählen Sie die zu löschende Einstelloption aus und drücken Sie den Jog-Dial oder die Taste SEL/SET.

Die ausgewählte Einstelloption wird gelöscht.

Sperren und Entsperren der Menüs

Sie können die Anzeige des Einstellungsmenüs sperren, so dass nur das Menü USER angezeigt wird.

Sperren des Menüs

- 1 Halten Sie den Jog-Dial gedrückt und drücken Sie die Taste MENU.

- 2 Wählen Sie „User Menu with Lock“ unter „Menu Settings“ im Menü OTHERS.

Hinweise

- „User Menu Only“ unter „Menu Settings“ wechselt zu „User Menu with Lock“, wenn Sie den Jog-Dial gedrückt halten und die Taste MENU drücken.
- „User Menu with Lock“ wird unter „Menu Settings“ nicht angezeigt, wenn das Menü durch Drücken der Taste MENU aufgerufen wird.

3 Wählen Sie „On“ und drücken Sie die Taste SEL/SET oder den Jog-Dial.

Auf dem Sucherbildschirm wird der Passwordeingabebildschirm angezeigt.

4 Geben Sie das Passwort ein.

Geben Sie eine vierstellige Zahl zwischen 0000 und 9999 als Passwort ein. Die Standardeinstellung ist 0000.

Wenn Sie eine Zahl eingeben und die Taste SEL/SET oder den Jog-Dial drücken, wechselt der Cursor zur nächsten Ziffer.

Wenn alle Ziffern des Passworts eingegeben wurden, wechselt der Cursor zu SET.

5 Drücken Sie die Taste SEL/SET oder den Jog-Dial.

Die Eingabe wird bestätigt.

Eine Bestätigungsmeldung wird angezeigt und der Menübildschirm wird nur mit dem Menü USER angezeigt.

Entsperren des Menüs

1 Halten Sie den Jog-Dial gedrückt und drücken Sie die Taste MENU.

2 Wählen Sie „User Menu with Lock“ unter „Menu Settings“ im Menü USER.

Hinweise

- „User Menu Only“ unter „Menu Settings“ wechselt zu „User Menu with Lock“, wenn Sie den Jog-Dial gedrückt halten und die Taste MENU drücken.
- „User Menu with Lock“ wird unter „Menu Settings“ nicht angezeigt, wenn das Menü durch Drücken der Taste MENU aufgerufen wird.

3 Wählen Sie „Off“ und drücken Sie die Taste SEL/SET oder den Jog-Dial.

Auf dem Sucherbildschirm wird der Passwordeingabebildschirm angezeigt.

4 Geben Sie das beim Sperren des Menüs gespeicherte Passwort auf dem Passwordeingabebildschirm ein.

Geben Sie eine vierstellige Zahl zwischen 0000 und 9999 als Passwort ein.

Wenn Sie eine Zahl eingeben und die Taste SEL/SET oder den Jog-Dial drücken, wechselt der Cursor zur nächsten Ziffer.

Wenn alle Ziffern des Passworts eingegeben wurden, wechselt der Cursor zu SET.

5 Drücken Sie die Taste SEL/SET oder den Jog-Dial.

Die Eingabe wird bestätigt.

Wenn das korrekte Passwort eingegeben wird, erscheint eine Meldung zur Aufhebung der Sperre und der Bildschirm mit allen Menüs wird angezeigt.

Hinweise

- Wenn das falsche Passwort eingegeben wird, lässt sich die Sperre nicht aufheben.
- Es empfiehlt sich, das Passwort zur späteren Verwendung zu notieren. Wenn Sie das Passwort vergessen, wenden Sie sich an einen Sony-Kundendienstmitarbeiter.

Änderungen im Menü

Menu Settings wurde entsprechend dem zusätzlichen Menü USER zum Menü OTHERS hinzugefügt. Folgende Optionen finden sich unter Menu Settings:

OTHERS		
Menüoptionen	Optionen und Einstellwerte	Inhalt
Menu Settings Einstellen der Menüfunktion	Direct Menu All / Part / Off	Direct Menu unter dem Menü OTHERS wurde hierher verschoben.
	Menu Scroll Normal / Loop	Menu Scroll unter dem Menü OTHERS wurde hierher verschoben.
	User Menu Only On / Off	Bei dieser Einstellung wird nur das Menü USER (On) bzw. die Menüliste (Off) angezeigt.
	User Menu with Lock On / Off	Damit können Sie die Menüanzeige sperren und nur das Menü USER anzeigen. On: Sperren Sie die Menüanzeige durch Eingeben eines Passworts (nur das Menü USER wird angezeigt). Off: Heben Sie die Sperre der Menüanzeige durch Eingeben eines Passworts auf (die normale Menüliste wird angezeigt).
Hinweis Die Option wird bei normalem Betrieb nicht angezeigt. Informationen zum Bedienen des Menüs finden Sie unter „Sperren und Entsperren der Menüs“ (Seite 52).		

SDXC-Kartenunterstützung

SDXC-Karten werden unterstützt. (nur exFAT)
Sie können den optionalen Medienadapter MEAD-SD02 verwenden, um eine SDXC-Karte in den Einschub für SxS-Speicherkarten einzusetzen und zur Aufzeichnung und Wiedergabe zu verwenden.
Einzelheiten zum Verwenden des Medienadapters MEAD-SD02 finden Sie in der mit dem jeweiligen Adapter mitgelieferten Bedienungsanleitung.

Geeignete SDXC-Karten

SDXC-Karte der Klasse 10

- Hinweise
- Eine SDXC-Karte, die in diesem Camcorder verwendet werden soll, muss mit der Formatierungsfunktion des Camcorders formatiert werden.
 - Mit einer SDXC-Karte ist eine einwandfreie Hochgeschwindigkeitswiedergabe eventuell nicht möglich.
 - SDXC-Karten können nur für exFAT verwendet werden.
 - Die Aufzeichnung im XAVC-I-Format oder mit Zeitlupe und Zeitraffer wird je nach verwendeter SDXC-Karte unter Umständen nicht korrekt ausgeführt. Es empfiehlt sich, eine SxS-Speicherkarte zu verwenden.
 - Wenn Sie eine SDXC-Karte verwenden, verwenden Sie nicht gleichzeitig andere Speicherkartentypen. Wenn Sie gleichzeitig andere Medientypen verwenden und beim Aufzeichnen auf der Karte kein Platz mehr frei ist, können Sie nicht zu einem anderen Medium umschalten.
 - Je nach dem verwendeten Gerätetyp kann eine SDXC-Karte, auf die mit einem anderen Camcorder der PMW- und PXW-Serie aufgezeichnet wurde, nicht für die Aufnahme und Wiedergabe mit diesem Gerät verwendet werden. Einzelheiten dazu erhalten Sie bei Ihrem Sony-Händler oder einem Sony-Kundendienstmitarbeiter.
 - Nicht alle Speicherkarten wurden daraufhin geprüft, ob sie in diesem Camcorder funktionieren. Wenden Sie sich für Informationen über kompatible Speicherkarten an Ihren Händler.

Statusanzeige von Wi-Fi Remote

Wi-Fi>Wi-Fi Remote-Einstellanzeige unter dem Menü OTHERS wurde zum Statusbildschirm Taste/Fernbedienung hinzugefügt.

Menü Wi-Fi

Bei einer Verbindung über den WLAN-Adapter CBK-WA100 können Sie Wi-Fi>Wi-Fi und Wi-Fi>Wi-Fi Remote im Menü OTHERS einstellen.

Zusätzliche Funktionen von V1.4

MPEG2-Aufnahme im exFAT-Modus

Das MPEG2-Aufnahmeformat steht jetzt nicht nur im UDF-Modus, sondern auch im exFAT-Modus zur Verfügung.

Im Folgenden sind die verfügbaren MPEG2-Formate aufgeführt, die im exFAT-Modus ausgewählt werden können:

- HD422
- HD420 (HQ)
- DVCAM

Änderungen im Menü

Unter „System“ im Menü OTHERS haben sich folgende Änderungen ergeben:

- Die Menüoption XAVC/MPEG2 wurde hinzugefügt
- Die Einstellwerte für „Format“ wurden hinzugefügt

Einzelheiten dazu finden Sie in der folgenden Tabelle. (Die Standardwerte sind fettgedruckt.)

Menüoptionen	Einstellwerte	Inhalt
XAVC/MPEG2	XAVC MPEG2	Schalten Sie das Format im exFAT/HD-Modus zwischen XAVC/MPEG2 um.

Menüoptionen	Einstellwerte	Inhalt
Format	HD422 50/1080/59.94i	Auswählbare Einstellwerte für NTSC Area/exFAT/HD/MPEG2
	HQ 1920x1080/59.94i	
	HQ 1440x1080/59.94i	
	HD422 50/1080/29.97P	
	HQ 1920x1080/29.97P	
	HQ 1440x1080/29.97P	
	HD422 50/1080/23.98P	
	HQ 1920x1080/23.98P	
	HQ 1440x1080/23.98P	
	HD422 50/720/59.94P	
	HQ 1280x720/59.94P	
	HD422 50/720/29.97P	
	HD422 50/720/23.98P	
	HQ 1280x720/23.98P	
	HD422 50/1080/50i	Auswählbare Einstellwerte für PAL Area/exFAT/HD/MPEG2
	HQ 1920x1080/50i	
	HQ 1440x1080/50i	
	HD422 50/1080/25P	
	HQ 1920x1080/25P	
	HQ 1440x1080/25P	
	HD422 50/720/50P	
	HQ 1280x720/50P	
	HD422 50/720/25P	
	DVCAM59.94i SQ	Auswählbare Einstellwerte für NTSC Area/exFAT/SD
	DVCAM59.94i EC	
	DVCAM29.97P SQ	
	DVCAM29.97P EC	
	DVCAM50i SQ	Auswählbare Einstellwerte für PAL Area/exFAT/SD
	DVCAM50i EC	
	DVCAM25P SQ	
	DVCAM25P EC	

Hinweis zu Zeitlupe und Zeitraffer

Zeitlupe und Zeitraffer stehen sogar im exFAT/HD-Modus zur Verfügung. Die auswählbare Aufzeichnungsbildrate ist mit der im UDF-Modus identisch.

Hinweis zu den Ein-/Ausgangssignalen für die mit SDI/HDMI/i.LINK I/O Select ausgewählten Anschlüsse

Die Ein-/Ausgangssignale für die mit SDI/HDMI/i.LINK I/O Select auswählbaren Anschlüsse sind im exFAT/HD- und exFAT/SD-Modus dieselben wie im UDF/HD- bzw. UDF/SD-Modus.

Hinweise zur Anzeige der restlichen Speicherkapazität einer Speicherkarte

Die restliche Speicherkapazität einer Speicherkarte, die auf dem Sucherbildschirm angezeigt wird, ist ein grober Richtwert.

Die tatsächliche Restdauer ist möglicherweise kürzer als die angezeigte, da die Speicherkarte nicht nur Videodaten enthält, sondern z. B. auch Verwaltungsdaten.

Leggere le seguenti istruzioni insieme alle Istruzioni per l'uso (formato PDF) contenute nel CD-ROM allegato.

Funzioni aggiuntive della V1.6

Aggiunta dei menu per la memorizzazione del file

È possibile memorizzare le impostazioni del menu di impostazione su una scheda di memoria SxS o una unità flash USB (per la modalità UDF o exFAT).

Utilizzando il file memorizzato è possibile ottenere immediatamente la condizione di impostazione adeguata.

Nota

I valori per “Clock Set” e “Hours Meter” nel menu OTHERS non sono memorizzati.

File di impostazioni

Vengono memorizzate tutte le impostazioni di menu (compresi i profili immagine).

È possibile memorizzare fino a 64 file su una scheda di memoria SxS o una unità flash USB (per la modalità UDF o exFAT).

I file di impostazioni vengono memorizzati con il nome di file “SETUP.SUF”, “SETUP002.SUF” - “SETUP064.SUF”.

File utente

Vengono memorizzate le voci di impostazione personalizzate del menu USER e i dati di impostazione.

È possibile memorizzare fino a 64 file su una scheda di memoria SxS o una unità flash USB (per la modalità UDF o exFAT).

Recuperando il file, è possibile impostare il menu USER alla condizione di impostazione personalizzata.

I file utente vengono memorizzati con il nome di file da “001.USER” - “064USER”.

Profilo immagine

Vengono memorizzati i valori di impostazione del profilo immagine impostati per la scena dell'immagine.

È possibile memorizzare fino a 5 file su una memoria interna della videocamera. È possibile memorizzare fino a 64 file su una scheda di memoria SxS o una unità flash USB (per la modalità UDF o exFAT).

I profili immagine vengono memorizzati con il nome di file “PPDATA.SUF”, “PPDATA002.SUF” - “PPDATA064.SUF”.

Memorizzazione del file

1 Preparare il supporto per la memorizzazione dei file.

Per utilizzare una scheda di memoria SxS

Inserire una scheda di memoria SxS in uno slot per schede.

Verificare che l'icona della scheda di memoria corrispondente venga visualizzata sullo schermo. Se è selezionata una scheda di memoria in un altro alloggiamento, premere il tasto SLOT SELECT per passare alla scheda desiderata.

Per utilizzare una unità flash USB

Quando si utilizza una unità flash USB (per la modalità UDF o exFAT), collegare l'unità flash USB formattata al connettore del dispositivo esterno.

2 Per i file di impostazione, selezionare “Camera Data” del menu OTHERS.

Selezionare “User Data” del menu OTHERS per il file utente.

Selezionare “PP Data” del menu PICTURE PROFILE per il profilo immagine.

Per assegnare un nome al file memorizzato

Assegnare il nome al file memorizzato prima di procedere al passo 3.

Per i dettagli, vedere “Assegnazione del nome al file memorizzato”.

3 Per i file di impostazione, selezionare “Store(SxS)” o “Store(USB)” in “Camera Data”.

Selezionare “Store(SxS)” o “Store(USB)” in “User Data” per il file utente.

Selezionare “Store(SxS)” o “Store(USB)” in “PP Data” per il profilo immagine.

Viene visualizzato l’elenco a discesa dei file.

“No File” viene visualizzato sul numero di file per cui non sono memorizzati file.

Data, ora e nome del file sono visualizzati sul numero di file per cui è memorizzato un file.

4 Selezionare il numero di file da memorizzare nel file, quindi premere il tasto SEL/SET o il comando jog.

Viene visualizzato un messaggio di attesa.

Nota

Se sulla scheda di memoria memorizzata al passo 3 è già presente un file di impostazioni, viene visualizzato un messaggio per la conferma della sovrastruttura.

5 Per eseguire la memorizzazione, selezionare “Execute”, quindi premere il tasto SEL/SET o il comando jog.

Per annullare la memorizzazione, selezionare “Cancel”, quindi premere il tasto SEL/SET o il comando jog.

Quando si esegue la memorizzazione, durante la scrittura viene visualizzato un messaggio di operazione in corso. Al termine della scrittura, viene visualizzato un messaggio di completamento.

Nota

Se il supporto scrivibile non è inserito o se lo spazio non è sufficiente, viene visualizzato un messaggio di errore.

Assegnazione del nome al file memorizzato

È utile per identificare un file per assegnare un nome al file memorizzato prima di memorizzare i dati di impostazioni come file.

Per il nome, è possibile utilizzare i seguenti caratteri.

Numeri, lettere, caratteri speciali (! # \$ % & ‘ () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ~)

Nota

I caratteri utilizzabili per assegnare il nome al profilo immagine possono essere numeri, lettere, - (trattino), _ (trattino basso) e spazio.

1 Selezionare “File ID” da “Camera Data” del menu OTHERS.

Selezionare “File ID” in “User Data” del menu OTHERS per il file utente.

Selezionare “Profile Name” del menu PICTURE PROFILE per il profilo immagine.

2 Selezionare il carattere mediante il comando jog o i tasti su/giù, quindi premere il tasto SEL/SET o il comando jog.

3 Ripetere il passo 2.

4 Dopo aver completato l'immissione dei caratteri, spostare il cursore su SEL mediante il tasto SEL/SET o il comando jog, quindi premere il tasto SEL/SET o il comando jog.

Viene visualizzato il nome inserito. Quando si esegue l'operazione di memorizzazione per il file di impostazioni, i dati vengono memorizzati con il nome immesso.

Recupero del file

Nota

Se viene recuperato il file memorizzato su una scheda di memoria SxS o unità flash USB (per la modalità UDF o exFAT), i dati di impostazione memorizzati sulla memoria interna della videocamera vengono sovrascritti.

1 Preparare il supporto per la memorizzazione dei file.

Per utilizzare una scheda di memoria SxS

Inserire una scheda di memoria SxS in cui è memorizzato il file in uno slot per schede.

Verificare che l'icona della scheda di memoria corrispondente venga visualizzata sullo schermo. Se è selezionata una scheda di memoria in un altro alloggiamento, premere il tasto SLOT SELECT per passare alla scheda desiderata.

Per utilizzare una unità flash USB

Collegare l'unità flash USB in cui è memorizzato il file al connettore del dispositivo esterno.

2 Per i file di impostazione, selezionare "Camera Data" del menu OTHERS.

Selezionare "User Data" del menu OTHERS per il file utente.

Selezionare "PP Data" del menu PICTURE PROFILE per il profilo immagine.

3 Per i file di impostazione, selezionare "Recall(SxS)" o "Recall(USB)" in "Camera Data".

Selezionare "Recall(SxS)" o "Recall(USB)" in "User Data" per il file utente.

Selezionare "Recall(SxS)" o "Recall(USB)" in "PP Data" per il profilo immagine.

Viene visualizzato l'elenco a discesa dei file.

"No File" viene visualizzato sul numero di file per cui non sono memorizzati file.

Data, ora e nome del file sono visualizzati sul numero di file per cui è memorizzato un file.

4 Selezionare il numero di file da richiamare, quindi premere il tasto SEL/SET o il comando jog.

Viene visualizzato un messaggio di attesa.

Nota

Se il file selezionato contiene una modifica delle impostazioni che richiede il riavvio della videocamera, viene visualizzato un messaggio che richiede l'autorizzazione a riavviare.

5 Per eseguire il richiamo, selezionare "Execute", quindi premere il tasto SEL/SET o il comando jog.

Per annullare il richiamo, selezionare "Cancel", quindi premere il tasto SEL/SET o il comando jog.

Quando si esegue il richiamo, durante il richiamo viene visualizzato un messaggio di operazione in corso. Al termine del richiamo, viene visualizzato un messaggio di completamento e le impostazioni della videocamera vengono modificate in base all'impostazione richiamata.

Nota

Se il supporto leggibile non è inserito o se non è presente il file corrispondente, viene visualizzato un messaggio di errore.

Ripristino dei valori standard

Le impostazioni correnti della videocamera configurate con i vari menu e tasti possono essere riportate collettivamente agli stati standard (impostazioni di fabbrica) eseguendo “All Reset” nel menu OTHERS.

Aggiunta e modifica delle voci di menu di memorizzazione del file nel menu di impostazione

Modifiche nel menu

La voce “Camera Data” nel menu OTHERS e nel menu PICTURE PROFILE è stata modificata come segue.

“User Data” è stato aggiunto al menu OTHERS. È inoltre possibile registrare le voci di menu per memorizzare/richiamare “Camera Data”/“User Data”/“PP Data” nel menu USER.

OTHERS		
Voci dei menu	Voci secondarie e valori di impostazione	Descrizione
Camera Data Memorizzazione/ richiamo delle impostazioni dei menu in una scheda di memoria SxS o unità flash USB	Display Mode	Selezionare la voce visualizzata sull'elenco a discesa visualizzato durante la memorizzazione o il richiamo.
	Date&Time / Model Name	
	Store(SxS) Execute / Cancel	Quando si seleziona “Execute” per memorizzare i valori di impostazione in una scheda di memoria SxS, il file di impostazione viene memorizzato in una delle seguenti directory (è possibile memorizzare fino a 64 file). Per UDF: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/ PMW_300/ Per exFAT: /XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/ XDCAM/PMW_300/ Per FAT: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PMW_300/
	Recall(SxS) Execute / Cancel	Selezionare “Execute” per recuperare i valori di impostazione da una scheda di memoria SxS.
	Store(USB) Execute / Cancel	Quando si seleziona “Execute” per memorizzare i valori di impostazione in un'unità flash USB, il file di impostazione viene memorizzato nella seguente directory (è possibile memorizzare fino a 64 file). /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	Recall(USB) Execute / Cancel	Selezionare “Execute” per richiamare i valori di impostazione da un'unità flash USB.
	File ID	Consente di assegnare un nome di file fino a 16 caratteri.

OTHERS		
Voci dei menu	Voci secondarie e valori di impostazione	Descrizione
User Data Memorizzazione/ richiamo delle impostazioni del menu USER in una scheda di memoria SxS o unità flash USB	Store(SxS) Execute / Cancel	Quando si seleziona “Execute” per memorizzare i valori di impostazione in una scheda di memoria SxS, il file utente viene memorizzato in una delle directory seguenti (è possibile memorizzare fino a 64 file). Per UDF: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/ PMW_300/ Per exFAT: /XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/ XDCAM/PMW_300/ Per FAT: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PMW_300/
	Recall(SxS) Execute / Cancel	Selezionare “Execute” per recuperare il file utente da una scheda di memoria SxS.
	Store(USB) Execute / Cancel	Quando si seleziona “Execute” per memorizzare i valori di impostazione in una unità flash USB, il file utente viene memorizzato nella directory seguente (è possibile memorizzare fino a 64 file). /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	Recall(USB) Execute / Cancel	Selezionare “Execute” per recuperare il file utente da una unità flash USB.
	File ID	Consente di assegnare un nome di file fino a 16 caratteri.
	Load Customize Data On / Off	Stabilire se caricare i valori di impostazione e configurazione del menu (On) o caricare solo i valori di impostazione (Off) quando si recupera il file utente.

PICTURE PROFILE SET		
Voci	Voci secondarie e valori di impostazione	Descrizione
PP Data Scrittura/ caricamento di un profilo immagine	Display Mode Date&Time / Model Name	Selezionare la voce visualizzata sull’elenco a discesa visualizzato durante memorizzazione o caricamento.
	Store(SxS) Execute / Cancel	Selezionare “Execute” per memorizzare un profilo immagine su una scheda di memoria SxS (è possibile memorizzare fino a 64 file).
	Recall(SxS) Execute / Cancel	Selezionare “Execute” per caricare un profilo immagine da una scheda di memoria SxS.
	Store(USB) Execute / Cancel	Selezionare “Execute” per memorizzare un profilo immagine su una unità flash USB (è possibile memorizzare fino a 64 file).
	Recall(USB) Execute / Cancel	Selezionare “Execute” per caricare un profilo immagine da una unità flash USB.

Disabilitata l'impostazione assegnabile con il menu bloccato

Se il menu è bloccato mentre le voci di menu del menu di impostazione elencato di seguito non sono registrate nel menu USER, la funzione della voce di menu non può essere assegnata ai tasti programmabili.

Voci di menu del menu di impostazione			Voci di menu che è possibile assegnare ai tasti programmabili
CAMERA SET	Handle Zoom		Handle Zoom
	Clip Cont. Rec	Setting	Clip Continuous Rec
	P.Cache Rec	Setting	Picture Cache
	TLCS	Mode	Spotlight
			Backlight
LCD/VF SET	Zebra	Setting	Zebra
	Peaking	Setting	Peaking
	Marker	Setting	Marker
	EVF	Mode	VF Mode
	Display On/Off	Brightness Display	BRT Disp
		Histogram Display	Histogram
		Lens Info	Lens Info

Se le funzioni elencate sopra sono assegnate ai tasti programmabili, le impostazioni assegnabili vengono disattivate automaticamente quando il menu è bloccato.

Nota

Se il menu è bloccato mentre “SEL” del menu PICTURE PROFILE non è registrato nel menu USER, la selezione tramite menu diretto è disattivata.

Funzione di commutazione per la temperatura di colore del bilanciamento del bianco

Quando si richiama uno dei profili immagine (da PP1 a PP6, 6 tipi) registrati, è possibile commutare la temperatura di colore preimpostata da 4 tipi di preset definiti su “Preset White” in “White” premendo il tasto programmabile a cui è assegnato “WB Preset”.

Per definire la temperatura di colore preimpostata

- 1 Premere il tasto PICTURE PROFILE.**
Viene visualizzato il menu PICTURE PROFILE.
- 2 Selezionare “SEL”, quindi il profilo immagine (da PP1 a PP6).**
- 3 Selezionare “SET”, quindi il numero di preset 1, 2, 3 o 4 su “Preset White Sel” in “White”.**

4 Impostare la temperatura di colore su “Preset White” in “White”.

La temperatura di colore di 1, 2, 3 o 4 selezionata in “Preset White Sel” viene visualizzata su “Preset White”.

L'impostazione predefinita della temperatura di colore di 1, 2, 3 o 4 selezionata in “Preset White Sel” è la seguente.

- 1 è selezionato per “Preset White Sel”: 3200K
- 2 è selezionato per “Preset White Sel”: 4300K
- 3 è selezionato per “Preset White Sel”: 5600K
- 4 è selezionato per “Preset White Sel”: 6300K

La temperatura di colore può essere impostata in intervalli di 100K.

5 Premere il tasto SEL/SET o il comando jog dopo aver impostato la temperatura di colore.

6 Ripetere i passi da 3 a 5 per impostare la temperatura di colore per l'altro numero di preset.

Per il funzionamento tramite il tasto programmabile

1 Assegnare “WB Preset” a uno dei tasti programmabili da 1 a 5.

2 Selezionare la modalità Preset mediante l'interruttore WHITE BAL, oppure tramite il menu diretto.

Nota

Quando “Network Remote” è impostato su “On”, la modalità di regolazione per il bilanciamento del bianco è impostata sulla modalità di memoria A e non è possibile impostare sulla modalità Preset. Per impostare sulla modalità Preset, impostare “Network Remote” su “Off”.

3 Premere il tasto programmabile a cui è assegnato “WB Preset”.

Le 4 impostazioni di temperatura di colore preimpostate configurate in “Per definire la temperatura di colore preimpostata” cambiano ogni volta che si preme il tasto programmabile.

Nota

Non è possibile cambiare la temperatura di colore preimpostata nelle situazioni seguenti.

- Quando la modalità di regolazione per il bilanciamento del bianco è impostata su modalità ATW, modalità di memoria A, modalità di memoria B o modalità di memoria C
- Quando “SEL” di “PICTURE PROFILE” è impostato su “Off”
- Durante riproduzione, Rec Review, visualizzazione della schermata delle miniature, visualizzazione delle barre di colore
- Durante l'esecuzione di ABB, AWB, Multi Matrix > Color Detection, Color Correction > Area Indication, Skin Tone Detail > Area Detection, APR, Auto FB, AWS o ABS

Funzioni aggiuntive della V1.5

Menu USER

È possibile registrare voci di menu arbitrarie dai menu CAMERA SET, AUDIO SET, VIDEO SET, VF SET, TC/UB SET, LENS File, OTHERS e PICTURE PROFILE nel menu USER. Registrare le voci utilizzando il menu USER MENU CUSTOMIZE.

Nello stato predefinito, il menu USER consiste delle voci seguenti.

- Interval Rec
- Frame Rec

- Clip Cont.Rec
- P.Cache Rec
- S&Q Motion
- Video
- Assign Button
- Clip
- Format Media
- Menu Settings

Menu USER MENU CUSTOMIZE

È possibile modificare il menu USER aggiungendo, eliminando e riordinando voci rendendo più pratico l'utilizzo del menu USER.

È possibile selezionare qualsiasi voce in ciascun menu e aggiungerla al menu USER. Nel menu USER è possibile registrare fino a 20 voci. Per impostazione predefinita vi sono 10 voci registrate nel menu USER.

La configurazione del menu USER MENU CUSTOMIZE è la seguente:

Voce	Voce secondaria	Impostazione	Descrizione
Voce registrata o vuoto (nessuna voce)	Ins Item ↑		Inserisce una voce sopra la voce selezionata.
	Ins SubItem ↑		Inserisce una voce secondaria sopra la voce secondaria selezionata.
	Ins Item ↓		Inserisce una voce sotto la voce selezionata.
	Ins SubItem ↓		Inserisce una voce secondaria sotto la voce secondaria selezionata.
	Edit Item	Del Item Ins SubItem Del SubItem	Modifica una voce o una voce secondaria registrata. Del Item: elimina la voce Ins SubItem: inserisce la voce secondaria Del SubItem: elimina la voce secondaria
Customize Reset		Execute/Cancel	Ripristina lo stato predefinito del menu USER (selezionare Execute).

Nota

Non è possibile registrare due volte la stessa voce o voce secondaria. Inoltre, il nome della voce o della voce secondaria aggiunto non può essere modificato.

Per ripristinare lo stato predefinito del menu USER

Selezionare “Execute” in “Customize Reset” nel menu USER MENU CUSTOMIZE e premere il comando jog o il pulsante SEL/SET.

Aggiunta di una voce e di tutte le voci secondarie pertinenti

1 Visualizzare il menu USER MENU CUSTOMIZE.

Sono visualizzate le voci di menu correntemente registrate.

2 Selezionare la voce nella posizione alla quale si desidera inserire una voce, quindi premere il comando jog o il pulsante SEL/SET.

3 Selezionare “Ins Item ↑” o “Ins Item ↓”, quindi premere il comando jog o il pulsante SEL/SET.

Ins Item ↑ : inserisce una voce sopra la voce selezionata.

Ins Item ↓ : inserisce una voce sotto la voce selezionata.

Viene visualizzato un elenco delle voci che è possibile aggiungere.

- 4 Selezionare la voce che si desidera aggiungere, quindi selezionare “Execute” e premere il comando jog o il pulsante SEL/SET.**

La voce selezionata e tutte le voci secondarie pertinenti sono inserite nella posizione specificata ai punti 2 e 3.

Aggiunta di una voce e delle voci secondarie selezionate

- 1 Visualizzare il menu USER MENU CUSTOMIZE.**

Sono visualizzate le voci di menu correntemente registrate.

- 2 Selezionare la voce nella posizione alla quale si desidera inserire una voce, quindi premere il comando jog o il pulsante SEL/SET.**

- 3 Selezionare “Ins SubItem ↑” o “Ins SubItem ↓”, quindi premere il comando jog o il pulsante SEL/SET.**

Ins SubItem ↑ : inserisce una voce secondaria sopra la voce selezionata.

Ins SubItem ↓ : inserisce una voce secondaria sotto la voce selezionata.

Viene visualizzato un elenco delle voci che è possibile aggiungere.

- 4 Selezionare la voce che si desidera aggiungere, quindi premere il comando jog o il pulsante SEL/SET.**

Viene visualizzato un elenco delle voci secondarie che è possibile aggiungere.

- 5 Selezionare la voce che si desidera aggiungere, quindi selezionare “Execute” e premere il comando jog o il pulsante SEL/SET.**

La voce selezionata e la voci secondaria sono inserite nella posizione specificata ai punti 2 e 3.

Aggiunta di una voce secondaria ad una voce esistente

Nota

La voce secondaria deve sempre essere aggiunta sotto a quella principale nel menu di origine. Non è possibile inserire una voce secondaria sotto ad una voce che non sia quella principale.

- 1 Visualizzare il menu USER MENU CUSTOMIZE.**

Sono visualizzate le voci di menu correntemente registrate.

- 2 Selezionare la voce alla quale si desidera aggiungere una voce secondaria, quindi premere il comando jog o il pulsante SEL/SET.**

- 3 Impostare “Edit Item” su “Ins SubItem”.**

Viene visualizzato un elenco delle voci secondarie attualmente registrate la voce selezionata.

- 4 Selezionare la voce secondaria nella posizione alla quale si desidera inserire una voce secondaria, selezionare “Ins SubItem ↑” o “Ins SubItem ↓” e premere il comando jog o il pulsante SEL/SET.**

Ins SubItem ↑ : inserisce una voce secondaria sopra la voce secondaria selezionata.

Ins SubItem ↓ : inserisce una voce secondaria sotto la voce secondaria selezionata.

Viene visualizzato un elenco delle voci secondarie che è possibile aggiungere.

- 5 **Selezionare la voce che si desidera aggiungere, quindi selezionare “Execute” e premere il comando jog o il pulsante SEL/SET.**

La voce secondaria selezionata viene inserita nella posizione specificata al punto 4.

Eliminazione di una voce

- 1 **Visualizzare il menu USER MENU CUSTOMIZE.**

Sono visualizzate le voci di menu correntemente registrate.

- 2 **Selezionare la voce che si desidera eliminare, quindi premere il comando jog o il pulsante SEL/SET.**

- 3 **Impostare “Edit Item” su “Del Item”.**

La voce selezionata viene eliminata.

Eliminazione di una voce secondaria

Nota

“User Menu Only” in “Menu Settings” è registrato per impostazione predefinita e non può essere eliminato.

- 1 **Visualizzare il menu USER MENU CUSTOMIZE.**

Sono visualizzate le voci di menu correntemente registrate.

- 2 **Selezionare la voce che contiene la voce secondaria che si desidera eliminare, quindi premere il comando jog o il pulsante SEL/SET.**

- 3 **Impostare “Edit Item” su “Del SubItem”.**

Viene visualizzato un elenco delle voci secondarie che è possibile eliminare.

- 4 **Selezionare la voce secondaria che si desidera eliminare, quindi premere il comando jog o il pulsante SEL/SET.**

La voce secondaria selezionata viene eliminata.

Blocco e sblocco dei menu

È possibile bloccare il display del menu di impostazione per visualizzare solo il menu USER.

Blocco del menu

- 1 **Premere il pulsante MENU mentre si tiene premuto il comando jog.**

- 2 **Selezionare “User Menu with Lock” in “Menu Settings” del menu OTHERS.**

Nota

- “User Menu Only” in “Menu Settings” passa a “User Menu with Lock” premendo il pulsante MENU mentre si tiene premuto il comando jog.
- “User Menu with Lock” non viene visualizzato in “Menu Settings” quando il menu viene visualizzato premendo solo il pulsante MENU.

- 3 **Selezionare “On” e premere il pulsante SEL/SET o il comando jog.**

Lo schermo del mirino visualizza la schermata di inserimento password.

4 Immettere la password.

Immettere un numero a quattro cifre compreso tra 0000 e 9999 per la password. L'impostazione predefinita è 0000.

Quando il pulsante SEL/SET o il comando jog viene premuto dopo l'immissione di un numero, il cursore si sposta alla cifra seguente.

Dopo aver immesso tutte le cifre della password, il cursore si sposta su SET.

5 Premere il pulsante SEL/SET o il comando jog.

L'immissione viene confermata.

Viene visualizzato il messaggio di completamento e viene visualizzata la schermata del menu con il solo menu USER.

Sblocco del menu

1 Premere il pulsante MENU mentre si tiene premuto il comando jog.

2 Selezionare “User Menu with Lock” in “Menu Settings” del menu USER.

Note

- “User Menu Only” in “Menu Settings” passa a “User Menu with Lock” premendo il pulsante MENU mentre si tiene premuto il comando jog.
- “User Menu with Lock” non viene visualizzato in “Menu Settings” quando il menu viene visualizzato premendo solo il pulsante MENU.

3 Selezionare “Off” e premere il pulsante SEL/SET o il comando jog.

Lo schermo del mirino visualizza la schermata di inserimento password.

4 Nella schermata di immissione della password, digitare la password registrata quando si è bloccato il menu.

Immettere un numero a quattro cifre compreso tra 0000 e 9999 per la password.

Quando il pulsante SEL/SET o il comando jog viene premuto dopo l'immissione di un numero, il cursore si sposta alla cifra seguente.

Dopo aver immesso tutte le cifre della password, il cursore si sposta su SET.

5 Premere il pulsante SEL/SET o il comando jog.

L'immissione viene confermata.

Se viene immessa la password corretta, viene visualizzato il messaggio di sblocco e la schermata con tutti i menu.

Note

- Se viene immessa una password errata, non sarà possibile eliminare il blocco.
- Si consiglia di conservare la password per riferimento futuro. Se si è scordata la password, contattare un rappresentante Sony.

Modifiche nel menu

Menu Settings è stata aggiunta al menu OTHERS in funzione delle aggiunte al menu USER.
Le voci di Menu Settings sono le seguenti:

OTHERS		
Voci dei menu	Voci secondarie e valori di impostazione	Descrizione
Menu Settings Impostazione della funzione del menu	Direct Menu All / Part / Off	Direct Menu nel menu OTHERS è stato spostato qui.
	Menu Scroll Normal / Loop	Menu Scroll nel menu OTHERS è stato spostato qui.
	User Menu Only On / Off	Selezionare per visualizzare solo il menu USER (On) o l'elenco dei menu (Off).
	User Menu with Lock On / Off	Selezionare On o Off per bloccare la visualizzazione dei menu e visualizzare solo il menu USER. On: per bloccare la visualizzazione dei menu immettendo una password (viene visualizzato solo il menu USER). Off: per sbloccare la visualizzazione dei menu immettendo la password (viene visualizzato l'elenco di menu normale).
Nota Questa voce non è visualizzata con le operazioni normali. Per utilizzare la visualizzazione dei menu, vedere “ <i>Blocco e sblocco dei menu</i> ” (pagina 67).		

Supporto per scheda SDXC

Le schede SDXC sono supportate (solo exFAT).

L'utilizzo dell'adattatore per supporti opzionale MEAD-SD02 consente di inserire una scheda SDXC nello slot della scheda di memoria SxS e utilizzarla per registrazione e riproduzione.

Per informazioni sull'utilizzo dell'adattatore MEAD-SD02, fare riferimento alle Istruzioni per l'uso fornite insieme al prodotto.

Schede SDXC utilizzabili

Scheda SDXC classe 10

Note

- Quando si utilizza una scheda SDXC con questa videocamera, è necessario formattarla utilizzando la funzione di formattazione della videocamera.
- Non è possibile ottenere correttamente la riproduzione ad alta velocità con una scheda SDXC.
- Le schede SDXC possono solo essere utilizzate con exFAT.
- La registrazione con il formato XAVC-I o la registrazione rallentatore e movimento rapido potrebbero non essere eseguite correttamente in base alla scheda SDXC utilizzata. Si consiglia una scheda di memoria SxS.
- Quando si utilizza una scheda SDXC, non utilizzare contemporaneamente altri tipi di scheda. Se si utilizzano contemporaneamente altri tipi di supporto, il passaggio ad un altro supporto non può essere eseguito quando tale supporto non dispone di spazio disponibile per la registrazione.
- Potrebbe non essere possibile utilizzare una scheda SDXC registrata con la videocamera delle serie PMW e PXW per registrazione e riproduzione con questa unità in base al tipo di unità usata. Per informazioni, rivolgersi al rivenditore Sony o a un rappresentante dell'assistenza Sony.
- Non è stato verificato che tutte le schede di memoria funzionino con questa videocamera. Per schede di memoria compatibili, contattare il rivenditore.

Visualizzazione di stato di Wi-Fi Remote

La visualizzazione dell'impostazione Wi-Fi>Wi-Fi Remote nel menu OTHERS è stata aggiunta alla schermata di stato Button/Remote.

Menu Wi-Fi

Connettendosi tramite l'adattatore wireless CBK-WA100, è possibile impostare Wi-Fi>Wi-Fi e Wi-Fi>Wi-Fi Remote nel menu OTHERS.

Funzioni aggiuntive della V1.4

Registrazione MPEG2 in modalità exFAT

Il formato di registrazione MPEG2 è ora disponibile in modalità exFAT in aggiunta alla modalità UDF. I formati MPEG2 disponibili, selezionabili in modalità exFAT, sono mostrati di seguito:

- HD422
- HD420 (HQ)
- DVCAM

Modifiche nel menu

Le modifiche a "System" nel menu OTHERS sono mostrate di seguito:

- Aggiunta la voce di menu XAVC/MPEG2
- Aggiunti i valori di impostazione di "Format"

Per informazioni, consultare lo schema seguente (i valori predefiniti sono in grassetto).

Voci di impostazione	Valori di impostazione	Contenuti
XAVC/MPEG2	XAVC MPEG2	Consente di commutare il formato tra XAVC/MPEG2 in modalità exFAT/HD
Format	HD422 50/1080/59.94i HQ 1920x1080/59.94i HQ 1440x1080/59.94i HD422 50/1080/29.97P HQ 1920x1080/29.97P HQ 1440x1080/29.97P HD422 50/1080/23.98P HQ 1920x1080/23.98P HQ 1440x1080/23.98P HD422 50/720/59.94P HQ 1280x720/59.94P HD422 50/720/29.97P HD422 50/720/23.98P HQ 1280x720/23.98P	Valori di impostazione selezionabili per NTSC Area/exFAT/HD/MPEG2

Voci di impostazione	Valori di impostazione	Contenuti
	HD422 50/1080/50i HQ 1920x1080/50i HQ 1440x1080/50i HD422 50/1080/25P HQ 1920x1080/25P HQ 1440x1080/25P HD422 50/720/50P HQ 1280x720/50P HD422 50/720/25P	Valori di impostazione selezionabili per PAL Area/exFAT/ HD/ MPEG2
	DVCAM59.94i SQ DVCAM59.94i EC DVCAM29.97P SQ DVCAM29.97P EC	Valori di impostazione selezionabili per NTSC Area/exFAT/SD
	DVCAM50i SQ DVCAM50i EC DVCAM25P SQ DVCAM25P EC	Valori di impostazione selezionabili per PAL Area/exFAT/SD

Informazioni sulla funzione rallentatore e movimento rapido

La funzione rallentatore e movimento rapido è disponibile anche in modalità exFAT/HD. La velocità dei fotogrammi selezionabile è la stessa di quella in modalità UDF.

Informazioni sui segnali di ingresso/uscita per i connettori selezionati con SDI/HDMI/i.LINK I/O Select

I segnali di ingresso/uscita per i connettori selezionabili con SDI/HDMI/i.LINK I/O Select nelle modalità exFAT/HD ed exFAT/SD sono rispettivamente gli stessi di quelli delle modalità UDF/HD e UDF/SD.

Altro

Note sulla visualizzazione dello spazio residuo su una scheda di memoria

La visualizzazione dello spazio residuo su una scheda di memoria nel mirino è un'indicazione approssimata.

Il tempo rimanente effettivo potrebbe essere inferiore a quello visualizzato, dal momento che la scheda di memoria contiene dati differenti dai video, ad esempio l'area di gestione.

Lea las siguientes instrucciones junto con las Instrucciones de funcionamiento (formato PDF) almacenadas en el CD-ROM que se incluye.

Funciones adicionales de la V1.6

Adición de los menús para almacenar archivos

Puede almacenar el menú de configuración en una tarjeta de memoria SxS o en una unidad flash USB (en modo UDF o exFAT).

Al usar el archivo almacenado, se puede obtener de manera inmediata la condición adecuada de configuración.

Nota

Los valores de “Reloj” y “Contador hor.” en el menú OTROS no se guardan.

Archivo de configuración

Se almacenan todos los ajustes del menú (perfiles de imagen incluidos).

Se pueden almacenar hasta un total de 64 archivos en una tarjeta de memoria SxS o en una unidad flash USB (en modo UDF o exFAT).

Los archivos de configuración se almacenan con el nombre de archivo “SETUP.SUF”, “SETUP002.SUF” - “SETUP064.SUF”.

Archivo Usuario

Se almacenan los datos de configuración y los elementos de configuración personalizada del menú USUARIO.

Se pueden almacenar hasta un total de 64 archivos en una tarjeta de memoria SxS o en una unidad flash USB (en modo UDF o exFAT).

Al recuperar el archivo, podrá personalizar el menú USUARIO.

Los archivos de usuario se almacenan con el nombre de archivo “001.USER” - “064USER”.

Perfil de imagen

Se almacenan los valores de configuración del perfil de imagen que se hayan establecido para la escena mostrada.

La memoria interna de la videocámara tiene capacidad para almacenar hasta 5 archivos. Se pueden almacenar hasta un total de 64 archivos en una tarjeta de memoria SxS o en una unidad flash USB (en modo UDF o exFAT).

Los perfiles de imagen se almacenan con el nombre de archivo “PPDATA.SUF”, “PPDATA002.SUF” - “PPDATA064.SUF”.

Almacenamiento de archivos

1 Prepare el soporte para almacenar los archivos.

Para utilizar una tarjeta de memoria SxS

Introduzca una tarjeta de memoria SxS en una ranura para tarjetas.

Compruebe que el icono de la tarjeta de memoria correspondiente aparece en la pantalla. Si hay seleccionada una tarjeta de memoria de la otra ranura, pulse el botón SLOT SELECT para cambiarla.

Para utilizar una unidad flash USB

Al usar una unidad flash USB (en modo UDF o exFAT), conecte la unidad flash USB formateada al conector del dispositivo externo.

2 En el caso de los archivos de configuración, seleccione la opción “Datos” del menú OTROS.

Seleccione “Datos usu.” en el menú OTROS para el archivo Usuario.

Seleccione “Datos PP” en el menú PICTURE PROFILE para el perfil de imagen.

Para establecer el nombre de un archivo almacenado

Establezca el nombre de un archivo almacenado antes de continuar con el paso 3.

Para obtener más información, consulte “Establecimiento del nombre del archivo almacenado”.

3 En el caso de los archivos de configuración, seleccione la opción “Almacenar(SxS)” o “Almacenar(USB)” de “Datos”.

Seleccione “Almacenar(SxS)” o “Almacenar(USB)” en “Datos usu.” para el archivo Usuario.

Seleccione “Almacenar(SxS)” o “Almacenar(USB)” en “Datos PP” para el perfil de imagen.

Aparecerá el cuadro de lista de los archivos.

Se muestra “No hay ningún archivo” en el número de archivo cuando no hay ningún archivo almacenado.

Se muestra la fecha, la hora y el nombre del archivo en el número de archivo cuando hay un archivo almacenado.

4 Seleccione el número de archivo que desee almacenar, luego pulse el botón SEL/SET o el dial de desplazamiento.

Se muestra un mensaje de espera.

Nota

Si en la tarjeta de memoria almacenada en el paso 3 ya existe un archivo de configuración, aparecerá un mensaje para que confirme si desea sobrescribirlo o no.

5 Para ejecutar el almacenamiento, seleccione “Ejecutar” y pulse el botón SEL/SET o el dial de desplazamiento.

Para cancelar el almacenamiento, seleccione “Cancelar” y pulse el botón SEL/SET o el dial de desplazamiento.

Cuando ejecute el almacenamiento, aparecerá un mensaje de escritura en curso. Una vez completada la escritura, aparecerá el correspondiente mensaje para indicarlo.

Nota

Si el soporte de escritura no se introduce o no cuenta con la capacidad suficiente, se mostrará un mensaje de error.

Establecimiento del nombre del archivo almacenado

Para identificar un archivo, es de gran utilidad establecer el nombre de un archivo almacenado antes de almacenar los datos de configuración como archivo.

En los nombres se pueden utilizar los siguientes caracteres.

Números, letras, caracteres especiales (! # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ~)

Nota

En los nombres de los perfiles de imagen se pueden utilizar números, letras, - (guión), _ (guión bajo) y espacios.

1 Seleccione “ID archivo” en “Datos” en el menú OTROS.

Seleccione “ID archivo” en “Datos usu.” en el menú OTROS para el archivo Usuario.
Seleccione “Nombre del perfil” en el menú PICTURE PROFILE para el perfil de imagen.

2 Seleccione el carácter con el dial de desplazamiento o con los botones arriba/abajo, y pulse el botón SEL/SET o el dial de desplazamiento.

3 Repita el paso 2.

4 Una vez introducidos los caracteres, desplace el cursor hacia SEL con el botón SEL/SET o el dial de desplazamiento y, a continuación, pulse el botón SEL/SET o el dial de desplazamiento.

Se mostrará el nombre introducido. Al almacenar el archivo de configuración, los datos se almacenarán con el nombre introducido.

Recuperación del archivo

Nota

Si se recupera el archivo almacenado en una memoria SxS o en una unidad flash USB (en el modo UDF o exFAT), se sobrescribirán los datos de configuración almacenados en la memoria interna de la videocámara.

1 Prepare el soporte para almacenar los archivos.

Para utilizar una tarjeta de memoria SxS

Introduzca una tarjeta de memoria SxS con el archivo almacenado en una ranura para tarjetas. Compruebe que el icono de la tarjeta de memoria correspondiente aparece en la pantalla. Si hay seleccionada una tarjeta de memoria de la otra ranura, pulse el botón SLOT SELECT para cambiarla.

Para utilizar una unidad flash USB

Conecte la unidad flash USB donde esté almacenado el archivo al conector de dispositivos externos.

2 En el caso de los archivos de configuración, seleccione la opción “Datos” del menú OTROS.

Seleccione “Datos usu.” en el menú OTROS para el archivo Usuario.
Seleccione “Datos PP” en el menú PICTURE PROFILE para el perfil de imagen.

3 En el caso de los archivos de configuración, seleccione la opción “Cargar(SxS)” o “Cargar(USB)” de “Datos”.

Seleccione “Cargar(SxS)” o “Cargar(USB)” en “Datos usu.” para el archivo Usuario.
Seleccione “Cargar(SxS)” o “Cargar(USB)” en “Datos PP” para el perfil de imagen.
Aparecerá el cuadro de lista de los archivos.
Se muestra “No hay ningún archivo” en el número de archivo cuando no hay ningún archivo almacenado.
Se muestra la fecha, la hora y el nombre del archivo en el número de archivo cuando hay un archivo almacenado.

4 Seleccione el número de archivo que desee cargar, luego pulse el botón SEL/SET o el dial de desplazamiento.

Se muestra un mensaje de espera.

Nota

Si el archivo seleccionado incluye un cambio de configuración que necesita que se reinicie la videocámara, aparece un mensaje de permiso para reiniciar.

5 Para ejecutar la carga, seleccione “Ejecutar” y pulse el botón SEL/SET o el dial de desplazamiento.

Para cancelar la carga, seleccione “Cancelar” y pulse el botón SEL/SET o el dial de desplazamiento.

Cuando ejecute la carga, aparecerá un mensaje de carga en curso. Cuando la carga haya finalizado, aparecerá un mensaje de finalización y la configuración de la videocámara se cambia a la configuración cargada.

Nota

Si el soporte de lectura no se introduce o no se encuentra el archivo correspondiente en el soporte, se muestra un mensaje de error.

Restablecimiento de los valores estándar

Los ajustes actuales de la videocámara realizados a través de las distintas funciones de menú y de botones se pueden volver a dejar en sus estados estándar (ajustes de fábrica) ejecutando “Restablecer todo” en el menú OTROS.

Adición y modificación de ítems del menú para almacenar archivos en el menú de configuración

Cambios en el menú

Los “Datos” del menú OTROS y del menú Imagen de perfil presentan los siguientes cambios.

“Datos usu.” se ha añadido al menú OTROS. También puede registrar ítems de menú para almacenar/recuperar “Datos”/“Datos usu.”/“Datos PP” en el menú USUARIO.

OTROS		
Elementos de menú	Subelementos y valores de ajuste	Descripción
Datos Guardar/recuperar los ajustes de menú en una tarjeta de memoria SxS o una unidad flash USB	Visualiz pant	Seleccione el elemento que aparezca del cuadro de la lista durante el almacenamiento o la reactivación.
	Fecha&hora / Nombre modelo	
	Almacenar(SxS) Ejecutar / Cancelar	Si selecciona “Ejecutar” para guardar los valores de ajuste en una tarjeta de memoria SxS, el archivo de configuración se guardará en uno de los siguientes directorios (capacidad para hasta 64 archivos). Para UDF: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ Para exFAT: /XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ Para FAT: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PMW_300/
	Cargar(SxS) Ejecutar / Cancelar	Seleccione “Ejecutar” para recuperar los valores de ajuste de una tarjeta de memoria SxS.
	Almacenar(USB) Ejecutar / Cancelar	Si selecciona “Ejecutar” para guardar los valores de ajuste en una unidad flash USB, el archivo de configuración se guardará en el siguiente directorio (capacidad para hasta 64 archivos). /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	Cargar(USB) Ejecutar / Cancelar	Seleccione “Ejecutar” para recuperar los valores de ajuste de una unidad flash USB.
Datos usu. Almacenamiento/reactivación de los ajustes del menú USUARIO en una tarjeta de memoria SxS o unidad flash USB	ID archivo	Establece el nombre de un archivo con más de 16 caracteres.
	Almacenar(SxS) Ejecutar / Cancelar	Al seleccionar “Ejecutar” para almacenar los valores de configuración en una tarjeta de memoria SxS, el archivo Usuario se almacena en uno de los siguientes directorios (capacidad para hasta 64 archivos). Para UDF: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ Para exFAT: /XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ Para FAT: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PMW_300/
	Cargar(SxS) Ejecutar / Cancelar	Seleccione “Ejecutar” para recuperar un archivo Usuario de una tarjeta de memoria SxS.
	Almacenar(USB) Ejecutar / Cancelar	Al seleccionar “Ejecutar” para almacenar los valores de configuración en una unidad flash USB, el archivo Usuario se almacena en el siguiente directorio (capacidad para hasta 64 archivos). /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	Cargar(USB) Ejecutar / Cancelar	Seleccione “Ejecutar” para recuperar un archivo Usuario de una unidad flash USB.
	ID archivo	Establece el nombre de un archivo con más de 16 caracteres.
	Cargar datos pers. On / Off	Seleccione si desea carga la configuración del menú y los valores de configuración (On) o cargar únicamente los valores de configuración (Off) al recuperar el archivo Usuario.

AJUSTE DEL PERFIL DE IMAGEN		
Elementos	Subelementos y valores de ajuste	Descripción
Datos PP Escritura/descarga de un perfil de imagen	Visualiz pant Fecha&hora / Nombre modelo	Seleccione el elemento que aparezca del cuadro de la lista durante el almacenamiento o la carga.
	Almacenar(SxS) Ejecutar / Cancelar	Seleccione “Ejecutar” para almacenar un perfil de imagen en una tarjeta de memoria SxS (con capacidad para hasta 64 archivos).
	Cargar(SxS) Ejecutar / Cancelar	Seleccione “Ejecutar” para cargar un perfil de imagen procedente de una tarjeta de memoria SxS.
	Almacenar(USB) Ejecutar / Cancelar	Seleccione “Ejecutar” para almacenar un perfil de imagen en una unidad flash USB (con capacidad para hasta 64 archivos).
	Cargar(USB) Ejecutar / Cancelar	Seleccione “Ejecutar” para cargar un perfil de imagen procedente de una unidad flash USB.

Desactivación del ajuste asignable con el menú bloqueado

Si el menú está bloqueado mientras que los elementos del menú de configuración dispuestos a continuación no están registrados en el menú USUARIO, la función del elemento del menú no se puede asignar a los botones asignables.

Elementos del menú de configuración			Elementos del menú que se pueden asignar a botones asignables
CONF. CÁMARA	Manipul.zoom		Manipul.zoom
	Grab.con.cl.	Conf.	Grab. continua clip
	Gra.im.cache	Conf.	Caché imagen
	TLCS	Modo	1r plano
			Contraluz
LCD/VF SET	Cebra	Conf.	Cebra
	Función de nitidez	Conf.	Función de nitidez
	Marcador	Conf.	Marcador
	EVF	Modo	Modo VF
	Pantalla On/Off	Brillo	Brillo
		Histograma	Histograma
		Información lente	Información lente

Si las funciones anteriores aparecen asignadas a distintos botones asignables, los ajustes de asignación se desactivarán automáticamente al bloquear el menú.

Nota

Si se bloquea el menú mientras la opción “SEL” del menú PICTURE PROFILE no aparece registrada en el menú USUARIO, se desactivará la selección con el menú directo.

Función de cambio de temperatura de color del balance de blancos

Al reactivar uno de los perfiles de imagen registrados (del PP1 al PP6, 6 tipos), podrá modificar la temperatura del color predefinida a partir de 4 tipos de valores predefinidos establecidos en “Blanco Pred.” de “Blanco” pulsando el botón asignable al que se haya asignado la función “BB pred.”.

Para configurar la temperatura de color predefinida

1 Pulse el botón **PICTURE PROFILE**.

Aparecerá el menú **PICTURE PROFILE**.

2 Seleccione “**SEL**” y el perfil de imagen (del PP1 al PP6).

3 Seleccione “**SET**” y el número predefinido 1, 2, 3 o 4 de “Sel. bl. pred.” en “Blanco”.

4 Establezca la temperatura del color de “Blanco Pred.” en “Blanco”.

En “Blanco Pred.” aparecerá la temperatura de color del valor 1, 2, 3 o 4 seleccionado en “Sel. bl. pred.”.

La configuración predeterminada de la temperatura de color del valor 1, 2, 3 o 4 seleccionado en “Sel. bl. pred.” posee el siguiente aspecto.

- 1 se selecciona para “Sel. bl. pred.”: 3200K
- 2 se selecciona para “Sel. bl. pred.”: 4300K
- 3 se selecciona para “Sel. bl. pred.”: 5600K
- 4 se selecciona para “Sel. bl. pred.”: 6300K

La temperatura de color puede establecerse en intervalos de 100K.

5 Pulse el botón **SEL/SET** o el dial de desplazamiento una vez que haya configurado la temperatura de color.

6 Repita del paso 3 al 5 para configurar la temperatura de color de otro número predefinido.

Para poner en marcha el equipo usando el botón asignable

1 Asigne “BB pred.” a uno de los botones asignables entre el 1 y el 5.

2 Seleccione el modo predefinido utilizando el interruptor **WHITE BAL** o poniendo en marcha el equipo desde el menú directo.

Nota

Al establecer “Mando dist. red” en “On”, el modo de ajuste para el equilibrio del blanco se establecerá en el modo Memoria A, por lo que no tendrá la posibilidad de establecerse en modo predefinido. Para establecer en modo predefinido, establezca “Mando dist. red” en “Off”.

3 Pulse el botón asignable al que se haya asignado la función “BB pred.”.

Las 4 configuraciones de temperatura de color, establecidas en “Para configurar la temperatura de color predefinida”, conmutan con cada pulsación del botón asignable.

Nota

La temperatura de color predefinida no se puede cambiar en las siguientes situaciones.

- Cuando el modo de ajuste para el equilibrio del blanco se encuentre en el modo ATW, modo Memoria A, modo Memoria B o modo Memoria C
- Cuando la opción “SEL” de “PICTURE PROFILE” se encuentra establecida en “Off”
- Durante la reproducción, la función Revisión de grabación, la visualización de la pantalla de miniaturas, visualización de las barras de colores
- Durante las funciones ABB, AWB, Multi matriz > Detección color, Corrección color > Indicación área, Detalles tono piel > Detección área, APR, Auto FB, AWS o ABS

Funciones adicionales de la V1.5

Menú Usuario

Podrá registrar ítems de menú aleatorios procedentes de los menús CONF. CÁMARA, CONF. AUDIO, CONF. VÍDEO, CONF. VF, CONF. TC/UB, Archivo de la LENTE, OTROS e IMAGEN DE PERFIL en el menú Usuario. Registre los ítems utilizando el menú PERSON. MENÚ USUARIO.

La configuración predeterminada de fábrica del menú Usuario integra los siguientes ítems.

- Grab.Interv.
- Grab. Fotog.
- Grab.con.cl.
- Gra.im.cache
- Mov. S&Q
- Vídeo
- Asignar botón
- Clip
- Format. Media
- Ajustes menú

Menú PERSON. MENÚ USUARIO

Puede editar el menú Usuario añadiendo ítems, eliminándolos y reorganizándolos para facilitar el uso del menú Usuario.

Puede seleccionar cualquier ítem de todos los menús y añadirlo al menú Usuario. En el menú Usuario se pueden registrar hasta 20 ítems. Como valor predeterminado de fábrica, el menú Usuario cuenta con 10 ítems registrados.

La configuración del menú PERSON. MENÚ USUARIO es la siguiente:

Ítem	Subítem	Configuración	Descripción
Ítem registrado o en blanco (ningún ítem)	Ins. ítem ↑		Inserta un ítem sobre el ítem seleccionado.
	Ins. sub. ↑		Inserta un subítem sobre el subítem seleccionado.
	Ins. ítem ↓		Inserta un ítem por debajo del ítem seleccionado.
	Ins. sub. ↓		Inserta un subítem por debajo del subítem seleccionado.
	Ed. ítem	Elim. ítem	Edita un ítem o subítem registrado.
		Ins. subítem	Elim. ítem: elimina el ítem
		Elim. subítem	Ins. subítem: inserta el subítem Elim. subítem: elimina el subítem
Restab. pers.		Ejecutar/Cancelar	Restaura el menú Usuario a la configuración predeterminada de fábrica (seleccione Ejecutar).

Nota

No se puede registrar el mismo ítem o subítem dos veces. Asimismo, no se puede modificar el nombre del ítem o subítem añadido.

Para restaurar el menú Usuario a la configuración predeterminada de fábrica

Seleccione “Ejecutar” en el apartado “Restab. pers.” del menú PERSON. MENÚ USUARIO y pulse el dial de desplazamiento o el botón SEL/SET.

Adición de un ítem y sus correspondientes subítems

1 Diríjase al menú PERSON. MENÚ USUARIO.

Aparecerán los ítems del menú que ya están registrados.

2 Seleccione el ítem en la posición en la que desee insertar otro ítem y, a continuación, pulse el dial de desplazamiento o el botón SEL/SET.

3 Seleccione “Ins. ítem ↑” o “Ins. ítem ↓” y, a continuación, pulse el dial de desplazamiento o el botón SEL/SET.

Ins. ítem ↑: inserta un ítem sobre el ítem seleccionado.

Ins. ítem ↓: inserta un ítem por debajo del ítem seleccionado.

Aparecerá una lista con todos los ítems que se pueden añadir.

4 Seleccione el ítem que desee añadir y, a continuación, seleccione “Ejecutar” y pulse el dial de desplazamiento o el botón SEL/SET.

El ítem seleccionado junto con sus correspondientes subítems se insertarán en la posición especificada en los pasos 2 y 3.

Adición de un ítem y subítem seleccionado

1 Diríjase al menú PERSON. MENÚ USUARIO.

Aparecerán los ítems del menú que ya están registrados.

2 Seleccione el ítem en la posición en la que desee insertar otro ítem y, a continuación, pulse el dial de desplazamiento o el botón SEL/SET.

3 Seleccione “Ins. sub. ↑” o “Ins. sub. ↓” y, a continuación, pulse el dial de desplazamiento o el botón SEL/SET.

Ins. sub. ↑: inserta un subítem sobre el ítem seleccionado.

Ins. sub. ↓: inserta un subítem por debajo del ítem seleccionado.

Aparecerá una lista con todos los ítems que se pueden añadir.

4 Seleccione el ítem que desee añadir y, a continuación, pulse el dial de desplazamiento o el botón SEL/SET.

Aparecerá una lista con todos los subítems que se pueden añadir.

5 Seleccione el subítem que desee añadir y, a continuación, seleccione “Ejecutar” y pulse el dial de desplazamiento o el botón SEL/SET.

El ítem y subítem seleccionados se insertarán en la posición especificada en los pasos 2 y 3.

Adición de un subítem a un ítem existente

Nota

Un subítem siempre debería añadirse por debajo de un ítem que sea su matriz en el menú fuente. No se puede insertar ningún subítem por debajo de un ítem que no sea su matriz.

- 1 Diríjase al menú PERSON. MENÚ USUARIO.**
Aparecerán los ítems del menú que ya están registrados.
- 2 Seleccione el ítem al que desee añadir el subítem y, a continuación, pulse el dial de desplazamiento o el botón SEL/SET.**
- 3 Establezca “Ed. ítem” a “Ins. subítem”.**
Aparecerá una lista con todos los subítems que ya estén registrados para el ítem seleccionado.
- 4 Seleccione el subítem en la posición en la que desee insertar un subítem, seleccione “Ins. sub. ↑” o “Ins. sub. ↓” y pulse el dial de desplazamiento o el botón SEL/SET.**
Ins. sub. ↑: inserta un subítem sobre el subítem seleccionado.
Ins. sub. ↓: inserta un subítem por debajo del subítem seleccionado.
Aparecerá una lista con todos los subítems que se pueden añadir.
- 5 Seleccione el subítem que desee añadir y, a continuación, seleccione “Ejecutar” y pulse el dial de desplazamiento o el botón SEL/SET.**
El subítem seleccionado se insertará en la posición especificada en el paso 4.

Eliminación de un ítem

- 1 Diríjase al menú PERSON. MENÚ USUARIO.**
Aparecerán los ítems del menú que ya están registrados.
- 2 Seleccione el ítem que desee eliminar y, a continuación, pulse el dial de desplazamiento o el botón SEL/SET.**
- 3 Establezca “Ed. ítem” a “Elim. ítem”.**
Se eliminará el ítem seleccionado.

Eliminación de un subítem

Nota

“Solo menú de usuario” en “Ajustes menú” está registrado por defecto y no se puede eliminar.

- 1 Diríjase al menú PERSON. MENÚ USUARIO.**
Aparecerán los ítems del menú que ya están registrados.
- 2 Seleccione el ítem que contenga el subítem que desee eliminar y, a continuación, pulse el dial de desplazamiento o el botón SEL/SET.**
- 3 Establezca “Ed. ítem” a “Elim. subítem”.**
Aparecerá una lista con todos los subítems que se pueden eliminar.

4 Seleccione el subítem que desee eliminar y, a continuación, pulse el dial de desplazamiento o el botón SEL/SET.

Se eliminará el subítem seleccionado.

Bloqueo y desbloqueo de menús

Podrá bloquear la visualización del menú de configuración para que aparezca, únicamente, el menú Usuario.

Bloqueo del menú

1 Pulse el botón MENU mientras mantiene pulsado el dial de desplazamiento.

2 Seleccione “User Menu with Lock” en el apartado “Ajustes menú” del menú OTROS.

Notas

- Al pulsar el botón MENU y manteniendo pulsado el dial de desplazamiento, “Solo menú de usuario” en “Ajustes menú” cambiará a “User Menu with Lock”.
- “User Menu with Lock” no aparecerá en “Ajustes menú” cuando el menú aparezca pulsando, únicamente, el botón MENU.

3 Seleccione “On” y pulse el botón SEL/SET o el dial de desplazamiento.

En lugar de la pantalla del visor aparece la pantalla para introducir la contraseña.

4 Introduzca la contraseña.

Introduzca la contraseña formada por un número comprendido entre el 0000 y el 9999. La configuración predeterminada es 0000.

Cuando pulse el botón SEL/SET o el dial de desplazamiento tras introducir un número, el cursor se desplazará al siguiente dígito.

Tras introducir todos los dígitos de la contraseña, el cursor se desplazará a AJUSTES.

5 Pulse el botón SEL/SET o el dial de desplazamiento.

Se ha confirmado la entrada.

El mensaje de finalización aparece y se muestra la pantalla del menú únicamente con el menú Usuario.

Desbloqueo del menú

1 Pulse el botón MENU mientras mantiene pulsado el dial de desplazamiento.

2 Seleccione “User Menu with Lock” en el apartado “Ajustes menú” del menú Usuario.

Notas

- Al pulsar el botón MENU y manteniendo pulsado el dial de desplazamiento, “Solo menú de usuario” en “Ajustes menú” cambiará a “User Menu with Lock”.
- “User Menu with Lock” no aparecerá en “Ajustes menú” cuando el menú aparezca pulsando, únicamente, el botón MENU.

3 Seleccione “Off” y pulse el botón SEL/SET o el dial de desplazamiento.

En lugar de la pantalla del visor aparece la pantalla para introducir la contraseña.

4 Introduzca la contraseña registrada cuando bloqueó el menú en la pantalla de introducción de contraseñas.

Introduzca la contraseña formada por un número comprendido entre el 0000 y el 9999. Cuando pulse el botón SEL/SET o el dial de desplazamiento tras introducir un número, el cursor se desplazará al siguiente dígito. Tras introducir todos los dígitos de la contraseña, el cursor se desplazará a AJUSTES.

5 Pulse el botón SEL/SET o el dial de desplazamiento.

Se ha confirmado la entrada. En caso de que se introduzca la contraseña correcta, aparecerá el mensaje de desbloqueo y se mostrará la pantalla del menú con todos los menús.

Notas

- Si se introduce la contraseña incorrecta, no podrá desbloquear el menú.
- Se recomienda guardar la contraseña para referencias futuras. Si olvida su contraseña, póngase en contacto con un representante del servicio técnico de Sony.

Cambios en el menú

Ajustes menú se añade al menú OTROS cuando se añade el menú Usuario. Las opciones de Ajustes menú son las siguientes:

OTROS		
Elementos de menú	Subelementos y valores de ajuste	Descripción
Ajustes menú Configuración de la función del menú	Menú directo Total / Parcial / Off	Menú directo del menú OTROS se ha desplazado hasta aquí.
	Menú desplaz. Norm. / Bucle	Menú desplaz. del menú OTROS se ha desplazado hasta aquí.
	Solo menú de usuario On / Off	Seleccione si desea visualizar únicamente el menú Usuario (On) o la lista de menús (Off).
	User Menu with Lock On / Off	Seleccione On u Off para bloquear la visualización del menú y mostrar, únicamente, el menú Usuario. On: bloquee la visualización del menú introduciendo una contraseña (solo se mostrará el menú Usuario). Off: desbloquee la visualización del menú introduciendo una contraseña (se mostrará la lista de menús normal).
Nota Este ítem no se mostrará en una operación normal. Para obtener información sobre las operaciones de la pantalla del menú, consulte “Bloqueo y desbloqueo de menús” (página 82).		

Compatibilidad con tarjetas SDXC

Es posible utilizar tarjetas SDXC. (Solo exFAT)
Si utiliza el adaptador de soportes MEAD-SD02 opcional, podrá introducir una tarjeta SDXC en la ranura para tarjetas de memoria SxS y utilizarla para grabar y reproducir.
Para obtener más información sobre el funcionamiento del adaptador de soportes MEAD-SD02, consulte el manual de instrucciones suministrado con el adaptador.

Tarjetas SDXC que pueden usarse

Tarjeta SDXC de clase 10

Notas

- Si utiliza una tarjeta SDXC con esta videocámara, tiene que formatearla con la opción de formateo de esta videocámara.
- Es posible que la reproducción a alta velocidad no funcione correctamente con una tarjeta SDXC.
- Las tarjetas SDXC solo pueden usarse en el formato exFAT.
- La grabación con el formato XAVC-I o la grabación con movimiento a cámara lenta y rápida no siempre se realizarán correctamente, en función de la tarjeta SDXC utilizada. Se recomienda utilizar una tarjeta de memoria SxS.
- Si utiliza una tarjeta SDXC, no utilice otros tipos de tarjeta de memoria al mismo tiempo. Si utiliza otros tipos de soporte al mismo tiempo, no podrá cambiar a otro soporte cuando se quede sin espacio durante la grabación.
- Una tarjeta SDXC utilizada para grabar con la videocámara de las series PMW y PXW tal vez no pueda utilizarse para la grabación y la reproducción con esta unidad, en función del tipo de unidad utilizado. Para obtener más información, póngase en contacto con su distribuidor Sony o con un representante del servicio de asistencia de Sony.
- No se ha verificado el correcto funcionamiento de todas las tarjetas de memoria con esta videocámara. Para obtener más información sobre las tarjetas de memoria compatibles, póngase en contacto con su distribuidor.

Indicación de estado de Wi-Fi a distancia

La visualización del ajuste Wi-Fi>Wi-Fi a distancia en el menú OTROS se ha añadido a la pantalla de estado del botón/control remoto.

Menú Wi-Fi

Al conectar a través del adaptador inalámbrico CBK-WA100, puede ajustar Wi-Fi>Wi-Fi y Wi-Fi>Wi-Fi a distancia en el menú OTROS.

Funciones adicionales de la V1.4

Grabación MPEG2 en el modo exFAT

El formato de grabación MPEG2 está ahora disponible en el modo exFAT además del modo UDF. Los formatos MPEG2 seleccionables en el modo exFAT se enumeran a continuación:

- HD422
- HD420 (HQ)
- DVCAM

Cambios en el menú

Los cambios en la opción “Sistema” del menú OTROS aparecen a continuación:

- Se ha añadido la opción de menú XAVC/MPEG2
- Se han añadido los valores de ajuste de “Formato”

Para obtener más información, consulte la siguiente tabla. (Los valores predeterminados aparecen en negrita.)

Opciones de ajuste	Valores de ajuste	Contenido
XAVC/MPEG2	XAVC MPEG2	Alterne el formato entre XAVC/MPEG2 en el modo exFAT/HD.
Formato	HD422 50/1080/59.94i HQ 1920x1080/59.94i HQ 1440x1080/59.94i HD422 50/1080/29.97P HQ 1920x1080/29.97P HQ 1440x1080/29.97P HD422 50/1080/23.98P HQ 1920x1080/23.98P HQ 1440x1080/23.98P HD422 50/720/59.94P HQ 1280x720/59.94P HD422 50/720/29.97P HD422 50/720/23.98P HQ 1280x720/23.98P	Valores de ajuste seleccionables para Área NTSC/exFAT/HD/MPEG2
	HD422 50/1080/50i HQ 1920x1080/50i HQ 1440x1080/50i HD422 50/1080/25P HQ 1920x1080/25P HQ 1440x1080/25P HD422 50/720/50P HQ 1280x720/50P HD422 50/720/25P	Valores de ajuste seleccionables para Área PAL/exFAT/ HD/MPEG2
	DVCAM59.94i SQ DVCAM59.94i EC DVCAM29.97P SQ DVCAM29.97P EC	Valores de ajuste seleccionables para Área NTSC/exFAT/SD
	DVCAM50i SQ DVCAM50i EC DVCAM25P SQ DVCAM25P EC	Valores de ajuste seleccionables para Área PAL/exFAT/SD

Acerca de la función Movimiento a cámara lenta y rápida

La función Movimiento a cámara lenta y rápida está disponible incluso en el modo exFAT/HD. La velocidad de fotograma de grabación seleccionable es la misma que en el modo UDF.

Acerca de las señales de entrada/salida para los conectores seleccionadas con Sel.SDI/HDMI/i.LINK I/O

Las señales de entrada/salida para los conectores seleccionables con Sel.SDI/HDMI/i.LINK I/O en los modos exFAT/HD y exFAT/SD son las mismas que en los modos UDF/HD y UDF/SD respectivamente.

Notas sobre la indicación del espacio restante en una tarjeta de memoria

La indicación del espacio restante en una tarjeta de memoria visible en la pantalla del visor es solo una aproximación.

El tiempo restante real puede ser inferior a la indicación mostrada, ya que la tarjeta de memoria contiene otros datos además del vídeo, como por ejemplo datos de administración.

请阅读以下说明书以及随附 CD-ROM 上存储的使用说明书（PDF 格式）。

V1.6 的新增功能

新增用于文件保存的菜单

您可以在 SxS 存储卡或 USB 闪存盘（UDF 或 exFAT 模式）上保存设置菜单设定。通过使用保存的文件，可以立即获得合适的设置状态。

注意

其它菜单中的“时钟”和“使用时间”数值将不被存储。

设置文件

保存所有的菜单设定（包括图像参数）。

最多可以在 SxS 存储卡或 USB 闪存盘（UDF 或 exFAT 模式）上保存 64 个文件。

设置文件使用文件名“SETUP.SUF”、“SETUP002.SUF” — “SETUP064.SUF”进行保存。

用户文件

保存用户菜单的自定义设定项目和设定数据。

最多可以在 SxS 存储卡或 USB 闪存盘（UDF 或 exFAT 模式）上保存 64 个文件。

通过提取文件，可以将用户菜单设定为自定义设置状态。

用户文件使用文件名“001.USER” — “064USER”进行保存。

图像参数

保存针对成像场景设定的图像参数的设定值。

最多可以在摄像机的内存中保存 5 个文件。最多可以在 SxS 存储卡或 USB 闪存盘（UDF 或 exFAT 模式）上保存 64 个文件。

图像参数使用文件名“PPDATA.SUF”、“PPDATA002.SUF” — “PPDATA064.SUF”进行保存。

保存文件

1 准备文件保存媒体。

使用 SxS 存储卡

将 SxS 存储卡插入卡插槽。

确认屏幕上显示对应的存储卡图标。如果选择了另一插槽中的存储卡，按 SLOT SELECT 按钮切换。

使用 USB 闪存盘

使用 USB 闪存盘（UDF 或 exFAT 模式）时，将已格式化的 USB 闪存盘连接到外部设备连接器上。

2 对于设置文件，选择其它菜单的“摄像机数据”。

对于用户文件，选择其它菜单的“用户数据”。

对于图像参数，选择 PICTURE PROFILE 菜单的“PP 数据”。

命名保存文件

为保存文件命名后再继续进行步骤 3。

有关详情，请参阅“命名保存文件”。

3 对于设置文件，选择“摄像机数据”中的“保存 (SxS)”或“保存 (USB)”。

对于用户文件，选择“用户数据”中的“保存 (SxS)”或“保存 (USB)”。

对于图像参数，选择“PP 数据”中的“保存 (SxS)”或“保存 (USB)”。

出现文件列表框。

没有保存文件的文件编号上显示“没有文件”。

保存有文件的文件编号上显示日期、时间和文件名。

4 选择要保存文件的文件编号，然后按 SEL/SET 按钮或慢速拨盘。

显示等待信息。

注意

如果在步骤 3 中保存的存储卡中已经存在一个设置文件，会显示一条信息确认是否覆盖该文件。

5 若要执行保存，选择“是”，然后按 SEL/SET 按钮或慢速拨盘。

若要取消保存，选择“否”，然后按 SEL/SET 按钮或慢速拨盘。

执行保存时，写入过程中会显示进度信息。完成写入时，显示完成信息。

注意

如果未插入可写媒体或媒体上无足够空间，会显示错误信息。

命名保存文件

将设定数据保存为文件前对保存文件命名，有助于识别文件。

命名可使用以下字符。

数字、字母、特殊字符 (! # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ~)

注意

可用于命名图像参数的字符为数字、字母、-（连字符）、_（下划线）和空格。

1 选择其它菜单的“摄像机数据”中的“文件 ID”。

对于用户文件，选择其它菜单的“用户数据”中的“文件 ID”。

对于图像参数，选择 PICTURE PROFILE 菜单的“图像参数名”。

2 使用慢速拨盘或上 / 下按钮选择字符，然后按 SEL/SET 按钮或慢速拨盘。

3 重复步骤 2。

4 完成字符输入后，使用 SEL/SET 按钮或慢速拨盘将光标移至 SEL，然后按 SEL/SET 按钮或慢速拨盘。

出现输入名称。对设置文件执行保存操作时，数据以输入名称保存。

提取文件

注意

如果提取 SxS 存储卡或 USB 闪存盘（UDF 或 exFAT 模式）上的保存文件，保存在摄像机内存中的设置数据会被覆盖。

1 准备文件保存媒体。

使用 SxS 存储卡

将保存有文件的 SxS 存储卡插入卡插槽。

确认屏幕上显示对应的存储卡图标。如果选择了另一插槽中的存储卡，按 SLOT SELECT 按钮切换。

使用 USB 闪存盘

将保存有文件的 USB 闪存盘连接到外部设备连接器。

2 对于设置文件，选择其它菜单的“摄像机数据”。

对于用户文件，选择其它菜单的“用户数据”。

对于图像参数，选择 PICTURE PROFILE 菜单的“PP 数据”。

3 对于设置文件，选择“摄像机数据”中的“调用 (SxS)”或“调用 (USB)”。

对于用户文件，选择“用户数据”中的“调用 (SxS)”或“调用 (USB)”。

对于图像参数，选择“PP 数据”中的“调用 (SxS)”或“调用 (USB)”。

出现文件列表框。

没有保存文件的文件编号上显示“没有文件”。

保存有文件的文件编号上显示日期、时间和文件名。

4 选择要调用的文件编号，然后按 SEL/SET 按钮或慢速拨盘。

显示等待信息。

注意

如果所选文件包含一个需要重启摄像机的设定变更，会显示允许重启的信息。

5 若要执行调用，选择“是”，然后按 SEL/SET 按钮或慢速拨盘。

若要取消调用，选择“否”，然后按 SEL/SET 按钮或慢速拨盘。

执行调用时，调用过程中会显示进度信息。完成调用时，显示完成信息，并且摄像机的设定变更为所调用的设定。

注意

如果未插入可读媒体或媒体上无对应文件，会显示错误信息。

重设到标准值

通过执行其它菜单的“全复位”，通过各种菜单和按钮操作完成的当前摄像机设置可以一同返回到标准状态（工厂预设值）。

设置菜单中文件存储菜单项目的新增和改变

菜单中的变化

其它菜单和图像参数菜单中的“摄像机数据”已如下改变。
其它菜单中新增了“用户数据”。也可注册菜单项目，以在用户菜单中保存 / 调用“摄像机数据” / “用户数据” / “PP 数据”。

其它		
菜单项	子项和设置值	内容
摄像机数据 在 SxS 存储卡或 USB 闪存盘中存储 / 调用菜单设置	显示模式	选择在保存或调用时列表框中显示的项目。
	时间和日期 / 型号名	
	保存 (SxS) 是 / 否	当您选择“是”将设置值存储到 SxS 存储卡时，设置文件将被存储到以下目录之一（最多可保存 64 个文件）。 对于 UDF: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ 对于 exFAT: /XDR00T/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ 对于 FAT: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PMW_300/
	调用 (SxS) 是 / 否	选择“是”从 SxS 存储卡中恢复设置值。
	保存 (USB) 是 / 否	当您选择“是”将设置值存储到 USB 闪存盘时，设置文件将被存储到以下目录（最多可保存 64 个文件）。 /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	调用 (USB) 是 / 否	选择“是”将从 USB 闪存盘恢复设置值。
	文件 ID	文件名最多可使用 16 个字符。

其它		
菜单项	子项和设置值	内容
用户数据 保存 / 调用 用户菜单设定到 SxS 存储卡或 USB 闪存盘	保存 (SxS) 是 / 否	当选择“是”将设定值保存到 SxS 存储卡时，用户文件会保存到以下其中一个目录中（最多可保存 64 个文件）。 对于 UDF: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ 对于 exFAT: /XDR00T/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/ 对于 FAT: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PMW_300/
	调用 (SxS) 是 / 否	选择“是”从 SxS 存储卡提取用户文件。
	保存 (USB) 是 / 否	当选择“是”将设定值保存到 USB 闪存盘时，用户文件会保存到以下目录中（最多可保存 64 个文件）。 /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	调用 (USB) 是 / 否	选择“是”从 USB 闪存盘提取用户文件。
	文件 ID	文件名最多可使用 16 个字符。
	加载自定义数据 On / Off	选择提取用户文件时，是加载菜单配置和设定值 (On)，还是仅加载设定值 (Off)。

图像参数设定		
项目	子项和设置值	内容
PP 数据 写入 / 加载 图像参数	显示模式 时间和日期 / 型号名	选择在保存或加载时出现的列表框中显示的项目。
	保存 (SxS) 是 / 否	选择“是”将图像参数保存在 SxS 存储卡上（最多可保存 64 个文件）。
	调用 (SxS) 是 / 否	选择“是”从 SxS 存储卡加载图像参数。
	保存 (USB) 是 / 否	选择“是”将图像参数保存在 USB 闪存盘上（最多可保存 64 个文件）。
	调用 (USB) 是 / 否	选择“是”从 USB 闪存盘加载图像参数。

菜单锁定时禁用的可指定设定

当以下列出的设置菜单的菜单项目未注册到用户菜单时，如果锁定菜单，菜单项目的功能将无法指定到可指定按钮。

设置菜单的菜单项目			可指定到可指定按钮的菜单项目	
摄像机设定	处理变焦		处理变焦	
	片段连续记录	设定	片段连续记录	
	图像缓存拍摄	设定	图像缓存	
	TLCS	模式	Spotlight	
			Backlight	
LCD/VF 设定	斑马纹	设定	斑马纹	
	凸出	设定	凸出	
	标记	设定	标记	
	EVF	模式	VF 模式	
	显示设定	亮度	亮度	
		直方图	直方图	
		景深	景深	

如果以上列出的功能已指定到可指定按钮，锁定菜单时，可指定设定将自动设定为关闭。

注意

当 PICTURE PROFILE 菜单的“SEL”未注册到用户菜单时，如果锁定菜单，将禁用使用直接菜单操作进行选择。

白平衡色温的切换功能

当调用其中一个注册的图像参数（PP1 到 PP6，6 种）时，通过按指定了“白平衡预设”的可指定按钮，可将预设色温在“白平衡”的“色温预设”中设定的 4 种预设类型之间切换。

设定预设色温

- 1 按 PICTURE PROFILE 按钮。
显示 PICTURE PROFILE 菜单。
- 2 选择“SEL”，然后选择图像参数（PP1 到 PP6）。
- 3 选择“SET”，然后在“白平衡”的“预设色温选择”中选预设编号 1、2、3 或 4。

4 在“白平衡”的“色温预设”中设定色温。

在“预设色温选择”中选择的色温 1、2、3 或 4 出现在“色温预设”中。
在“预设色温选择”中选择的色温 1、2、3 或 4 的默认设定如下。

- “预设色温选择”选择 1: 3200K
- “预设色温选择”选择 2: 4300K
- “预设色温选择”选择 3: 5600K
- “预设色温选择”选择 4: 6300K

色温可以 100K 的幅度进行设定。

5 设定色温后按 SEL/SET 按钮或慢速拨盘。

6 重复步骤 3 到 5 设定其他预设编号的色温。

使用可指定按钮操作

1 将“白平衡预设”指定到可指定按钮 1 到 5 之一。

2 使用 WHITE BAL 开关或操作直接菜单选择预设模式。

注意

当“网络遥控”设定为“On”时，白平衡的调节模式设定为存储器 A 模式且无法设定为预设模式。若要设定为预设模式，将“网络遥控”设定为“Off”。

3 按指定了“白平衡预设”的可指定按钮。

每按一次可指定按钮，即在“设定预设色温”中设定的 4 种预设色温设定之间切换。

注意

无法在以下情况下切换预设色温。

- 当白平衡的调节模式设定为 ATW 模式、存储器 A 模式、存储器 B 模式或存储器 C 模式时。
- 当“PICTURE PROFILE”的“SEL”设定为“Off”时
- 播放、录制预览、显示缩略图画面、显示彩条时
- 执行 ABB、AWB、多种矩阵功能 > 色彩检测、色彩校正 > 区域指示、肤色细节 > 区域检测、APR、自动 FB、AWS 或 ABS 时

V1.5 的新增功能

用户菜单

您可从用户菜单的摄像机设定、音频设定、视频设定、VF 设定、TC/UB 设定、镜头文件、其它和图像参数菜单中注册任意菜单项目。使用用户菜单自定义菜单注册项目。

用户菜单在出厂默认状态下包含以下项目。

- 间隔拍摄
- 逐帧拍摄
- 片段连续记录

- 图像缓存拍摄
- 慢 & 快动作
- 视频
- 自定义按钮
- 片段
- 格式化
- 菜单设定

用户菜单自定义菜单

您可通过添加项目、删除项目和重新排列项目来编辑用户菜单，以使用户菜单更方便使用。

可选择各菜单中的任意项目并添加到用户菜单。最多可在用户菜单中注册 20 个项目。用户菜单的出厂默认状态下已注册有 10 个项目。

用户菜单自定义菜单的配置如下：

项目	子项目	设定	说明
已注册项目或空白（无项目）	插入项目 ↑		在所选项目之上插入一个项目。
	插入子项目 ↑		在所选子项目之上插入一个子项目。
	插入项目 ↓		在所选项目之下插入一个项目。
	插入子项目 ↓		在所选子项目之下插入一个子项目。
	编辑项目	删除项目 插入子项目 删除子项目	编辑已注册的项目或子项目。 删除项目： 删除项目 插入子项目： 插入子项目 删除子项目： 删除子项目
自定义重设		是 / 否	将用户菜单恢复为出厂默认状态（选择是）。

注意

相同的项目或子项目无法注册两次。而且，添加的项目或子项目名称无法更改。

将用户菜单恢复为出厂默认状态

选择用户菜单自定义菜单的“自定义重设”中的“是”，然后按慢速拨盘或 SEL/SET 按钮。

添加项目和所有附属子项目

- 1 显示用户菜单自定义菜单。**
显示当前注册的菜单项目。
- 2 选择要插入某项目所在位置处的项目，然后按慢速拨盘或 SEL/SET 按钮。**
- 3 选择“插入项目 ↑”或“插入项目 ↓”，然后按慢速拨盘或 SEL/SET 按钮。**
 插入项目 ↑：在所选项目之上插入一个项目。
 插入项目 ↓：在所选项目之下插入一个项目。
 显示可添加的项目列表。

- 4 选择要添加的项目，然后选择“是”并按慢速拨盘或 SEL/SET 按钮。**
在步骤 2 和 3 中指定的位置处即插入所选项目和所有附属子项目。

添加项目和所选子项目

- 1 显示用户菜单自定义菜单。**
显示当前注册的菜单项目。
- 2 选择要插入某项目所在位置处的项目，然后按慢速拨盘或 SEL/SET 按钮。**
- 3 选择“插入子项目 ↑”或“插入子项目 ↓”，然后按慢速拨盘或 SEL/SET 按钮。**
插入子项目 ↑：在所选项目之上插入一个子项目。
插入子项目 ↓：在所选项目之下插入一个子项目。
显示可添加的项目列表。
- 4 选择要添加的项目，然后按慢速拨盘或 SEL/SET 按钮。**
显示可添加的子项目列表。
- 5 选择要添加的子项目，然后选择“是”并按慢速拨盘或 SEL/SET 按钮。**
在步骤 2 和 3 中指定的位置处即插入所选项目和子项目。

在现有项目中添加子项目

注意

子项目只能添加到在源菜单中是其父项目的项目之下。子项目无法插入到非父项目之下。

- 1 显示用户菜单自定义菜单。**
显示当前注册的菜单项目。
- 2 选择要添加子项目的项目，然后按慢速拨盘或 SEL/SET 按钮。**
- 3 将“编辑项目”设定为“插入子项目”。**
显示所选项目的当前已注册子项目列表。
- 4 选择要插入某子项目所在位置处的子项目，选择“插入子项目 ↑”或“插入子项目 ↓”，然后按慢速拨盘或 SEL/SET 按钮。**
插入子项目 ↑：在所选子项目之上插入一个子项目。
插入子项目 ↓：在所选子项目之下插入一个子项目。
显示可添加的子项目列表。
- 5 选择要添加的子项目，然后选择“是”并按慢速拨盘或 SEL/SET 按钮。**
在步骤 4 中指定的位置处即插入所选子项目。

删除项目

- 1 显示用户菜单自定义菜单。
显示当前注册的菜单项目。
- 2 选择要删除的项目，然后按慢速拨盘或 SEL/SET 按钮。
- 3 将“编辑项目”设定为“删除项目”。
即删除所选项目。

删除子项目

注意

“菜单设定”中的“仅用户菜单”为出厂默认注册，且无法删除。

- 1 显示用户菜单自定义菜单。
显示当前注册的菜单项目。
- 2 选择包含有要删除子项目的项目，然后按慢速拨盘或 SEL/SET 按钮。
- 3 将“编辑项目”设定为“删除子项目”。
显示可删除的子项目列表。
- 4 选择要删除的子项目，然后按慢速拨盘或 SEL/SET 按钮。
即删除所选子项目。

锁定和解锁菜单

您可锁定设置菜单的显示，以仅显示用户菜单。

锁定菜单

- 1 按住慢速拨盘的同时按 MENU 按钮。
- 2 选择其它菜单的“菜单设定”中的“User Menu with Lock”。

注意

- 按住慢速拨盘的同时按 MENU 按钮，“菜单设定”中的“仅用户菜单”会变为“User Menu with Lock”。
 - 仅按 MENU 按钮显示菜单时，“菜单设定”中不显示“User Menu with Lock”。
- 3 选择“0n”，然后按 SEL/SET 按钮或慢速拨盘。
取景器画面变为密码输入画面。
 - 4 输入密码。
输入从 0000 到 9999 的四位数密码。默认设定为 0000。
输入一个数字后按下 SEL/SET 按钮或慢速拨盘时，光标移动到下一位。
输入密码的所有数位后，光标移动到设定。

5 按 SEL/SET 按钮或慢速拨盘。

确认输入。

出现完成信息，并显示只有用户菜单的菜单画面。

解锁菜单

1 按住慢速拨盘的同时按 MENU 按钮。

2 选择用户菜单的“菜单设定”中的“User Menu with Lock”。

注意

- 按住慢速拨盘的同时按 MENU 按钮，“菜单设定”中的“仅用户菜单”会变为“User Menu with Lock”。
- 仅按 MENU 按钮显示菜单时，“菜单设定”中不显示“User Menu with Lock”。

3 选择“Off”，然后按 SEL/SET 按钮或慢速拨盘。

取景器画面变为密码输入画面。

4 在密码输入画面中输入在锁定菜单时注册的密码。

输入从 0000 到 9999 的四位数密码。

输入一个数字后按下 SEL/SET 按钮或慢速拨盘时，光标移动到下一位。

输入密码的所有数位后，光标移动到设定。

5 按 SEL/SET 按钮或慢速拨盘。

确认输入。

如果输入正确的密码，会出现解锁信息，并显示有全部菜单的菜单画面。

注意

- 如果输入错误的密码，则无法解除锁定。
- 建议保存好密码以便日后使用。如果忘记密码，请联系 Sony 服务代表。

菜单中的变化

根据用户菜单新增情况，其它菜单中新增了菜单设定。
菜单设定的项目如下：

其它		
菜单项	子项和设置值	内容
菜单设定 设定菜单功能	快捷菜单 All/Part/Off	其它菜单下的快捷菜单已移至此处。
	菜单滚动 标准 / 循环	其它菜单下的菜单滚动已移至此处。
	仅用户菜单 On/Off	选择只显示用户菜单（On）或菜单列表（Off）。
	User Menu with Lock On/Off	选择 On 或 Off 以锁定菜单显示，并只显示用户菜单。 On：通过输入密码锁定菜单显示（仅显示用户菜单）。 Off：通过输入密码解锁菜单显示（显示正常菜单列表）。
		注意 正常操作时不显示此项目。有关操作菜单显示，请参阅“锁定和解锁菜单”（第 96 页）。

SDXC 卡支持

支持 SDXC 卡。（仅限 exFAT）
使用选购的 MEAD-SD02 介质适配器可将 SDXC 卡插入 SxS 存储卡插槽并用于记录和播放。
有关使用 MEAD-SD02 介质适配器的详情，请参阅各自适配器附带的使用说明书。

可用的 SDXC 卡
Class 10 SDXC 卡

注意

- 在本摄像机上使用 SDXC 卡时，必须使用本摄像机的格式化功能将卡格式化。
- 使用 SDXC 卡可能无法正确进行高速播放。
- SDXC 卡只能用于 exFAT。
- 视使用的 SDXC 卡而定，可能无法正确执行 XAVC-I 格式记录或慢&快动作记录。建议使用 SxS 存储卡。
- 使用 SDXC 卡时，请勿同时使用其他类型的存储卡。如果同时使用其他类型的介质，当记录时介质没有空间时，无法切换到其他介质。
- 视使用的装置类型而定，用 PMW 和 PXW 系列摄像机记录的 SDXC 卡可能无法用于在本机上记录和播放。有关详情，请联系 Sony 经销商或 Sony 服务代表。
- 并非所有存储卡经证实可在本摄像机上工作。有关兼容的存储卡，请联系您的经销商。

Wi-Fi 遥控的状态显示

其它菜单下的 Wi-Fi 设定 >Wi-Fi 遥控设置显示新增到了 Button/Remote 状态画面中。

Wi-Fi 菜单

通过无线适配器 CBK-WA100 连接时，可设定其它菜单下的 Wi-Fi 设定 >Wi-Fi 和 Wi-Fi 设定 >Wi-Fi 遥控。

V1.4的新增功能

exFAT 模式下的 MPEG2 记录

除了 UDF 模式，在 exFAT 模式下也可以使用 MPEG2 记录格式。
exFAT 模式下的 MPEG2 可选格式如下：

- HD422
- HD420 (HQ)
- DVCAM

菜单中的变化

其它菜单的 “系统” 中的变化如下：

- 新增的 XAVC/MPEG2 菜单项
- 新增的 “格式” 设置值

详情请参阅下表。（默认值为粗体字。）

设定项目	设置值	内容
XAVC/MPEG2	XAVC MPEG2	在 exFAT/HD 模式下切换 XAVC/MPEG2 格式。

设定项目	设置值	内容
格式	HD422 50/1080/59.94i	NTSC 区 /exFAT/HD/MPEG2 的可选设置值
	HQ 1920x1080/59.94i	
	HQ 1440x1080/59.94i	
	HD422 50/1080/29.97P	
	HQ 1920x1080/29.97P	
	HQ 1440x1080/29.97P	
	HD422 50/1080/23.98P	
	HQ 1920x1080/23.98P	
	HQ 1440x1080/23.98P	
	HD422 50/720/59.94P	
	HQ 1280x720/59.94P	
	HD422 50/720/29.97P	
	HD422 50/720/23.98P	
	HQ 1280x720/23.98P	
	HD422 50/1080/50i	PAL 区 /exFAT/HD/MPEG2 的可选设置值
	HQ 1920x1080/50i	
	HQ 1440x1080/50i	
	HD422 50/1080/25P	
	HQ 1920x1080/25P	
	HQ 1440x1080/25P	
	HD422 50/720/50P	
	HQ 1280x720/50P	
	HD422 50/720/25P	
	DVCAM59.94i SQ	NTSC 区 /exFAT/SD 的可选设置值
	DVCAM59.94i EC	
	DVCAM29.97P SQ	
	DVCAM29.97P EC	
	DVCAM50i SQ	PAL 区 /exFAT/SD 的可选设置值
	DVCAM50i EC	
	DVCAM25P SQ	
	DVCAM25P EC	

关于慢 & 快动作功能

即使在 exFAT/HD 模式下也可以使用慢 & 快动作功能。可选的记录帧速率与使用模式 UDF 时相同。

关于通过 SDI/HDMI/i.LINK I/O 切换选择的接口的输入 / 输出信号

在 exFAT/HD 和 exFAT/SD 模式下，通过 SDI/HDMI/i.LINK I/O 切换可选的接口的输入 / 输出信号分别与使用 UDF/HD 和 UDF/SD 模式时相同。

关于存储卡剩余空间显示的说明

取景器屏幕上的存储卡剩余空间显示是一个大致指示。
由于存储卡中含有管理区域等非视频数据，实际剩余时间可能比显示的值少。

Прочитайте следующие инструкции вместе с Инструкцией по эксплуатации (PDF-формат), находящейся на CD-диске из комплекта поставки.

Дополнительные функции V1.6

Добавление меню для сохранения файлов

Сохранить настройки установочного меню можно на карте памяти SxS или флэш-накопителе USB (для режима UDF или exFAT).

С помощью сохраненного файла можно немедленно получить правильные параметры настройки.

Примечание

Значения параметров “Устан. часов” и “Счетч. часов” в меню ПРОЧЕЕ не сохраняются.

Установочный файл

Все настройки меню (включая профили изображений) сохраняются.

На карте памяти SxS или флэш-накопителе USB (для режима UDF или exFAT) можно сохранить до 64 файлов.

Установочные файлы сохраняются с использованием имени файла “SETUP.SUF”, от “SETUP002.SUF” до “SETUP064.SUF”.

Файл пользователя

Индивидуальные настройки пунктов меню ПОЛЬЗОВАТЕЛЬ и данные настройки сохраняются.

На карте памяти SxS или флэш-накопителе USB (для режима UDF или exFAT) можно сохранить до 64 файлов.

При считывании файла для меню ПОЛЬЗОВАТЕЛЬ можно установить индивидуальные параметры.

Файлы пользователя сохраняются с использованием имени файла от “001.USER” до “064USER”.

Профиль изображения

Значения настройки профиля изображения, заданные для изображенной области, сохраняются.

На внутреннем запоминающем устройстве видеокамеры можно хранить до 5 файлов. На карте памяти SxS или флэш-накопителе USB (для режима UDF или exFAT) можно сохранить до 64 файлов.

Профили изображений сохраняются с использованием имени файла “PPDATA.SUF”, от “PPDATA002.SUF” до “PPDATA064.SUF”.

1 Подготовьте носитель для сохранения файлов.

Чтобы использовать карту памяти SxS:

Вставьте карту памяти SxS в гнездо для карты.

Проверьте, отображается ли значок соответствующей карты памяти на экране. Если выбрана карта памяти в другом гнезде, для переключения нажмите кнопку SLOT SELECT.

Чтобы использовать флэш-накопитель USB:

При использовании флэш-накопителя USB (для режима UDF или exFAT), подключите отформатированный флэш-накопитель USB в разъем внешнего устройства.

2 Для установочных файлов выберите “Дан. камеры” в меню ПРОЧЕЕ.

Для файла пользователя выберите “Данные польз.” в меню ПРОЧЕЕ.

Для профиля изображения выберите “Данные PP” в меню Профиль изобр.

Чтобы присвоить имя сохраненному файлу:

Присвойте имя сохраненному файлу, прежде чем перейти к шагу 3.

Подробнее см. в разделе “Присвоение имени сохраненному файлу”.

3 Для установочных файлов выберите “Сохран.(SxS)” или “Сохран.(USB)” в подменю “Дан. камеры”.

Для файла пользователя выберите “Сохран.(SxS)” или “Сохран.(USB)” в подменю “Данные польз.”.

Для профиля изображения выберите “Сохран.(SxS)” или “Сохран.(USB)” в подменю “Данные PP”.

Откроется окно со списком файлов.

Возле номера файла, для которого файлы не сохранены, появится сообщение “Файл не обнаружен”.

Возле номера файла, для которого файл сохранен, появится дата, время и имя файла.

4 Выберите номер файла для сохранения файла, а затем нажмите кнопку SEL/SET или поворотный переключатель.

Появится сообщение ожидания.

Примечание

Если установочный файл уже существует на карте памяти, сохраненный в шаге 3, появится сообщение с запросом о подтверждении перезаписи файла.

5 Чтобы выполнить сохранение, выберите “Выпол.”, а затем нажмите кнопку SEL/SET или поворотный переключатель.

Чтобы отменить сохранение, выберите “Отменить”, а затем нажмите кнопку SEL/SET или поворотный переключатель.

В процессе сохранения отображается сообщение о выполнении записи. После завершения записи отображается сообщение о завершении.

Примечание

Если носитель с возможностью записи не установлен или на нем недостаточно места, появится сообщение об ошибке.

Присвоение имени сохраненному файлу

Рекомендуется присвоить имя сохраненному файлу для его идентификации, прежде чем сохранить данные настройки в виде файла.

В имени можно использовать следующие символы:

цифры, буквы, специальные символы (! # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ~)

Примечание

В названии профиля изображения можно использовать следующие символы: цифры, буквы, - (дефис) и _ (подчеркивание) и знак пробела.

- 1 В меню ПРОЧЕЕ в подменю “Дан. камеры” выберите “Файл ID”.**
Для файла пользователя в меню ПРОЧЕЕ в подменю “Данные польз.” выберите “Файл ID”.
Для профиля изображения в меню Профиль изобр. выберите “Название профиля”.
- 2 Выберите символы с помощью поворотного переключателя или кнопок вверх/вниз, а затем нажмите кнопку SEL/SET или поворотный переключатель.**
- 3 Повторите шаг 2.**
- 4 После завершения ввода символов с помощью кнопки SEL/SET или поворотного переключателя переместите курсор на SEL, а затем нажмите кнопку SEL/SET или поворотный переключатель.**
Появится введенное имя. Во время операции сохранения установочного файла данные сохраняются в файле с введенным именем.

Считывание файла

Примечание

При считывании сохраненного файла с памяти SxS или флэш-накопителя USB (для режима UDF или exFAT), установочные данные, которые хранятся на внутреннем запоминающем устройстве видеокамеры, будут перезаписаны.

- 1 Подготовьте носитель для сохранения файлов.**
Чтобы использовать карту памяти SxS:
Вставьте карту памяти SxS, на которой хранится файл, в гнездо для карты.
Проверьте, отображается ли значок соответствующей карты памяти на экране. Если выбрана карта памяти в другом гнезде, для переключения нажмите кнопку SLOT SELECT.
Чтобы использовать флэш-накопитель USB:
Подключите флэш-накопитель USB, на котором хранится файл, в разъем внешнего устройства.
- 2 Для установочных файлов выберите “Дан. камеры” в меню ПРОЧЕЕ.**
Для файла пользователя выберите “Данные польз.” в меню ПРОЧЕЕ.
Для профиля изображения выберите “Данные PP” в меню Профиль изобр.

3 Для установочных файлов выберите “Вызов(SxS)” или “Вызов(USB)” в подменю “Дан. камеры”.

Для файла пользователя выберите “Вызов(SxS)” или “Вызов(USB)” в подменю “Данные польз.”.

Для профиля изображения выберите “Вызов(SxS)” или “Вызов(USB)” в подменю “Данные РР”.

Откроется окно со списком файлов.

Возле номера файла, для которого файлы не сохранены, появится сообщение “Файл не обнаружен”.

Возле номера файла, для которого файл сохранен, появится дата, время и имя файла.

4 Выберите номер файла для повторного вызова, а затем нажмите кнопку SEL/SET или поворотный переключатель.

Появится сообщение ожидания.

Примечание

Если выбранный файл содержит изменения настроек, для которых необходимо перезапустить видеокамеру, появится сообщение с запросом на разрешение перезапуска.

5 Чтобы выполнить вызов, выберите “Выпол.”, а затем нажмите кнопку SEL/SET или поворотный переключатель.

Чтобы отменить вызов, выберите “Отменить”, а затем нажмите кнопку SEL/SET или поворотный переключатель.

В процессе выполнения повторного вызова отображается сообщение о выполнении повторного вызова. После завершения повторного вызова появится сообщение о завершении, а настройки видеокамеры будут изменены на настройки из файла.

Примечание

Если носитель, пригодный для чтения, не установлен или на нем отсутствует соответствующий файл, появится сообщение об ошибке.

Сброс до значений по умолчанию

Текущие настройки видеокамеры, заданные через различные меню и кнопки, можно одновременно вернуть к стандартному состоянию (заводским настройкам), выбрав пункт “Все сбросить” в меню ПРОЧЕЕ.

Добавление и изменение пунктов меню сохранения файлов в установочном меню

Изменения в меню

Подменю “Дан. камеры” в меню ПРОЧЕЕ и меню Профиль изобр. изменены следующим образом.

В меню ПРОЧЕЕ добавлено подменю “Данные польз.”. Также в меню ПОЛЬЗОВАТЕЛЬ можно зарегистрировать пункты меню для сохранения/повторного вызова “Дан. камеры”/“Данные польз.”/“Данные РР”.

ПРОЧЕЕ		
Пункты меню	Подпункты и значения настройки	Содержание
Дан. камеры Сохранение/ повторный вызов настроек меню на карту памяти SxS или флэш- накопитель USB	Реж. отобр Дата&Время / Назв. модели	Выберите появившийся пункт в окне со списком во время сохранения или повторного вызова.
	Сохран.(SxS) Выпол. / Отменить	При выборе “Выпол.” для сохранения значений настройки на карту памяти SxS установочный файл сохраняется в одной из следующих директорий (можно сохранить до 64 файлов). Для UDF: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/ PMW_300/ Для exFAT: /XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/ XDCAM/PMW_300/ Для FAT: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/ PMW_300/
	Вызов(SxS) Выпол. / Отменить	Выберите “Выпол.”, чтобы считать значения настройки с карты памяти SxS.
	Сохран.(USB) Выпол. / Отменить	При выборе “Выпол.” для сохранения значений настройки на флэш-накопитель USB установочный файл сохраняется в следующей директории (можно сохранить до 64 файлов). /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/ PMW_300/
	Вызов(USB) Выпол. / Отменить	Выберите “Выпол.”, чтобы считать значения настройки с флэш-накопителя USB.
	Файл ID	Присваивает файлу имя длиной не более 16 символов.
Данные польз. Сохранение/ повторный вызов настроек меню ПОЛЬЗОВАТЕЛЬ на карту памяти SxS или флэш- накопитель USB	Сохран.(SxS) Выпол. / Отменить	При выборе “Выпол.” для сохранения значений настройки на карту памяти SxS файл пользователя сохраняется в одной из следующих директорий (можно сохранить до 64 файлов). Для UDF: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/ PMW_300/ Для exFAT: /XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/ XDCAM/PMW_300/ Для FAT: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/ PMW_300/
	Вызов(SxS) Выпол. / Отменить	Выберите “Выпол.”, чтобы считать файл пользователя с карты памяти SxS.
	Сохран.(USB) Выпол. / Отменить	При выборе “Выпол.” для сохранения значений настройки на флэш-накопитель USB файл пользователя сохраняется в следующей директории (можно сохранить до 64 файлов). /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/ PMW_300/
	Вызов(USB) Выпол. / Отменить	Выберите “Выпол.”, чтобы считать файл пользователя с флэш-накопителя USB.
	Файл ID	Присваивает файлу имя длиной не более 16 символов.
	Загр. данн. настр. Вкл / Выкл	Выберите вариант загрузки конфигурации меню и значений настройки (Вкл) или вариант загрузки только значений настройки (Выкл) при считывании файла пользователя.

PICTURE PROFILE SET		
Пункты	Подпункты и значения настройки	Содержание
Данные PP Запись/загрузка профиля изображения	Реж. отображ. Дата&Время / Назв. модели	Выберите появившийся пункт в окне со списком во время сохранения или загрузки.
	Сохран.(SxS) Выпол. / Отменить	Выберите “Выпол.”, чтобы сохранить профиль изображения на карту памяти SxS (можно сохранить до 64 файлов).
	Вызов(SxS) Выпол. / Отменить	Выберите “Выпол.”, чтобы загрузить профиль изображения с карты памяти SxS.
	Сохран.(USB) Выпол. / Отменить	Выберите “Выпол.”, чтобы сохранить профиль изображения на флэш-накопитель USB (можно сохранить до 64 файлов).
	Вызов(USB) Выпол. / Отменить	Выберите “Выпол.”, чтобы загрузить профиль изображения с флэш-накопителя USB.

Отключение назначенных настроек при заблокированном меню

Когда пункты установочного меню, перечисленные ниже, не зарегистрированы в меню ПОЛЬЗОВАТЕЛЬ и меню заблокировано, невозможно назначить действие пунктов меню для программируемых кнопок.

Пункты меню в установочном меню			Пункты меню, которые можно назначить для программируемых кнопок
НАСТР. КАМ.	Ручка масшт.		Ручка масшт.
	Непр.зап. кл.	Устан.	Непр. запись клипа
	Зап. кэша из.	Устан.	Кэш изображения
	TLCS	Реж.	Мест.осв.
			Задн.подсв.
LCD/VF SET	Зебра	Устан.	Зебра
	Контурн. кор.	Устан.	Контурн. кор.
	Маркер	Устан.	Маркер
	EVF	Реж.	Реж. Видоискателя
	Дисплей Вкл/Выкл	Отобр. ярк.	Яркость дисплея
		Отобр. гистогр.	Гистограмма
		Инф. об объект.	Инф. об объект.

Если вышеперечисленные функции назначены для программируемых кнопок, назначаемые настройки автоматически отключаются, когда меню заблокировано.

Примечание

Когда пункт “SEL” в меню Профиль изобр. не зарегистрирован в меню ПОЛЬЗОВАТЕЛЬ и меню заблокировано, выбор с помощью операций прямого меню отключен.

Функция переключения для цветовой температуры в балансе белого

При повторном вызове одного из профилей изображений (от PP1 до PP6, 6 типов), которые были зарегистрированы, можно переключить предустановленную цветовую температуру между 4 типами предустановок, заданных для “Предуст. Белого” в подменю “Белый” нажатием программируемой кнопки, для которой назначен параметр “Предустанов. баланса белого”.

Порядок задания предустановленной цветовой температуры

- 1 Нажмите кнопку PICTURE PROFILE.**
Появится меню Профиль изобр.
- 2 Выберите “SEL”, а затем профиль изображения (от PP1 до PP6).**
- 3 Выберите “SET”, а затем номер предустановки 1, 2, 3 или 4 для параметра “Выбор пред. бел.” в подменю “Белый”.**
- 4 Установите цветовую температуру для параметра “Предуст. Белого” в подменю “Белый”.**
Цветовая температура 1, 2, 3 или 4, выбранная для параметра “Выбор пред. бел.”, отобразится для параметра “Предуст. Белого”.
Настройка цветовой температуры 1, 2, 3 или 4, выбранная для параметра “Выбор пред. бел.”, по умолчанию выглядит следующим образом:
 - предустановка 1 выбрана для параметра “Выбор пред. бел.”: 3200K
 - предустановка 2 выбрана для параметра “Выбор пред. бел.”: 4300K
 - предустановка 3 выбрана для параметра “Выбор пред. бел.”: 5600K
 - предустановка 4 выбрана для параметра “Выбор пред. бел.”: 6300KЦветовую температуру можно устанавливать с шагом 100K.
- 5 После настройки цветовой температуры нажмите кнопку SEL/SET или поворотный переключатель.**
- 6 Повторите шаги с 3 по 5, чтобы установить цветовую температуру для других номеров предустановки.**

Порядок выполнения операций с помощью программируемой кнопки

- 1 Назначьте “Предустанов. баланса белого” для одной из программируемых кнопок от 1 до 5.**

2 Выберите режим с предварительной установкой с помощью переключателя WHITE BAL или применения Прямого меню.

Примечание

Если для параметра “Удал. сет. дос.” установлено значение “Вкл”, для режима регулировки баланса белого установлен режим запоминающего устройства А, и режим с предварительной установкой задать невозможно. Чтобы задать режим с предварительной установкой, задайте для параметра “Удал. сет. дос.” значение “Выкл”.

3 Нажмите программируемую кнопку, для которой назначен параметр “Предустанов. баланса белого”.

Настройки предустановленной цветовой температуры 4, заданные в разделе “Порядок задания предустановленной цветовой температуры”, переключаются при каждом нажатии программируемой кнопки.

Примечание

Предустановленную цветовую температуру нельзя переключить в следующих ситуациях.

- Когда для режима регулировки баланса белого установлен режим АТW, режим запоминающего устройства А, режим запоминающего устройства В или режим запоминающего устройства С
- Когда для “SEL” в меню “Профиль изобр.” установлено значение “Выкл”
- Во время воспроизведения, просмотра записи, отображения на уменьшенном экране, отображения цветных полос
- При выполнении АВВ, АWВ, М/матрица > Опред. Цвета, Цвет. кор. > Индик. обл., Дет. телесн. Тона > Обнар. обл., АРR, Auto FB, АWС или АBС

Дополнительные функции V1.5

Меню “Пользователь”

Можно зарегистрировать произвольные элементы меню из меню НАСТР. КАМ., НАСТР. ЗВУКА, НАСТР. В/СИГН., НАСТР. В/ИСК., УСТАН. ТС/UV, Файл ОБЪЕКТИВ, ПРОЧЕЕ и “Профиль изобр.” в меню “Пользователь”. Зарегистрируйте элементы с помощью меню НАСТР. МЕНЮ ПОЛЬЗ.

При заводских настройках по умолчанию меню “Пользователь” состоит из следующих элементов.

- Зап. ч/инт.
- Покадр.зап.
- Непр.зап.кл.
- Зап. кэша из.
- S&Q движ.
- Видео
- Назн. кнопка
- Клип
- Форм. носит.
- Настройки меню

Меню НАСТР. МЕНЮ ПОЛЬЗ.

Для редактирования меню “Пользователь” можно добавить или удалить элементы, а также изменить их положение, чтобы сделать меню “Пользователь” более удобным в использовании.

Можно выбирать любые элементы в каждом меню и добавлять их в меню “Пользователь”. В меню “Пользователь” можно зарегистрировать до 20 элементов. По умолчанию в меню “Пользователь” зарегистрировано 10 элементов.

Меню НАСТР. МЕНЮ ПОЛЬЗ. имеет следующую конфигурацию.

Элемент	Подэлемент	Параметр	Описание
Зарегистрированный элемент или пусто (нет элемента)	Вст. элем. ↑		Вставка элемента над выбранным элементом.
	Вс. подэл. ↑		Вставка подэлемента над выбранным подэлементом.
	Вст. элем. ↓		Вставка элемента под выбранным элементом.
	Вс. подэл. ↓		Вставка подэлемента под выбранным подэлементом.
	Измен. элем.	Удал. элем. Встав. подэлемент. Удал. подэлемент.	Редактирование зарегистрированного элемента или подэлемента. Удал. элем.: удаление элемента Встав. подэлемент.: вставка подэлемента Удал. подэлемент.: удаление подэлемента
Наст. Сброс		Выпол./Отм.	Восстановление для меню “Пользователь” заводских настроек по умолчанию (выберите Выпол.).

Примечание

Один элемент или подэлемент нельзя зарегистрировать дважды. Кроме того, нельзя изменить имя добавленного элемента или подэлемента.

Чтобы восстановить для меню “Пользователь” заводские настройки по умолчанию, выполните следующие действия

Выберите “Выпол.” в пункте “Наст. Сброс” меню НАСТР. МЕНЮ ПОЛЬЗ. и нажмите поворотный переключатель или кнопку SEL/SET.

Добавление элемента и всех соответствующих подэлементов

- Откройте меню НАСТР. МЕНЮ ПОЛЬЗ.**
Отобразятся текущие зарегистрированные элементы меню.
- Выберите положение, куда необходимо вставить элемент, затем нажмите поворотный переключатель или кнопку SEL/SET.**
- Выберите “Вст. элем. ↑” или “Вст. элем. ↓”, затем нажмите поворотный переключатель или кнопку SEL/SET.**
Вст. элем. ↑: вставка элемента над выбранным элементом.
Вст. элем. ↓: вставка элемента под выбранным элементом.
Отобразится список элементов, которые можно добавить.

- 4 Выберите элемент, который необходимо добавить, затем выберите “Выпол.” и нажмите поворотный переключатель или кнопку SEL/SET.**

Выбранный элемент и все соответствующие подэлементы будут вставлены в положение, указанное в шагах 2 и 3.

Добавление элемента и выбранного подэлемента

- 1 Откройте меню НАСТР. МЕНЮ ПОЛЬЗ.**

Отобразятся текущие зарегистрированные элементы меню.

- 2 Выберите положение, куда необходимо вставить элемент, затем нажмите поворотный переключатель или кнопку SEL/SET.**

- 3 Выберите “Вс. подэл. ↑” или “Вс. подэл. ↓”, затем нажмите поворотный переключатель или кнопку SEL/SET.**

Вс. подэл. ↑ : вставка подэлемента над выбранным элементом.

Вс. подэл. ↓ : вставка подэлемента под выбранным элементом.

Отобразится список элементов, которые можно добавить.

- 4 Выберите элемент, который необходимо добавить, затем нажмите поворотный переключатель или кнопку SEL/SET.**

Отобразится список подэлементов, которые можно добавить.

- 5 Выберите подэлемент, который необходимо добавить, затем выберите “Выпол.” и нажмите поворотный переключатель или кнопку SEL/SET.**

Выбранный элемент и подэлемент будут вставлены в положение, указанное в шагах 2 и 3.

Добавление подэлемента к существующему элементу

Примечание

Подэлемент всегда следует добавлять под элементом, который является родительским в исходном меню. Подэлемент не удастся вставить под неродительским элементом.

- 1 Откройте меню НАСТР. МЕНЮ ПОЛЬЗ.**

Отобразятся текущие зарегистрированные элементы меню.

- 2 Выберите элемент, для которого необходимо добавить подэлемент, затем нажмите поворотный переключатель или кнопку SEL/SET.**

- 3 Установите для параметра “Измен. элем.” значение “Встав. подэлемент.”.**

Отобразится список текущих зарегистрированных подэлементов для выбранного элемента.

- 4 Выберите положение, куда необходимо вставить подэлемент, выберите “Вс. подэл. ↑” или “Вс. подэл. ↓” и нажмите поворотный переключатель или кнопку SEL/SET.**

Вс. подэл. ↑ : вставка подэлемента над выбранным подэлементом.

Вс. подэл. ↓ : вставка подэлемента под выбранным подэлементом.

Отобразится список подэлементов, которые можно добавить.

- 5 Выберите подэлемент, который необходимо добавить, затем выберите “Выпол.” и нажмите поворотный переключатель или кнопку SEL/SET.

Выбранный подэлемент будет вставлен в положение, указанное в шаге 4.

Удаление элемента

- 1 Откройте меню НАСТР. МЕНЮ ПОЛЬЗ.
Отобразятся текущие зарегистрированные элементы меню.
- 2 Выберите элемент, который необходимо удалить, затем нажмите поворотный переключатель или кнопку SEL/SET.
- 3 Установите для параметра “Измен. элем.” значение “Удал. элем.”.
Выбранный элемент будет удален.

Удаление подэлемента

Примечание

Параметр “Тлк меню польз.” в пункте “Настройки меню” регистрируется по умолчанию, его не удастся удалить.

- 1 Откройте меню НАСТР. МЕНЮ ПОЛЬЗ.
Отобразятся текущие зарегистрированные элементы меню.
- 2 Выберите элемент, содержащий подэлемент, который необходимо удалить, затем нажмите поворотный переключатель или кнопку SEL/SET.
- 3 Установите для параметра “Измен. элем.” значение “Удал. подэлем.”.
Отобразится список подэлементов, которые можно удалить.
- 4 Выберите подэлемент, который необходимо удалить, затем нажмите поворотный переключатель или кнопку SEL/SET.
Выбранный подэлемент будет удален.

Блокировка и разблокировка меню

Можно заблокировать отображение меню настройки для отображения только меню “Пользователь”.

Блокировка меню

- 1 Нажмите кнопку MENU, удерживая нажатым поворотный переключатель.
- 2 Выберите “User Menu with Lock” в пункте “Настройки меню” меню ПРОЧЕЕ.

Примечания

- “Тлк меню польз.” в пункте “Настройки меню” изменится на “User Menu with Lock” при нажатии кнопки MENU и удерживании нажатым поворотного переключателя.
- “User Menu with Lock” не отображается в пункте “Настройки меню”, если отображается меню при нажатии только кнопки MENU.

- 3 Выберите “Вкл” и нажмите кнопку SEL/SET или поворотный переключатель.**
Отображение экрана видеискателя переключается на отображение экрана ввода пароля.
- 4 Введите пароль.**
Введите четырехзначный номер от 0000 до 9999 в качестве пароля. Значение по умолчанию: 0000.
При нажатии кнопки SEL/SET или поворотного переключателя после ввода цифры курсор переместится к следующей цифре.
После ввода всех цифр пароля курсор переместится на НАСТР.
- 5 Нажмите кнопку SEL/SET или поворотный переключатель.**
Ввод будет подтвержден.
Отобразится сообщение о завершении и откроется экран меню только с меню “Пользователь”.

Разблокировка меню

- 1 Нажмите кнопку MENU, удерживая нажатым поворотный переключатель.**
- 2 Выберите “User Menu with Lock” в пункте “Настройки меню” меню “Пользователь”.**

Примечания

- “Тлк меню польз.” в пункте “Настройки меню” изменится на “User Menu with Lock” при нажатии кнопки MENU и удерживании нажатым поворотного переключателя.
- “User Menu with Lock” не отображается в пункте “Настройки меню”, если отображается меню при нажатии только кнопки MENU.

- 3 Выберите “Выкл” и нажмите кнопку SEL/SET или поворотный переключатель.**
Отображение экрана видеискателя переключается на отображение экрана ввода пароля.
- 4 Введите пароль, зарегистрированный при блокировке меню, на экране ввода пароля.**
Введите четырехзначный номер от 0000 до 9999 в качестве пароля.
При нажатии кнопки SEL/SET или поворотного переключателя после ввода цифры курсор переместится к следующей цифре.
После ввода всех цифр пароля курсор переместится на НАСТР.
- 5 Нажмите кнопку SEL/SET или поворотный переключатель.**
Ввод будет подтвержден.
Если введен верный пароль, отобразится сообщение о разблокировке и откроется экран меню со всеми меню.

Примечания

- Если введен неверный пароль, не удастся снять блокировку.
- Пароль рекомендуется сохранить для использования в дальнейшем. Если вы забыли пароль, обратитесь к представителю службы по работе с клиентами Sony.

Изменения в меню

В меню ПРОЧЕЕ добавлен пункт “Настройки меню” в соответствии с добавлением меню “Пользователь”.

Ниже приведены значения параметра “Настройки меню”.

ПРОЧЕЕ		
Элементы меню	Подэлементы и настройка значений	Действие
Настройки меню	Меню “Прям.” Все / Часть / Выкл	Меню “Прям.” в меню ПРОЧЕЕ перемещено сюда.
Настройка функции меню	Прокр. меню Норм. / Цикл	Пункт “Прокр. меню” в меню ПРОЧЕЕ перемещен сюда.
	Тлк меню польз. Вкл / Выкл	Выберите для отображения только меню “Пользователь” (Вкл) или списка меню (Выкл).
	User Menu with Lock Вкл / Выкл	Выберите “Вкл” или “Выкл” для блокировки отображения меню и отображения только меню “Пользователь”. Вкл: блокировка отображения меню с помощью пароля (отображается только меню “Пользователь”). Выкл: разблокировка отображения меню после ввода пароля (отображается обычный список меню).
Примечание Этот элемент не отображается при нормальной работе. Сведения об управлении отображением меню см. в разделе “Блокировка и разблокировка меню” (стр. 112).		

Поддержка карты SDXC

Поддерживаются карты SDXC (только exFAT).

Использование дополнительного адаптера MEAD-SD02 позволяет устанавливать карту SDXC в гнездо для карты памяти SxS и использовать ее для записи и воспроизведения.

Для получения подробной информации об использовании адаптера MEAD-SD02 см. инструкции по эксплуатации, прилагаемые к соответствующему адаптеру.

Карты SDXC, которые можно использовать

Карта класса 10 SDXC

Примечания

- При использовании карты SDXC с данной видеокамерой ее необходимо отформатировать с помощью функции форматирования данной видеокамеры.
- Возможно, не удастся достичь надлежащего высокоскоростного воспроизведения при использовании карты SDXC.
- Карты SDXC можно использовать только в системе exFAT.
- Возможно, не удастся правильно выполнить запись в формате XAVC-I или запись с функцией замедленного/ускоренного воспроизведения в зависимости от используемой карты SDXC. Рекомендуется использовать карту памяти SxS.
- При использовании карты SDXC не используйте одновременно с ней карты памяти других типов. При одновременном использовании других типов носителей не удастся выполнить переключение на другой носитель, когда на этом носителе будет занято все место при записи.

- Карту SDXC, записанную с помощью видеокамеры серии PMW и PXW, возможно, не удастся использовать для записи и воспроизведения с определенными типами этого устройства. Для получения дополнительной информации обратитесь к дилеру Sony или представителю службы по работе с клиентами Sony.
- Не все карты памяти проверены для работы с этой видеокамерой. Для получения информации о поддерживаемых картах памяти обратитесь к своему дилеру.

Отображение состояния “Отдал.дост.Wi-Fi”

На экран состояния кнопок/удаленного доступа добавлено отображение настроек Wi-Fi>Отдал.дост.Wi-Fi в меню ПРОЧЕЕ.

Меню Wi-Fi

При подключении с помощью беспроводного адаптера CBK-WA100 можно задать значения Wi-Fi>Wi-Fi и Wi-Fi>Отдал.дост.Wi-Fi в меню ПРОЧЕЕ.

Дополнительные функции V1.4

Запись MPEG2 в режиме exFAT

Стал доступен формат записи MPEG2 в режиме exFAT помимо режима UDF. Доступные форматы MPEG2, которые можно выбрать в режиме exFAT, включают в себя следующие:

- HD422
- HD420 (HQ)
- DVCAM

Изменения в меню

Изменения пункта “Система” в меню ПРОЧЕЕ показаны далее.

- Добавлен элемент меню XAVC/MPEG2.
- Добавлены значения настройки пункта “Формат”

Для получения дополнительной информации см. следующую таблицу. (Значения по умолчанию выделены жирным шрифтом.)

Настраиваемые элементы	Значения настройки	Содержание
XAVC/MPEG2	XAVC MPEG2	Переключение форматов между XAVC/MPEG2 в режиме exFAT/HD.

Настраиваемые элементы	Значения настройки	Содержание
Формат	HD422 50/1080/59.94i HQ 1920x1080/59.94i HQ 1440x1080/59.94i HD422 50/1080/29.97P HQ 1920x1080/29.97P HQ 1440x1080/29.97P HD422 50/1080/23.98P HQ 1920x1080/23.98P HQ 1440x1080/23.98P HD422 50/720/59.94P HQ 1280x720/59.94P HD422 50/720/29.97P HD422 50/720/23.98P HQ 1280x720/23.98P	Выбираемые значения настройки для параметра Зона NTSC/exFAT/HD/MPEG2
	HD422 50/1080/50i HQ 1920x1080/50i HQ 1440x1080/50i HD422 50/1080/25P HQ 1920x1080/25P HQ 1440x1080/25P HD422 50/720/50P HQ 1280x720/50P HD422 50/720/25P	Выбираемые значения настройки для параметра Зона PAL/exFAT/HD/MPEG2
	DVCAM59.94i SQ DVCAM59.94i EC DVCAM29.97P SQ DVCAM29.97P EC	Выбираемые значения настройки для параметра Зона NTSC/exFAT/SD
	DVCAM50i SQ DVCAM50i EC DVCAM25P SQ DVCAM25P EC	Выбираемые значения настройки для параметра Зона PAL/exFAT/SD

О функции замедленного/ускоренного воспроизведения

Функция замедленного/ускоренного воспроизведения доступна даже в режиме exFAT/HD. Выбираемая частота кадров записи такая же, как в режиме UDF.

О входных/выходных сигналах для выбранных разъемов с помощью Wyb.SDI/HDMI/i.LINK I/O

Входные/выходные сигналы, выбираемые с помощью Wyb.SDI/HDMI/i.LINK I/O в режимах exFAT/HD и exFAT/SD такие же, как в режимах UDF/HD и UDF/SD, соответственно.

Примечания по дисплею оставшегося места на карте памяти

Дисплей оставшегося места на карте памяти на экране видискателя является приблизительным.

Фактическое оставшееся время может быть меньше отображаемого значения, так как на карте памяти имеются другие данные, кроме видео, например область управления.

Leia as seguintes instruções e as Instruções de operação (em formato PDF) gravadas no CD-ROM em anexo.

Funções adicionais da V1.6

Adição dos menus para armazenamento de arquivos

Você pode armazenar as configurações do menu de configuração em um cartão de memória SxS ou um pen drive USB (para o modo UDF ou exFAT).

Ao usar o arquivo armazenado, a condição de configuração adequada pode ser imediatamente obtida.

Nota

Os valores para “Ajust. Relóg.” e “Med. Hor.” do menu OUTROS não são armazenados.

Arquivo de configuração

Todas as configurações de menu (incluindo perfis de imagem) são armazenadas.

Até 64 arquivos podem ser armazenados em um cartão de memória SxS ou em um pen drive USB (para o modo UDF ou exFAT).

Os arquivos de configuração são armazenados usando o nome de arquivo “SETUP.SUF”, “SETUP002.SUF” - “SETUP064.SUF”.

Arquivo de usuário

Os itens de configuração personalizados do menu USUÁRIO e os dados de configuração são armazenados.

Até 64 arquivos podem ser armazenados em um cartão de memória SxS ou em um pen drive USB (para o modo UDF ou exFAT).

Ao recuperar o arquivo, você pode definir o menu USUÁRIO para a condição de configuração personalizada.

Os arquivos de usuário são armazenados usando o nome de arquivo “001.USER” - “064USER”.

Perfil de imagem

Os valores de configuração do perfil de imagem definidos para a cena de imagem são armazenados.

Até 5 arquivos podem ser armazenados na memória interna da câmera. Até 64 arquivos podem ser armazenados em um cartão de memória SxS ou em um pen drive USB (para o modo UDF ou exFAT).

Os perfis de imagem são armazenados usando o nome de arquivo “PPDATA.SUF”, “PPDATA002.SUF” - “PPDATA064.SUF”.

Armazenar o arquivo

1 Prepare a mídia para armazenar os arquivos.

Para usar um cartão de memória SxS

Insira um cartão de memória SxS em uma entrada de cartão.

Verifique se o ícone de cartão de memória correspondente é exibido na tela. Se um cartão de memória em outra entrada for selecionado, pressione o botão SLOT SELECT para mudar.

Para usar um pen drive USB

Ao usar um pen drive USB (para o modo UDF ou exFAT), conecte o pen drive USB formatado no conector de dispositivo externo.

2 Para os arquivos de configuração, selecione “Dad. CâM.” do menu OUTROS.

Selecione “Dados Usuário” do menu OUTROS para o arquivo de usuário.
Selecione “Dados PP” do menu PERFIL DE IMAGEM para o perfil de imagem.

Para nomear o arquivo armazenado

Nomeie o arquivo armazenado antes de prosseguir para a etapa 3.

Para obter detalhes, consulte “Nomear o arquivo armazenado”.

3 Para os arquivos de configuração, selecione “Armazenar(SxS)” ou “Armazenar(USB)” em “Dad. CâM.”.

Selecione “Armazenar(SxS)” ou “Armazenar(USB)” em “Dados Usuário” para o arquivo de usuário.

Selecione “Armazenar(SxS)” ou “Armazenar(USB)” em “Dados PP” para o perfil de imagem.

A caixa de lista dos arquivos é exibida.

A mensagem “Sem Arquivo” é exibida no número de arquivo no qual nenhum arquivo está armazenado.

Data, hora e nome do arquivo são exibidos no número de arquivo no qual um arquivo está armazenado.

4 Selecione o número de arquivo para armazenar o arquivo e, em seguida, pressione o botão SEL/SET ou o controlador.

Uma mensagem de espera é exibida.

Nota

Se no cartão de memória já existir um arquivo de configuração armazenado na etapa 3, será exibida uma mensagem para confirmar se o arquivo deve ou não ser substituído.

5 Para realizar o armazenamento, selecione “Executar” e, em seguida, pressione o botão SEL/SET ou o controlador.

Para cancelar o armazenamento, selecione “Cancelar” e, em seguida, pressione o botão SEL/SET ou o controlador.

Ao realizar o armazenamento, uma mensagem informando que o processo está em andamento é exibida durante a gravação. Quando a gravação estiver concluída, uma mensagem de conclusão será exibida.

Nota

Se a mídia gravável não estiver inserida ou não houver espaço suficiente na mídia, uma mensagem de erro será exibida.

Nomear o arquivo armazenado

Nomear o arquivo armazenado antes de armazenar os dados de configuração como arquivo auxilia na identificação de um arquivo.

Os seguintes caracteres podem ser usados para nomear.

Números, caracteres alfabéticos, caracteres especiais (! # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ~)

Nota

Os caracteres que podem ser usados para nomear o perfil de imagem são números caracteres alfabéticos, - (hífen), _ (sublinhado) e espaço.

1 Selecione “ID Arq.” em “Dad. CâM.” do menu OUTROS.

Selecione “ID Arq.” em “Dados Usuário” do menu OUTROS para o arquivo de usuário.

Selecione “Nome do Perfil” do menu PERFIL DE IMAGEM para o perfil de imagem.

- 2** Selecione o caractere usando o controlador ou os botões para cima/para baixo e, em seguida, pressione o botão SEL/SET ou o controlador.
- 3** Repita a etapa 2.
- 4** Depois de terminar de inserir os caracteres, mova o cursor para SEL usando o botão SEL/SET ou o controlador e, em seguida, selecione o botão SEL/SET ou o controlador.
O nome de entrada é exibido. Ao realizar a operação de armazenamento para o arquivo de configuração, os dados são armazenados com o nome de entrada.

Recuperar o arquivo

Nota

Se o arquivo armazenado em uma memória SxS ou pen drive USB (para o modo UDF ou exFAT) for recuperado, os dados de configuração que estão armazenados na memória interna da câmera são substituídos.

1 Prepare a mídia para armazenar os arquivos.

Para usar um cartão de memória SxS

Insira o cartão de memória SxS no qual o arquivo está armazenado em uma entrada de cartão. Verifique se o ícone de cartão de memória correspondente é exibido na tela. Se um cartão de memória em outra entrada for selecionado, pressione o botão SLOT SELECT para mudar.

Para usar um pen drive USB

Conecte o pen drive USB no qual os arquivos estão armazenados no conector de dispositivo externo.

2 Para arquivos de configuração, selecione “Dad. CâM.” do menu OUTROS.

Selecione “Dados Usuário” do menu OUTROS para o arquivo de usuário.

Selecione “Dados PP” do menu PERFIL DE IMAGEM para o perfil de imagem.

3 Para os arquivos de configuração, selecione “Chamar(SxS)” ou “Chamar(USB)” em “Dad. CâM.”.

Selecione “Chamar(SxS)” ou “Chamar(USB)” em “Dados Usuário” para o arquivo de usuário.

Selecione “Chamar(SxS)” ou “Chamar(USB)” em “Dados PP” para o perfil de imagem.

A caixa de lista dos arquivos é exibida.

A mensagem “Sem Arquivo” é exibida no número de arquivo no qual nenhum arquivo está armazenado.

Data, hora e nome do arquivo são exibidos no número de arquivo no qual um arquivo está armazenado.

4 Selecione o número de arquivo a ser recuperado e, em seguida, pressione o botão SEL/SET ou o controlador.

Uma mensagem de espera é exibida.

Nota

Se o arquivo selecionado incluir uma alteração de configuração que exija a reinicialização da câmera, a mensagem de permissão para reiniciar será exibida.

5 Para realizar a recuperação, selecione “Executar” e, em seguida, pressione o botão SEL/SET ou o controlador.

Para cancelar a recuperação, selecione “Cancelar” e, em seguida, pressione o botão SEL/SET ou o controlador.

Ao realizar a recuperação, uma mensagem informando que o processo está em andamento é exibida durante a recuperação. Quando a recuperação estiver concluída, uma mensagem de conclusão será exibida e a configuração da câmera será alterada para a configuração recuperada.

Nota

Se a mídia legível não estiver inserida ou não houver um arquivo correspondente na mídia, uma mensagem de erro será exibida.

Redefinir para os valores padrão

As configurações atuais da câmera que você definiu através de diversos menus e botões podem ser retornadas coletivamente para os status padrão (configuração de fábrica) executando “Redefinir Tudo” do menu OUTROS.

Adição e alteração dos itens de menu de armazenamento de arquivos no menu de configuração

Alterações no menu

“Dad. Câ.” no menu OUTROS e menu PERFIL DE IMAGEM foram alterados conforme mostrado a seguir.

“Dados Usuário” foram adicionados ao menu OUTROS. Você também pode registrar os itens de menu para armazenar/recuperar “Dad. Câ.”/“Dados Usuário”/“Dados PP” para o menu USUÁRIO.

OUTROS		
Itens de menu	Subitens e valores de configuração	Conteúdo
Dad. Câ. Armazenamento/ Recuperação das configurações de menu em um cartão de memória SxS ou pen drive USB	Modo Exibição Data&Hora / Nome Modelo	Selecione o item exibido na caixa de lista ao armazenar ou recuperar.
	Armazenar(SxS) Executar / Cancelar	Ao selecionar “Executar” para armazenar os valores de configuração em um cartão de memória SxS, o arquivo de configuração é armazenado em um dos seguintes diretórios (até 64 arquivos podem ser armazenados). Para UDF: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/ PMW_300/ Para exFAT: /XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/ XDCAM/PMW_300/ Para FAT: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PMW_300/
	Chamar(SxS) Executar / Cancelar	Selecione “Executar” para recuperar os valores de configuração de um cartão de memória SxS.
	Armazenar(USB) Executar / Cancelar	Ao selecionar “Executar” para armazenar os valores de configuração em um pen drive USB, o arquivo de configuração é armazenado no seguinte diretório (até 64 arquivos podem ser armazenados). /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	Chamar(USB) Executar / Cancelar	Selecione “Executar” para recuperar os valores de configuração de um pen drive USB.
	ID Arq.	Nomeia um arquivo usando até 16 caracteres.
Dados Usuário Armazenamento/ Recuperação das configurações do menu USUÁRIO em um cartão de memória SxS ou pen drive USB	Armazenar(SxS) Executar / Cancelar	Ao selecionar “Executar” para armazenar os valores de configuração em um cartão de memória SxS, o arquivo de usuário é armazenado em um dos seguintes diretórios (até 64 arquivos podem ser armazenados). Para UDF: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/ PMW_300/ Para exFAT: /XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/ XDCAM/PMW_300/ Para FAT: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PMW_300/
	Chamar(SxS) Executar / Cancelar	Selecione “Executar” para recuperar o arquivo de usuário de um cartão de memória SxS.
	Armazenar(USB) Executar / Cancelar	Ao selecionar “Executar” para armazenar os valores de configuração em um pen drive USB, o arquivo de usuário é armazenado no seguinte diretório (até 64 arquivos podem ser armazenados). /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	Chamar(USB) Executar / Cancelar	Selecione “Executar” para recuperar o arquivo de usuário de um pen drive USB.
	ID Arq.	Nomeia um arquivo usando até 16 caracteres.
	Car dados person Lig. / Desl.	Defina se devem ser carregados a configuração de menu e os valores de configuração (Lig.) ou se devem ser carregados apenas os valores de configuração (Desl.) ao recuperar o arquivo de usuário.

PICTURE PROFILE SET		
Itens	Subitens e valores de configuração	Conteúdo
Dados PP Gravação/ Carregamento de um perfil de imagem	Modo Exibição	Selecione o item exibido na caixa de lista que é exibida ao armazenar ou carregar.
	Data&Hora / Nome Modelo	
	Armazenar(SxS)	Selecione “Executar” para armazenar um perfil de imagem em um cartão de memória SxS (até 64 arquivos podem ser armazenados).
	Executar / Cancelar	
	Chamar(SxS)	Selecione “Executar” para carregar um perfil de imagem de um cartão de memória SxS.
	Executar / Cancelar	
	Armazenar(USB)	Selecione “Executar” para armazenar um perfil de imagem em um pen drive USB (até 64 arquivos podem ser armazenados).
	Executar / Cancelar	
	Chamar(USB)	Selecione “Executar” para carregar um perfil de imagem de um pen drive USB.
	Executar / Cancelar	

Configuração atribuível desativada quando o menu está bloqueado

Se o menu estiver bloqueado quando os itens do menu de configuração listados abaixo não estiverem registrados no menu USUÁRIO, a função do item de menu não poderá ser atribuída aos botões atribuíveis.

Itens do menu de configuração			Itens do menu que podem ser atribuídos aos botões atribuíveis
CONFIGURAÇÕES DA CÂMERA	ManusearZoom		ManusearZoom
	Gr. Co. Cl.	Config.	Gr. Contínua Clipe
	Gr. Ca. Im.	Config.	Cache de Imagem
	TLCS	Modo	Holofote
LCD/VF SET			Luz Fundo
	Zebra	Config.	Zebra
	Pico	Config.	Pico
	Marcador	Config.	Marcador
	EVF	Modo	Modo VF
	Painel Lig./Desl.	Exibição do Brilho	Exibição do Brilho
		Exibição Histograma	Histograma
		Informações Lente	Informações Lente

Se as funções listadas acima estiverem atribuídas aos botões atribuíveis, as configurações atribuíveis serão desativadas automaticamente quando o menu estiver bloqueado.

Nota

Se o menu estiver bloqueado quando “SEL” do menu PERFIL DE IMAGEM não estiver registrado no menu USUÁRIO, a seleção com a operação de menu direta será desativada.

Função de mudança da temperatura de cor da proporção de branco

Ao recuperar um dos perfis de imagem (PP1 a PP6, 6 tipos) registrados, você pode mudar a temperatura de cor predefinida a partir de 4 tipos de predefinições que são definidas em “Branco Pred.” em “Branco” pressionando o botão atribuível ao qual “Bal. Branco Pred.” está atribuído.

Para definir a temperatura de cor predefinida

1 Pressione o botão **PICTURE PROFILE**.

O menu **PERFIL DE IMAGEM** é exibido.

2 Selecione “SEL” e selecione o perfil de imagem (PP1 a PP6).

3 Selecione “SET” e selecione o número da predefinição 1, 2, 3 ou 4 em “Sel.Branco Pred.” em “Branco”.

4 Defina a temperatura de cor em “Branco Pred.” em “Branco”.

A temperatura de cor de 1, 2, 3 ou 4 selecionada em “Sel.Branco Pred.” é exibida em “Branco Pred.”. A configuração padrão da temperatura de cor para 1, 2, 3 ou 4 selecionada em “Sel.Branco Pred.” é a seguinte.

- 1 é selecionado para “Sel.Branco Pred.”: 3200K
- 2 é selecionado para “Sel.Branco Pred.”: 4300K
- 3 é selecionado para “Sel.Branco Pred.”: 5600K
- 4 é selecionado para “Sel.Branco Pred.”: 6300K

A temperatura de cor pode ser definida em intervalos de 100K.

5 Pressione o botão **SEL/SET** ou o controlador após definir a temperatura de cor.

6 Repita as etapas 3 a 5 para definir a temperatura de cor para outro número de predefinição.

Para operar usando o botão atribuível

1 Atribua “Bal. Branco Pred.” a um dos botões atribuíveis, 1 a 5.

2 Selecione o modo predefinido usando o interruptor **WHITE BAL** ou operando no menu **Atalho**.

Nota

Quando “Con. Rem. Rede” estiver definido para “Lig.”, o modo de ajuste para proporção de branco será definido para o modo Memória A e você não poderá definir o modo predefinido. Para definir o modo predefinido, defina “Con. Rem. Rede” para “Desl.”.

3 Pressione o botão atribuível ao qual “Bal. Branco Pred.” está atribuído.

As 4 configurações de temperatura de cor predefinida que são definidas em “Para definir a temperatura de cor predefinida” são alteradas sempre que o botão atribuível é pressionado.

Nota

- A temperatura de cor predefinida não pode ser alterada nas seguintes situações.
- Quando o modo de ajuste da proporção de branco está definido para o modo ATW, modo Memória A, Memória B ou modo Memória C
 - Quando “SEL” de “PERFIL DE IMAGEM” está definido para “Desl.”
 - Durante a reprodução, revisão de gravação, exibição da tela de miniaturas, exibição das barras de cores
 - Ao executar ABB, AWB, Matriz Múltipla > Detec. Cor, Correção de Cor > Indic. Área, Detalhe Tom Pele > Detec. Área, APR, Auto FB, AWS ou ABS

Funções adicionais da V1.5

Menu Usuário

Você pode registrar itens de menu arbitrários através dos menus CONFIGURAÇÕES DA CÂMERA, CONFIGURAÇÕES DE ÁUDIO, CONFIGURAÇÕES DE VÍDEO, CONFIGURAÇÕES DE VF, CONFIGURAÇÕES DE TC/UB, Arquivo LENTE, OUTROS e Perfil de Imagem no menu Usuário. Registre itens usando o menu PERSONALIZAR MENU DO USUÁRIO. O menu Usuário é composto dos seguintes itens quando está no estado padrão de fábrica.

- Gr. Interv.
- Gr. Quadros
- Gr. Co. Cl.
- Gr. Ca. Im.
- Mov S&Q
- Vídeo
- Bot. Atr.
- Clipe
- Form. Mf.
- Config. do menu

Menu PERSONALIZAR MENU DO USUÁRIO

Você pode editar o menu Usuário ao adicionar, apagar e reorganizar itens, tornando o menu Usuário mais conveniente para o seu uso. Você pode selecionar qualquer item em cada menu e adicioná-lo ao menu Usuário. É possível registrar até 20 itens no menu Usuário. Há 10 itens registrados no menu Usuário por padrão de fábrica.

A configuração do menu PERSONALIZAR MENU DO USUÁRIO é a seguinte:

Item	Subitem	Configuração	Descrição
Item registrado ou sem branco (sem item)	Ins item ↑		Inserir um item acima do item selecionado.
	Ins subitem ↑		Inserir um subitem acima do subitem selecionado.
	Ins item ↓		Inserir um item abaixo do item selecionado.
	Ins subitem ↓		Inserir um subitem abaixo do subitem selecionado.
	Edt item	Apag item Ins subitem Apag subitem	Edita um item ou subitem registrado. Apag item: Apaga o item Ins subitem: Insere o subitem Apag subitem: Apaga o subitem
Redef pers		Exec./Canc.	Restaura o menu Usuário ao estado de padrão de fábrica (selecione Exec.).

Nota

Não é possível registrar o mesmo item ou subitem duas vezes. Além disso, o nome do item ou subitem adicionado não pode ser alterado.

Para restaurar o menu Usuário ao estado de padrão de fábrica

Selecione “Exec.” em “Redef pers” do menu PERSONALIZAR MENU DO USUÁRIO e pressione o controlador ou o botão SEL/SET.

Adicionar um item e todos os subitens pertencentes

1 Mostrar o menu PERSONALIZAR MENU DO USUÁRIO.

Os itens de menu atualmente registrados são mostrados.

2 Selecione o item na posição na qual você deseja inserir um item e depois pressione o controlador ou o botão SEL/SET.

3 Selecione “Ins item ↑” ou “Ins item ↓”, depois pressione o controlador ou o botão SEL/SET.

Ins item ↑ : Inserir um item acima do item selecionado.

Ins item ↓ : Inserir um item abaixo do item selecionado.

Uma lista de itens que podem ser adicionados é mostrada.

4 Selecione o item que você deseja adicionar e depois selecione “Exec.” e pressione o controlador ou o botão SEL/SET.

O item selecionado e todos os subitens pertencentes são inseridos na posição especificada nas etapas 2 e 3.

Adicionar um item e o subitem selecionado

1 Mostrar o menu PERSONALIZAR MENU DO USUÁRIO.

Os itens de menu atualmente registrados são mostrados.

2 Selecione o item na posição na qual você deseja inserir um item e depois pressione o controlador ou o botão SEL/SET.

3 Selecione “Ins subitem ↑” ou “Ins subitem ↓”, depois pressione o controlador ou o botão SEL/SET.

Ins subitem ↑ : Inserir um subitem acima do item selecionado.

Ins subitem ↓ : Inserir um subitem abaixo do item selecionado.

Uma lista de itens que podem ser adicionados é mostrada.

4 Selecione o item que você deseja adicionar e depois pressione o controlador ou o botão SEL/SET.

Uma lista de subitens que podem ser adicionados é mostrada.

5 Selecione o subitem que você deseja adicionar e depois selecione “Exec.” e pressione o controlador ou o botão SEL/SET.

O item e o subitem selecionado são inseridos na posição especificada nas etapas 2 e 3.

Adicionar um subitem a um item existente

Nota

Um subitem sempre deve ser adicionado abaixo de um item que está em seu pai no menu de origem. Um subitem não pode ser inserido abaixo de um item que não é de origem.

- 1 Mostrar o menu PERSONALIZAR MENU DO USUÁRIO.**
Os itens de menu atualmente registrados são mostrados.
- 2 Selecione o item ao qual você deseja adicionar um subitem e depois pressione o controlador ou o botão SEL/SET.**
- 3 Defina “Edt Item” para “Ins subitem”.**
É mostrada uma lista dos subitens atualmente registrados para o item selecionado.
- 4 Selecione o subitem na posição na qual você deseja inserir um subitem, selecione “Ins subitem ↑” ou “Ins subitem ↓”, e pressione o controlador ou o botão SEL/SET.**
Ins subitem ↑ : Inserir um subitem acima do subitem selecionado.
Ins subitem ↓ : Inserir um subitem abaixo do subitem selecionado.
Uma lista de subitens que podem ser adicionados é mostrada.
- 5 Selecione o subitem que você deseja adicionar e depois selecione “Exec.” e pressione o controlador ou o botão SEL/SET.**
O subitem selecionado é inserido na posição especificada na etapa 4.

Apagar um item

- 1 Mostrar o menu PERSONALIZAR MENU DO USUÁRIO.**
Os itens de menu atualmente registrados são mostrados.
- 2 Selecione o item que você deseja apagar e depois pressione o controlador ou o botão SEL/SET.**
- 3 Defina “Edt Item” para “Apag item”.**
O item selecionado é apagado.

Apagar um subitem

Nota

“Apenas men usu” nas “Config. do menu” é reigstrado por padrão de fábrica e não pode ser apagado.

- 1 Mostrar o menu PERSONALIZAR MENU DO USUÁRIO.**
Os itens de menu atualmente registrados são mostrados.
- 2 Selecione o item que contém o subitem que você deseja apagar e depois pressione o controlador ou o botão SEL/SET.**
- 3 Defina “Edt Item” para “Apag subitem”.**
Uma lista de subitens que podem ser apagados é mostrada.

4 Selecione o subitem que você deseja apagar e depois pressione o controlador ou o botão SEL/SET.

O subitem selecionado é apagado.

Bloquear e desbloquear os menus

Você pode bloquear a exibição do menu de configuração para exibir apenas o menu Usuário.

Bloquear o menu

1 Pressione o botão MENU enquanto pressiona o controlador.

2 Selecione “User Menu with Lock” em “Config. do menu” do menu OUTROS.

Notas

- “Apenas men usu” nas “Config. do menu” muda para “User Menu with Lock” ao pressionar o botão MENU enquanto segura o controlador.
- “User Menu with Lock” não é mostrado nas “Config. do menu” quando o menu é mostrado pressionando apenas o botão MENU.

3 Selecione “Lig.” e pressione o botão SEL/SET ou o controlador.

A tela do localizador muda para a tela de inserção de senha.

4 Digite a senha.

Digite um número de quatro dígitos de 0000 a 9999 para a senha. A configuração padrão é 0000. Quando o botão SEL/SET ou o controlador são pressionados depois de um número ser inserido, o cursor segue para o próximo dígito.

Depois que todos os dígitos da senha são inseridos, o cursor segue para CONFIG.

5 Pressione o botão SEL/SET ou o controlador.

A inserção é confirmada.

A mensagem de conclusão aparece e a tela do menu com somente o menu Usuário é mostrada.

Desbloquear o menu

1 Pressione o botão MENU enquanto pressiona o controlador.

2 Selecione “User Menu with Lock” em “Config. do menu” do menu Usuário.

Notas

- “Apenas men usu” nas “Config. do menu” muda para “User Menu with Lock” ao pressionar o botão MENU enquanto segura o controlador.
- “User Menu with Lock” não é mostrado nas “Config. do menu” quando o menu é mostrado pressionando apenas o botão MENU.

3 Selecione “Desl.” e pressione o botão SEL/SET ou o controlador.

A tela do localizador muda para a tela de inserção de senha.

4 Digite a senha registrada ao bloquear o menu na tela de inserção de senha.

Digite um número de quatro dígitos de 0000 a 9999 para a senha.

Quando o botão SEL/SET ou o controlador são pressionados depois de um número ser inserido, o cursor segue para o próximo dígito.

Depois que todos os dígitos da senha são inseridos, o cursor segue para CONFIG.

5 Pressione o botão SEL/SET ou o controlador.

A inserção é confirmada.

Se a senha correta for inserida, uma mensagem de desbloqueio aparece e a tela do menu com o menu completo é mostrada.

Notas

- Se a senha incorreta for inserida, não é possível remover o bloqueio.
- É recomendado anotar a senha para referência futura. Caso esqueça a senha, entre em contato com um representante de atendimento da Sony.

Mudanças no menu

As Config. do menu são adicionadas ao menu OUTROS de acordo com a adição do menu Usuário.

Os itens das Config. do menu são:

OUTROS		
Itens de menu	Valores de configuração e subitens	Conteúdo
Config. do menu Configuração de função do menu	Menu Atalho Tudo / Parte / Desl.	Menu Atalho no menu OUTROS é movido para aqui.
	Rol. Menu Normal / Volta	Rol. Menu no menu OUTROS é movido para aqui.
	Apenas men usu Lig. / Desl.	Selecione para mostrar apenas o menu Usuário (Lig.) ou lista de menu (Desl.).
	User Menu with Lock Lig. / Desl.	Selecione Lig. ou Desl. para bloquear a exibição de menu e mostrar apenas o menu Usuário. Lig.: bloquear a exibição de menu digitando uma senha (só o menu Usuário é mostrado). Desl.: desbloqueie a exibição de menu inserindo a senha (a lista de menu normal é mostrada).
Nota Esse item não é mostrado pela operação normal. Para operar a exibição de menu, consulte “<i>Bloquear e desbloquear os menus</i>” (página 128).		

Suporte a cartões SDXC

Há suporte para cartões SDXC. (apenas no formato exFAT)

O uso do Adaptador de mídia MEAD-SD02 opcional permite que você insira um cartão SDXC na entrada de cartão de memória SxS e usá-lo para gravação e reprodução.

Para obter detalhes sobre como usar o Adaptador de mídia MEAD-SD02, consulte as instruções operacionais fornecidas com o respectivo adaptador.

Cartões SDXC compatíveis

Cartão classe 10 SDXC

Notas

- Ao usar um cartão SDXC com essa câmera gravadora, ele deve ser formatado usando a função de formatação da câmera.
- Pode não ser possível obter uma reprodução de alta velocidade com um cartão SDXC.
- Cartões SDXC só podem ser usados no formato exFAT.
- Pode não ser possível gravar com o formato XAVC-I ou Movimento lento e rápido corretamente dependendo do cartão SDXC. Recomenda-se um cartão de memória SxS.

- Ao usar um cartão SDXC, não use outros tipos de cartões de memória simultaneamente. Se você usar outros tipos de mídia simultaneamente, pode não ser possível alternar para outra mídia quando uma das mídias não possuir espaço para gravação.
- Um cartão SDXC gravado com a câmera da série PMW e PXW pode não ser usado para gravação e reprodução com essa unidade dependendo do tipo de unidade usado. Para obter detalhes, entre em contato com um revendedor Sony ou um representante Sony.
- Nem todos os cartões de memória foram verificados quanto ao funcionamento com essa câmera gravadora. Para obter uma lista de cartões de memória compatíveis, entre em contato com um revendedor.

Exibição de status do Cont. Rem. Wi-Fi

Wi-Fi>A exibição de configuração de Cont. Rem. Wi-Fi abaixo do menu OUTROS é adicionada à tela Status botão/remoto.

Menu Wi-Fi

Ao conectar-se através do adaptador sem fio CBK-WA100, você pode definir Wi-Fi>Wi-Fi e Wi-Fi>Cont. Rem. Wi-Fi abaixo do menu OUTROS.

Funções adicionais da V1.4

Gravação MPEG2 em modo exFAT

O formato de gravação MPEG2 tornou-se disponível em modo exFAT além do modo UDF. O formatos selecionáveis MPEG2 disponíveis em modo exFAT são mostrados abaixo:

- HD422
- HD420 (HQ)
- DVCAM

Mudanças no menu

As mudanças em “Sistema” no menu OUTROS são mostradas abaixo:

- Adicionou o item de menu XAVC/MPEG2
- Adicionou os valores de ajuste de “Form.”

Para mais detalhes, consulte a tabela a seguir. (Os valores padrão estão em negrito.)

Itens de ajuste	Valores de ajuste	Conteúdo
XAVC/MPEG2	XAVC MPEG2	Altere o formato entre XAVC/MPEG2 no modo exFAT/HD.

Itens de ajuste	Valores de ajuste	Conteúdo
Form.	HD422 50/1080/59.94i HQ 1920x1080/59.94i HQ 1440x1080/59.94i HD422 50/1080/29.97P HQ 1920x1080/29.97P HQ 1440x1080/29.97P HD422 50/1080/23.98P HQ 1920x1080/23.98P HQ 1440x1080/23.98P HD422 50/720/59.94P HQ 1280x720/59.94P HD422 50/720/29.97P HD422 50/720/23.98P HQ 1280x720/23.98P	Valores de ajuste selecionáveis para Área NTSC/exFAT/HD/MPEG2
	HD422 50/1080/50i HQ 1920x1080/50i HQ 1440x1080/50i HD422 50/1080/25P HQ 1920x1080/25P HQ 1440x1080/25P HD422 50/720/50P HQ 1280x720/50P HD422 50/720/25P	Valores de ajuste selecionáveis para Área PAL/exFAT/HD/MPEG2
	DVCAM59.94i SQ DVCAM59.94i EC DVCAM29.97P SQ DVCAM29.97P EC	Valores de ajuste selecionáveis para Área NTSC/exFAT/SD
	DVCAM50i SQ DVCAM50i EC DVCAM25P SQ DVCAM25P EC	Valores de ajuste selecionáveis para Área PAL/exFAT/SD

Sobre a função de movimento rápido & lento

A função rápido & lento está disponível mesmo no modo exFAT/HD. A taxa de quadros de gravação selecionável é a mesma que no modo UDF.

Sobre os sinais de entrada/saída para os conectores selecionados com Sel. SDI/HDMI/i.LINK I/O

Os sinais de entrada/saída para os conectores selecionáveis com Sel. SDI/HDMI/i.LINK I/O nos modos exFAT/HD e exFAT/SD são os mesmos que aqueles nos modos UDF/HD e UDF/SD respectivamente.

Observações sobre a exibição de espaço restante de um cartão de memória

A exibição de espaço restante de um cartão de memória na tela do localizador é uma indicação bruta. O tempo restante real pode ser inferior àquele mostrado já que o cartão de memória possui dados além de vídeos, como a área de gerenciamento.

Bacalah petunjuk di bawah ini dan Operating Instructions atau Petunjuk Pengoperasian (format PDF) yang disimpan dalam CD-ROM.

Fungsi-fungsi tambahan V1.6

Menambahkan menu untuk penyimpanan berkas

Anda dapat menyimpan pengaturan menu konfigurasi pada kartu memori SxS atau USB flash drive (untuk Modus UDF atau exFAT).

Dengan menggunakan berkas yang disimpan, kondisi konfigurasi yang sesuai bisa segera didapatkan.

Catatan

Nilai untuk "Set Waktu" dan "Meter Jam" di menu LAINNYA tidak disimpan.

Berkas konfigurasi

Semua pengaturan menu (termasuk profil gambar) disimpan.

Jumlah berkas yang dapat disimpan pada kartu memori SxS atau USB flash drive (untuk Modus UDF atau exFAT) adalah hingga 64 berkas.

Berkas konfigurasi disimpan menggunakan nama berkas "SETUP.SUF," "SETUP002.SUF" - "SETUP064.SUF."

Berkas pengguna

Item pengaturan yang disesuaikan pada menu PENGGUNA dan data pengaturan disimpan.

Jumlah berkas yang dapat disimpan pada kartu memori SxS atau USB flash drive (untuk Modus UDF atau exFAT) adalah hingga 64 berkas.

Dengan mengambil berkas, Anda dapat mengatur menu PENGGUNA ke kondisi konfigurasi yang disesuaikan.

Berkas pengguna disimpan menggunakan nama berkas "001.USER" - "064USER."

Profil gambar

Nilai pengaturan profil gambar yang diatur untuk scene yang dicitrakan disimpan.

Jumlah berkas yang dapat disimpan pada memori internal camcorder adalah hingga 5 file. Jumlah berkas yang dapat disimpan pada kartu memori SxS atau USB flash drive (untuk Modus UDF atau exFAT) adalah hingga 64 berkas.

Profil gambar disimpan menggunakan nama berkas "PPDATA.SUF," "PPDATA002.SUF" - "PPDATA064.SUF."

Menyimpan berkas

1 Siapkan media untuk menyimpan berkas.

Untuk menggunakan kartu memori SxS

Masukkan kartu memori SxS ke slot kartu.

Pastikan bahwa ikon kartu memori yang sesuai ditampilkan pada layar. Jika kartu memori di slot lainnya dipilih, tekan tombol SLOT SELECT untuk beralih.

Untuk menggunakan USB flash drive

Saat menggunakan USB flash drive (untuk Modus UDF atau exFAT), sambungkan USB yang diformat ke konektor perangkat eksternal.

2 Untuk berkas konfigurasi, pilih "Data Kamera" pada menu LAINNYA.

Pilih "Data Pengguna" dari menu LAINNYA untuk berkas Pengguna.

Pilih "Data PP" dari menu PICTURE PROFILE untuk profil gambar.

Untuk memberi nama berkas yang disimpan

Beri nama berkas yang disimpan sebelum melanjutkan ke langkah 3.

Untuk informasi selengkapnya, lihat "Memberi nama berkas yang disimpan".

3 Untuk berkas konfigurasi, pilih "Simpan(SxS)" atau "Simpan(USB)" di "Data Kamera."

Pilih "Simpan(SxS)" atau "Simpan(USB)" di "Data Pengguna" untuk berkas Pengguna.

Pilih "Simpan(SxS)" atau "Simpan(USB)" di "Data PP" untuk profil gambar.

Kotak daftar berkas muncul.

"Tidak Ada Berkas" ditampilkan pada nomor berkas yang tidak tersimpan berkas sama sekali.

Tanggal, waktu, dan nama berkas disimpan pada nomor berkas yang di dalamnya tersimpan suatu berkas.

4 Pilih nomor berkas yang menjadi nomor penyimpanan berkas, lalu tekan tombol SEL/SET atau jog dial.

Pesan menunggu ditampilkan.

Catatan

Jika berkas konfigurasi sudah terdapat di dalam kartu memori yang Anda simpan pada Langkah 3, pesan untuk mengonfirmasi apakah akan menimpa berkas ditampilkan.

5 Untuk melakukan penyimpanan, pilih "Eksekusi," lalu tekan tombol SEL/SET atau jog dial.

Untuk membatalkan penyimpanan, pilih "Batalkan," lalu tekan tombol SEL/SET atau jog dial.

Saat melakukan penyimpanan, pesan sedang berlangsung ditampilkan saat sedang menulis. Saat penulisan selesai, pesan penyelesaian ditampilkan.

Catatan

Jika media yang dapat ditulis tidak dimasukkan atau ruang di media tidak memadai, pesan kesalahan akan ditampilkan.

Memberi nama berkas yang disimpan

Memberi nama berkas yang disimpan sebelum menyimpan data pengaturan sebagai berkas berguna untuk mengidentifikasi berkas tertentu.

Karakter berikut dapat digunakan untuk memberikan nama.

Nomor, alfabet, karakter khusus (! # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ~)

Catatan

Karakter yang dapat digunakan untuk memberi nama profil gambar adalah angka, alfabet, - (tanda hubung), _ (garis bawah), dan spasi.

1 Pilih "ID Berkas" di "Data Kamera" dari menu LAINNYA.

Pilih "ID Berkas" di "Data Pengguna" dari menu LAINNYA untuk berkas Pengguna.

Pilih "Nama Profil" dari menu PICTURE PROFILE untuk profil gambar.

2 Pilih karakter tersebut dengan jog dial atau tombol naik/turun, lalu tekan tombol SEL/SET atau jog dial.

3 Ulangi langkah 2.

4 Setelah selesai memasukkan karakter, pindahkan kursor ke SEL dengan menggunakan tombol SEL/SET atau jog dial, lalu tekan tombol SEL/SET atau jog dial.

Nama input ditampilkan. Saat melakukan operasi penyimpanan untuk berkas konfigurasi, data ini disimpan dengan nama input.

Mengambil berkas

Catatan

Jika berkas yang disimpan pada memori SxS atau USB flash drive (untuk Modus UDF atau exFAT) diambil, data konfigurasi yang disimpan di memori internal camcorder akan ditimpa.

1 Siapkan media untuk menyimpan berkas.

Untuk menggunakan kartu memori SxS

Masukkan kartu memori SxS di mana berkasnya disimpan ke slot kartu.

Pastikan bahwa ikon kartu memori yang sesuai ditampilkan pada layar. Jika kartu memori di slot lainnya dipilih, tekan tombol SLOT SELECT untuk beralih.

Untuk menggunakan USB flash drive

Sambungkan USB flash drive di mana berkasnya disimpan ke konektor perangkat eksternal.

2 Untuk berkas konfigurasi, pilih "Data Kamera" pada menu LAINNYA.

Pilih "Data Pengguna" dari menu LAINNYA untuk berkas Pengguna.

Pilih "Data PP" dari menu PICTURE PROFILE untuk profil gambar.

3 Untuk berkas konfigurasi, pilih "Panggil(SxS)" atau "Panggil(USB)" di "Data Kamera."

Pilih "Panggil(SxS)" atau "Panggil(USB)" di "Data Pengguna" untuk berkas Pengguna.

Pilih "Panggil(SxS)" atau "Panggil(USB)" di "Data PP" untuk profil gambar.

Kotak daftar berkas muncul.

"Tidak Ada Berkas" ditampilkan pada nomor berkas yang tidak tersimpan berkas sama sekali.

Tanggal, waktu, dan nama berkas disimpan pada nomor berkas yang di dalamnya tersimpan suatu berkas.

4 Pilih nomor berkas yang akan dimuat kembali, lalu tekan tombol SEL/SET atau jog dial.

Pesan menunggu ditampilkan.

Catatan

Jika berkas yang dipilih mencakup perubahan pengaturan yang mensyaratkan agar camcorder dinyalakan ulang, pesan untuk izin menyalakan ulang ditampilkan.

5 Untuk mengeksekusi pemuatan kembali, pilih "Eksekusi," lalu tekan tombol SEL/SET atau jog dial.

Untuk membatalkan pemuatan kembali, pilih "Batalkan," lalu tekan tombol SEL/SET atau jog dial.

Saat melakukan pemuatan kembali, pesan sedang berlangsung ditampilkan saat sedang memuat kembali. Saat pemuatan kembali selesai, pesan penyelesaian ditampilkan dan pengaturan camcorder diubah sesuai pengaturan yang dimuat ulang.

Catatan

Jika media yang dapat dibaca tidak dimasukkan atau tidak ada berkas yang sesuai pada media, pesan kesalahan akan ditampilkan.

Merest nilai standar

Pengaturan camcorder saat ini yang Anda buat melalui berbagai menu dan operasi tombol bisa dikembalikan ke status standar secara bersama-sama (pengaturan pabrik) dengan mengeksekusi "Reset Semua" di menu LAINNYA.

Menambahkan dan mengubah item menu penyimpanan berkas di menu konfigurasi

Perubahan di Menu

"Data Kamera" di menu LAINNYA dan menu Profil Gambar sudah diganti sebagai berikut.

"Data Pengguna" sudah ditambahkan ke menu LAINNYA. Anda juga dapat mendaftarkan item menu untuk menyimpan/memuat ulang "Data Kamera"/"Data Pengguna"/"Data PP", ke menu PENGGUNA.

LAINNYA		
Item Menu	Subitem dan nilai pengaturan	Isi
Data Kamera Menyimpan/ memuat kembali pengaturan menu ke kartu memori SxS atau USB flash drive	ModusLayar Tgl&Waktu / Nama Model	Pilih item yang ditampilkan pada kotak daftar saat menyimpan atau memuat ulang.
	Simpan(SxS) Eksekusi / Batalkan	Bila Anda memilih "Eksekusi" untuk menyimpan nilai pengaturan ke kartu memori SxS, berkas setup akan disimpan ke salah satu direktori berikut (jumlah berkas yang dapat disimpan adalah hingga 64). Untuk UDF: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/ PMW_300/ Untuk exFAT: /XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/ XDCAM/PMW_300/ Untuk FAT: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/ PMW_300/
	Panggil(SxS) Eksekusi / Batalkan	Pilih "Eksekusi" untuk mendapatkan kembali nilai pengaturan dari kartu memori SxS.
	Simpan(USB) Eksekusi / Batalkan	Bila Anda memilih "Eksekusi" untuk menyimpan nilai pengaturan ke USB flash drive, berkas setup akan disimpan ke direktori berikut (jumlah berkas yang dapat disimpan adalah hingga 64). /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	Panggil(USB) Eksekusi / Batalkan	Pilih "Eksekusi" untuk mendapatkan kembali nilai pengaturan dari USB flash drive.
	ID Berkas	Memberi nama berkas dengan hingga 16 karakter.

LAINNYA		
Item Menu	Subitem dan nilai pengaturan	Isi
Data Pengguna Menyimpan/ memuat kembali pengaturan menu PENGGUNA ke kartu memori SxS atau USB flash drive	Simpan(SxS) Eksekusi / Batalkan	Bila Anda memilih "Eksekusi" untuk menyimpan nilai pengaturan ke kartu memori SxS, berkas konfigurasi akan disimpan ke salah satu direktori berikut (jumlah berkas yang dapat disimpan adalah hingga 64). Untuk UDF: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/ PMW_300/ Untuk exFAT: /XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/ XDCAM/PMW_300/ Untuk FAT: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/ PMW_300/
	Panggil(SxS) Eksekusi / Batalkan	Pilih "Eksekusi" untuk mengambil berkas Pengguna dari kartu memori SxS.
	Simpan(USB) Eksekusi / Batalkan	Bila Anda memilih "Eksekusi" untuk menyimpan nilai pengaturan ke USB flash drive, berkas Pengguna akan disimpan ke direktori berikut (jumlah berkas yang dapat disimpan adalah hingga 64). /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_300/
	Panggil(USB) Eksekusi / Batalkan	Pilih "Eksekusi" untuk mengambil berkas Pengguna dari USB flash drive.
	ID Berkas	Memberi nama berkas dengan hingga 16 karakter.
	Muat Data Kustomisasi On / Off	Pilih apakah akan memuat konfigurasi menu dan nilai pengaturan (On) atau memuat nilai pengaturan saja (Off) saat mengambil berkas Pengguna.

PICTURE PROFILE SET		
Item	Subitem dan nilai pengaturan	Isi
Data PP Menulis/memuat profil gambar	ModusLayar Tgl&Waktu / Nama Model	Pilih item yang ditampilkan di kotak daftar yang muncul saat menyimpan atau memuat.
	Simpan(SxS) Eksekusi / Batalkan	Pilih "Eksekusi" untuk menyimpan profil gambar pada kartu memori SxS (berkas yang dapat disimpan adalah hingga 64).
	Panggil(SxS) Eksekusi / Batalkan	Pilih "Eksekusi" untuk memuat profil gambar dari kartu memori SxS.
	Simpan(USB) Eksekusi / Batalkan	Pilih "Eksekusi" untuk menyimpan profil gambar pada USB flash drive (berkas yang dapat disimpan adalah hingga 64).
	Panggil(USB) Eksekusi / Batalkan	Pilih "Eksekusi" untuk memuat profil gambar dari USB flash drive.

Menonaktifkan pengaturan assignable saat menu dikunci

Jika menu dikunci saat item menu dari menu setup yang tercantum di bawah ini tidak terdaftar ke menu PENGGUNA, fungsi item menu tidak dapat ditetapkan ke tombol assignable.

Item menu dari menu konfigurasi		Item menu yang dapat ditetapkan ke tombol assignable
SET KAMERA	Tangani Zoom	Tangani Zoom
	Rek Klip Trus Atur	Rek. Klip Terusan
	Rek P.Cache Atur	Cache Gbr.
	TLCS Modus	Chaya Sort Chaya Latr
LCD/VF SET	Zebra Atur	Zebra
	Puncak Atur	Puncak
	Penanda Atur	Penanda
	EVF Modus	Modus VF
	Layar On/Off	Layar Kecerahan Layar BRT
		Layar Histogram Histogram
		Info Lensa Info Lensa

Jika fungsi yang tercantum di atas ditetapkan ke tombol assignable, pengaturan assignable diatur ke off secara otomatis saat menu dikunci.

Catatan

Jika menu dikunci saat "SEL" dari menu PICTURE PROFILE tidak terdaftar ke menu PENGGUNA, pemilihan dengan operasi menu langsung dinonaktifkan.

Mengalihkan fungsi untuk suhu warna keseimbangan putih

Saat memuat kembali salah satu profil gambar (PP1 hingga PP6, 6 jenis) yang terdaftar, Anda dapat mengalihkan suhu warna preset dari 4 jenis preset yang ditetapkan pada "Putih Preset" di "Putih" dengan menekan tombol assignable yang ditetapkan ke "Preset WB".

Untuk mengatur suhu warna preset

- 1 Tekan tombol PICTURE PROFILE.**
Menu PICTURE PROFILE muncul.
- 2 Pilih "SEL," lalu pilih profil gambar (PP1 hingga PP6).**
- 3 Pilih "SET," lalu pilih nomor preset 1, 2, 3, atau 4 pada "Sel Putih Prset" di "Putih."**

4 Atur suhu warna pada "Putih Preset" di "Putih."

Suhu warna 1, 2, 3, atau 4 yang dipilih pada "Sel Putih Prset" ditampilkan pada "Putih Preset." Pengaturan default suhu warna untuk 1, 2, 3, atau 4 yang dipilih pada "Sel Putih Prset" adalah sebagai berikut.

- 1 dipilih untuk "Sel Putih Prset": 3200K
 - 2 dipilih untuk "Sel Putih Prset": 4300K
 - 3 dipilih untuk "Sel Putih Prset": 5600K
 - 4 dipilih untuk "Sel Putih Prset": 6300K
- Suhu warna dapat diatur dengan kelipatan 100K.

5 Tekan tombol SEL/SET atau jog dial setelah mengatur suhu warna.

6 Ulangi langkah 3 hingga 5 untuk mengatur suhu warna untuk nomor preset lain.

Untuk melakukan operasi dengan tombol assignable

1 Tetapkan "Preset WB" ke salah satu tombol assignable 1 hingga 5.

2 Pilih modus preset dengan menggunakan sakelar WHITE BAL atau melakukan pengoperasian pada menu Langsung.

Catatan

Jika "Remote Jaringan" diatur ke "On," modus penyetelan untuk keseimbangan putih diatur ke modus Memori A dan Anda tidak dapat mengaturnya ke modus preset. Untuk mengaturnya ke modus preset, atur "Remote Jaringan" ke "Off."

3 Tekan tombol assignable yang ditetapkan ke "Preset WB".

4 pengaturan suhu warna preset yang ditetapkan pada "Untuk mengatur suhu warna preset" dialihkan setiap kali Anda menekan tombol assignable tersebut.

Catatan

Suhu warna preset tidak dapat dialihkan dalam situasi berikut ini.

- Jika modus penyetelan untuk keseimbangan putih diatur ke modus ATW, modus Memori A, modus Memori B, atau modus Memori C
- Jika "SEL" pada "PICTURE PROFILE" diatur ke "Off"
- Selama pemutaran, Pratampil Rek, yang menampilkan layar thumbnail, menampilkan bilah warna
- Saat melakukan ABB, AWB, Matriks Multi > Deteksi Warna, Koreksi Warna > Indikasi Area, Detil Warna Kulit > Deteksi Area, APR, FB Oto, AWS, atau ABS

Fungsi-fungsi tambahan V1.5

Menu Pengguna

Anda bisa mendaftarkan sembarang item menu dari menu SET KAMERA, SET AUDIO, SET VIDEO, SET VF, SET TC/UB, Berkas LENSEA, LAINNYA, dan Profil Gambar di dalam menu Pengguna.

Daftarkan item dengan menggunakan menu KUSTOM. MENU PENGGUNA.

Menu Pengguna terdiri dari item berikut saat dalam status default pabrik.

- Rek. Interv.
- Rek. Frame
- Rek Klp Trus
- Rek P.Cache
- Grkan S&Q

- Video
- Tmbol Ttpkan
- Klip
- Format Media
- Pengaturan Menu

Menu KUSTOM. MENU PENGGUNA

Anda bisa mengedit menu Pengguna dengan menambah item, menghapus item, dan menyusun ulang item, agar menu Pengguna lebih mudah digunakan.

Anda bisa memilih sembarang item di masing-masing menu dan menambahkannya ke menu Pengguna. Hingga 20 item bisa didaftarkan di menu Pengguna. Ada 10 item yang terdaftar di menu Pengguna menu berdasarkan pengaturan default pabrik.

Konfigurasi menu KUSTOM. MENU PENGGUNA adalah sebagai berikut:

Item	Subitem	Pengaturan	Deskripsi
Item terdaftar atau kosong (tidak ada item)	Ssipkn Itm ↑		Menyisipkan item di atas item yang dipilih.
	Ssipkn SubItm ↑		Menyisipkan subitem di atas subitem yang dipilih.
	Ssipkn Itm ↓		Menyisipkan item di bawah item yang dipilih.
	Ssipkn SubItm ↓		Menyisipkan sub-item di bawah sub-item yang dipilih.
	Edit Itm	Hps Itm Ssipkn SubItm Hps SubItm	Mengedit item atau sub-item yang terdaftar. Hps Itm: Menghapus item Ssipkn SubItm: Menyisipkan sub-item Hps SubItm: Menghapus sub-item
Reset Kustom		Eksekusi/Batalakan	Memulihkan menu Pengguna ke status default pabrik (pilih Eksekusi).

Catatan

Item atau subitem yang sama tidak bisa didaftarkan dua kali. Selain itu, nama item atau subitem yang ditambahkan tidak bisa diubah.

Untuk memulihkan menu Pengguna ke status default pabrik

Pilih "Eksekusi" di "Reset Kustom" menu KUSTOM. MENU PENGGUNA dan tekan jog dial atau tombol SEL/SET.

Menambah item dan semua subitem di dalamnya

1 Tampilkan menu KUSTOM. MENU PENGGUNA.

Item menu yang saat ini terdaftar akan ditampilkan.

2 Pilih item di posisi Anda ingin menyisipkan item, lalu tekan jog dial atau tombol SEL/SET.

3 Pilih "Ssipkn Itm ↑" atau "Ssipkn Itm ↓," lalu tekan jog dial atau tombol SEL/SET.

Ssipkn Itm ↑ : Menyisipkan item di atas item yang dipilih.

Ssipkn Itm ↓ : Menyisipkan item di bawah item yang dipilih.

Daftar item yang bisa ditambahkan ditampilkan.

4 Pilih item yang ingin ditambahkan, lalu pilih "Eksekusi" dan tekan jog dial atau tombol SEL/SET.

Item yang dipilih dan semua subitem di dalamnya disisipkan di posisi yang ditentukan pada langkah 2 dan 3.

Menambah item dan subitem yang dipilih

- 1 Tampilkan menu KUSTOM. MENU PENGGUNA.**
Item menu yang saat ini terdaftar akan ditampilkan.
- 2 Pilih item di posisi Anda ingin menyisipkan item, lalu tekan jog dial atau tombol SEL/SET.**
- 3 Pilih "Ssipkn SubItm ↑" atau "Ssipkn SubItm ↓," lalu tekan jog dial atau tombol SEL/SET.**
Ssipkn SubItm ↑ : Menyisipkan subitem di atas item yang dipilih.
Ssipkn SubItm ↓ : Menyisipkan subitem di bawah item yang dipilih.
Daftar item yang bisa ditambahkan ditampilkan.
- 4 Pilih item yang ingin ditambahkan, lalu tekan jog dial atau tombol SEL/SET.**
Daftar subitem yang bisa ditambahkan ditampilkan.
- 5 Pilih subitem yang ingin ditambahkan, lalu pilih "Eksekusi" dan tekan jog dial atau tombol SEL/SET.**
Item dan subitem yang dipilih disisipkan di posisi yang ditentukan pada langkah 2 dan 3.

Menambahkan subitem ke item yang ada

Catatan

Subitem harus selalu ditambahkan di bawah item induknya di menu sumber. Subitem tidak bisa disisipkan di bawah item yang bukan induknya.

- 1 Tampilkan menu KUSTOM. MENU PENGGUNA.**
Item menu yang saat ini terdaftar akan ditampilkan.
- 2 Pilih item yang ingin Anda tambahi subitem, lalu tekan jog dial atau tombol SEL/SET.**
- 3 Atur "Edit Itm" ke "Ssipkn SubItm."**
Daftar subitem yang saat ini terdaftar untuk item yang dipilih ditampilkan.
- 4 Pilih subitem di posisi Anda ingin menyisipkan subitem, pilih "Ssipkn SubItm ↑" atau "Ssipkn SubItm ↓," dan tekan jog dial atau tombol SEL/SET.**
Ssipkn SubItm ↑ : Menyisipkan subitem di atas subitem yang dipilih.
Ssipkn SubItm ↓ : Menyisipkan subitem di bawah subitem yang dipilih.
Daftar subitem yang bisa ditambahkan ditampilkan.
- 5 Pilih subitem yang ingin ditambahkan, lalu pilih "Eksekusi" dan tekan jog dial atau tombol SEL/SET.**
Subitem yang dipilih disisipkan di posisi yang ditentukan dalam langkah 4.

Menghapus item

- 1 Tampilkan menu KUSTOM. MENU PENGGUNA.**
Item menu yang saat ini terdaftar akan ditampilkan.
- 2 Pilih item yang ingin dihapus, lalu tekan jog dial atau tombol SEL/SET.**

3 Atur "Edit Itm" ke "Hps Itm."

Item yang dipilih dihapus.

Menghapus subitem

Catatan

"Hanya Menu Pengguna" di "Pengaturan Menu" didaftarkan oleh pengaturan default pabrik dan tidak bisa dihapus.

1 Tampilkan menu KUSTOM. MENU PENGGUNA.

Item menu yang saat ini terdaftar akan ditampilkan.

2 Pilih item yang berisi subitem yang ingin dihapus, lalu tekan jog dial atau tombol SEL/SET.

3 Atur "Edit Itm" ke "Hps SubItm."

Daftar subitem yang bisa dihapus ditampilkan.

4 Pilih subitem yang ingin dihapus, lalu tekan jog dial atau tombol SEL/SET.

Sub-item yang dipilih dihapus.

Mengunci dan Membuka Kunci menu

Anda bisa mengunci tampilan menu setup untuk menampilkan menu Pengguna saja.

Mengunci Menu

1 Tekan tombol MENU sambil menahan jog dial.

2 Pilih "User Menu with Lock" di "Pengaturan Menu" dari menu LAINNYA.

Catatan

- "Hanya Menu Pengguna" di "Pengaturan Menu" berubah menjadi "User Menu with Lock" dengan menekan tombol MENU sambil menahan jog dial.
- "User Menu with Lock" tidak ditampilkan di "Pengaturan Menu" jika menu ditampilkan dengan hanya menekan tombol MENU.

3 Pilih "On" lalu tekan tombol SEL/SET atau jog dial.

Layar jendela bidik menjadi layar input kata sandi.

4 Masukkan kata sandi.

Masukkan angka empat digit dari 0000 hingga 9999 untuk kata sandinya. Pengaturan defaultnya adalah 0000.

Apabila tombol SEL/SET atau jog dial ditekan setelah angka dimasukkan, kursor bergerak ke digit berikutnya.

Setelah semua digit kata sandi dimasukkan, kursor bergerak ke SET.

5 Tekan tombol SEL/SET atau jog dial.

Input dikonfirmasi.

Pesan selesai muncul dan layar menu dengan menu Pengguna ditampilkan.

Membuka Kunci Menu

1 Tekan tombol MENU sambil menahan jog dial.

2 Pilih "User Menu with Lock" di "Pengaturan Menu" dari menu Pengguna.

Catatan

- "Hanya Menu Pengguna" di "Pengaturan Menu" berubah menjadi "User Menu with Lock" dengan menekan tombol MENU sambil menahan jog dial.
- "User Menu with Lock" tidak ditampilkan di "Pengaturan Menu" jika menu ditampilkan dengan hanya menekan tombol MENU.

3 Pilih "Off" lalu tekan tombol SEL/SET atau jog dial.

Layar jendela bidik menjadi layar input kata sandi.

4 Masukkan kata sandi yang didaftarkan apabila Anda mengunci menu di layar input kata sandi.

Masukkan angka empat digit dari 0000 hingga 9999 untuk kata sandinya.

Apabila tombol SEL/SET atau jog dial ditekan setelah angka dimasukkan, kursor bergerak ke digit berikutnya.

Setelah semua digit kata sandi dimasukkan, kursor bergerak ke SET.

5 Tekan tombol SEL/SET atau jog dial.

Input dikonfirmasi.

Jika kata sandi yang dimasukkan benar, pesan pembukaan kunci akan muncul, dan layar menu yang berisi semua menu akan ditampilkan.

Catatan

- Jika kata sandi yang dimasukkan salah, Anda tidak bisa membuka kunci.
- Sebaiknya simpan kata sandi untuk referensi di waktu mendatang. Jika lupa kata sandi, hubungi perwakilan layanan Sony.

Perubahan di Menu

Pengaturan Menu ditambahkan ke menu LAINNYA sesuai dengan tambahan menu Pengguna.
Item-item Pengaturan Menu adalah sebagai berikut:

LAINNYA		
Item Menu	Subitem dan nilai pengaturan	Isi
Pengaturan Menu Mengatur fungsi menu	Menu Lngsung Semua / Sebagian / Off	Menu Lngsung pada menu LAINNYA dipindahkan ke sini.
	Gulir Menu Norm / Loop	Gulir Menu pada menu LAINNYA dipindahkan ke sini.
	Hanya Menu Pengguna On / Off	Memilih untuk menampilkan menu Pengguna saja (On) atau Daftar Menu (Off).
	User Menu with Lock On / Off	Memilih On atau Off untuk mengunci tampilan menu dan menampilkan menu Pengguna saja. On: Mengunci tampilan menu dengan memasukkan kata sandi (Hanya menu Pengguna yang ditampilkan). Off: Membuka kunci tampilan menu dengan memasukkan kata sandi (Daftar menu normal ditampilkan).
Catatan Item ini tidak ditampilkan oleh operasi normal. Untuk mengoperasikan tampilan menu, lihat "<i>Mengunci dan Membuka Kunci menu</i>" (halaman 142).		

Dukungan Kartu SDXC

Kartu SDXC didukung. (exFAT saja)
Dengan menggunakan Adaptor Media MEAD-SD02 opsional, Anda dapat memasukkan kartu SDXC ke dalam slot kartu memori SxS dan gunakan untuk perekaman dan pemutaran.
Untuk detail tentang penggunaan Adaptor Media MEAD-SD02, baca petunjuk pengoperasian yang disertakan dengan masing-masing adaptor.

Kartu SDXC yang Dapat Digunakan

Kartu SDXC kelas 10

- Catatan
- Jika Anda menggunakan kartu SDXC dengan camcorder ini, kartu tersebut harus diformat menggunakan fungsi format pada camcorder ini.
 - Pemutaran berkecepatan tinggi mungkin tidak tercapai secara benar dengan kartu SDXC.
 - Kartu SDXC hanya dapat digunakan dalam exFAT.
 - Perekaman dengan format XAVC-I atau perekaman Gerakan Lambat & Cepat tidak dapat dilakukan dengan benar, bergantung pada kartu SDXC yang digunakan. Kartu memori SxS direkomendasikan.
 - Saat Anda menggunakan kartu SDXC, jangan gunakan kartu memori jenis lain pada saat bersamaan. Jika menggunakan jenis media lain secara simultan, Anda tidak dapat beralih ke media lain apabila media tersebut tidak memiliki ruang saat perekaman dilakukan.
 - Kartu SDXC yang digunakan untuk merekam dengan camcorder seri PMW dan PXW mungkin tidak dapat digunakan untuk merekam dan memutar dengan unit ini, tergantung pada jenis unit yang digunakan. Untuk informasi mendetailnya, hubungi dealer Sony Anda atau perwakilan layanan Sony.
 - Tidak semua kartu memori telah diverifikasi untuk berfungsi dengan camcorder ini. Untuk kartu memori yang sesuai, hubungi dealer Anda.

Tampilan status Remote Wi-Fi

Tampilan Pengaturan Wi-Fi>Remote Wi-Fi pada menu LAINNYA ditambahkan ke Tombol/Layar Status Remote.

Menu Wi-Fi

Saat terhubung melalui adaptor nirkabel CBK-WA100, Anda dapat mengatur Wi-Fi>Wi-Fi dan Wi-Fi>Remote Wi-Fi pada menu LAINNYA.

Fungsi-fungsi tambahan V1.4

Rekaman MPEG2 dalam modus exFAT

Format rekaman MPEG2 telah tersedia dalam modus exFAT selain dalam modus UDF. Format MPEG2 tersedia yang dapat dipilih dalam modus exFAT ditampilkan di bawah ini:

- HD422
- HD420 (HQ)
- DVCAM

Perubahan di Menu

Perubahan di "Sistem" di menu LAINNYA ditampilkan di bawah ini:

- Menambahkan item menu XAVC/MPEG2
- Menambahkan nilai pengaturan "Format"

Untuk detailnya, lihat bagan berikut. (Nilai default-nya dicetak tebal.)

Item pengaturan	Nilai pengaturan	Isi
XAVC/MPEG2	XAVC MPEG2	Alihkan format antara XAVC/MPEG2 dalam modus exFAT/HD.
Format	HD422 50/1080/59.94i HQ 1920x1080/59.94i HQ 1440x1080/59.94i HD422 50/1080/29.97P HQ 1920x1080/29.97P HQ 1440x1080/29.97P HD422 50/1080/23.98P HQ 1920x1080/23.98P HQ 1440x1080/23.98P HD422 50/720/59.94P HQ 1280x720/59.94P HD422 50/720/29.97P HD422 50/720/23.98P HQ 1280x720/23.98P	Nilai pengaturan yang dapat dipilih untuk NTSC Area/exFAT/HD/MPEG2

Item pengaturan	Nilai pengaturan	Isi
	HD422 50/1080/50i HQ 1920x1080/50i HQ 1440x1080/50i HD422 50/1080/25P HQ 1920x1080/25P HQ 1440x1080/25P HD422 50/720/50P HQ 1280x720/50P HD422 50/720/25P	Nilai pengaturan yang dapat dipilih untuk PAL Area/exFAT/HD/MPEG2
	DVCAM59.94i SQ DVCAM59.94i EC DVCAM29.97P SQ DVCAM29.97P EC	Nilai pengaturan yang dapat dipilih untuk NTSC Area/exFAT/SD
	DVCAM50i SQ DVCAM50i EC DVCAM25P SQ DVCAM25P EC	Nilai pengaturan yang dapat dipilih untuk PAL Area/exFAT/SD

Mengenai Fungsi Gerak Lambat & Cepat

Fungsi Gerak Lambat & Cepat tersedia bahkan dalam modus exFAT/HD. Kecepatan frame perekaman yang dapat dipilih sama dengan kecepatan dalam modus UDF.

Mengenai Sinyal Input/Output untuk Konektor yang Dipilih dengan Plh SDI/HDMI/i.LINK I/O

Sinyal input/output untuk konektor yang dapat dipilih dengan Plh SDI/HDMI/i.LINK I/O dalam modus exFAT/HD dan exFAT/SD sama dengan sinyal dalam masing-masing modus UDF/HD dan UDF/SD.

Lainnya

Catatan tentang tampilan sisa ruang pada kartu memori

Tampilan sisa ruang pada kartu memori pada layar jendela bidik adalah indikasi kasarnya.

Sisa waktu aktual mungkin kurang dari yang ditampilkan karena kartu memori memiliki data selain video, seperti area manajemen.

